
研 究 活 動

看 護 学 科

1) 千葉 敦子

学術論文 (原著)

1. 大山博史, 坂下智恵, 工藤薫, 千葉敦子, 石田賢哉, 戸沼由紀: 高齢者のうつ病と自殺予防, *Geriatric Medicine (老年医学)*, 47 (11), p. 1477-1482. 2009年11月.
2. 千葉敦子, 大山博史, 坂下智恵: A市自治体が運営する自死遺族自助グループの支援活動における保健師の役割, *保健師ジャーナル*, 第66巻, 第3号, p.252-261, 2010年3月.

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など
【報告書】

1. 千葉敦子, 大山博史, 坂下智恵, 石田賢哉, 種市寛子, 戸沼由紀, 野宮富子, 梅庭牧子: 行政保健師による自殺者遺族への支援方法に関する検討 報告書, 青森県立保健大学研究推進・知的財産センター指定型研究官学連携研究, 2009年7月.

学会発表など

【学会発表】

1. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾: 男性労働者が健康情報を入手および伝達する相手としての家族に関する検討, 日本家族看護学会, 2009年9月5日, 高山市, 日本家族看護学会第16回学術集会講演集, p.150, 2009. 1: 青森県立保健大学
2. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾, 森永八江¹⁾, 藤田修三¹⁾: 健康教室の学びに関する参加者の他者への伝達意欲と被伝達者の授受の実態, 日本公衆衛生学会, 2009年10月21日, 奈良市, 日本公衆衛生学会雑誌第68回日本公衆衛生学会総会抄録集, p.359, 2009. 1: 青森県立保健大学
3. 山本春江¹⁾, 千葉敦子¹⁾, 森永八江¹⁾, 藤田修三¹⁾: 労働者の運動習慣における支援的環

境に関する研究—勤務日と休日の運動状況の比較から, 日本公衆衛生学会, 2009年10月21日, 奈良市, 日本公衆衛生学会雑誌第68回日本公衆衛生学会総会抄録集, p.360, 2009. 1: 青森県立保健大学

4. 鎌田明美¹⁾, 山本春江²⁾, 千葉敦子²⁾, 三浦雅史²⁾, 千葉恵津子³⁾: 介護予防トレーニングの「場」に求められる参加者のニーズ, 日本公衆衛生学会, 2009年10月21日, 奈良市, 日本公衆衛生学会雑誌第68回日本公衆衛生学会総会抄録集, p.347, 2009. 1: 青森県東地方保健所, 2: 青森県立保健大学, 3: 青森郵政健康管理センター.
5. 千葉恵津子¹⁾, 鎌田明美²⁾, 千葉敦子³⁾, 李相潤³⁾, 山本春江³⁾: 労働者の冬の運動量と地域環境との関連についての検討 第2報, 日本公衆衛生学会, 2009年10月21日, 奈良市, 日本公衆衛生学会雑誌第68回日本公衆衛生学会総会抄録集, p.360, 2009. 1: 青森郵政健康管理センター, 2: 青森県東地方保健所, 3: 青森県立保健大学.
6. 山本春江¹⁾, 千葉敦子¹⁾: 階段を使った健康教室は労働者の運動習慣形成に役立つか, 日本地域看護学会, 2009年8月8日, 千葉市, 日本地域看護学会第12回学術集会講演集, p.76, 2009. 1: 青森県立保健大学
7. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾, 森永八江¹⁾, 藤田修三¹⁾: 特定健診における職域を対象とした保健指導モデルの開発～生活改善と行動変容ステージの評価～, 日本産業衛生学会, 2009年11月5日, 秋田市, 第19回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会講演集, p.82, 2009. 1: 青森県立保健大学
8. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾, 森永八江¹⁾: 特定健診における職域を対象とした保健指導モデルの開発～健康教室後の全社員における影響評価～, 日本ヘルスプロモーション学会, 2009年12月5日, 朝霞市, 日本ヘルスプロモーション学会第7回学術大会・総会抄録集, p.37, 2009. 1: 青森県立保健大学

9. 千葉恵津子¹⁾, 山本春江²⁾, 千葉敦子²⁾: 労働者のストレスと運動習慣との関連 第1報, 日本ヘルスプロモーション学会, 2009年12月5日, 朝霞市, 日本ヘルスプロモーション学会第7回学術大会・総会抄録集, p. 38, 2009. 1: 青森郵政健康管理センター, 2: 青森県立保健大学
10. 千葉恵津子¹⁾, 山本春江²⁾, 千葉敦子²⁾: 労働者のストレスと運動習慣との関連 第2報, 日本ヘルスプロモーション学会, 2009年12月5日, 朝霞市, 日本ヘルスプロモーション学会第7回学術大会・総会抄録集, p. 39, 2009. 1: 青森郵政健康管理センター, 2: 青森県立保健大学
11. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾, 森永八江¹⁾: 特定健診における職域を対象とした保健指導モデルの開発～健康教室後の全社員における影響評価～, 青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森市, 青森県保健医療福祉研究発表会抄録集, p. 68, 2010. 1: 青森県立保健大学

2) 福井 幸子

書籍、単行本、教科書・参考書

福井幸子¹: 基礎看護技術—ヘルスアセスメントの技術 (担当部分: 眼、呼吸器), 岡崎

美智子²・角濱春美¹監修, 100—132, 2008年8月, メディカルフレンド社, 東京.

¹: 青森県立保健大学, ²: 京都橘大学看護学部看護学科

福井幸子¹: まとめてわかる看護学概論 (担当部分: 第1章—1看護専門職団体他), 改訂2版, 小山敦代², 池西静江編者, 森美春², Gsupple 編集委員会編, 16—23, 2008年3月, メディカ出版, 東京.

¹: 青森県立保健大学, ²: 明治国際医療大学, ³: 京都中央看護保健専門学校

一般発表

・山本加奈子¹, 木村恵美子¹, 福井幸子¹: 一

部改変したPBLを用いての看護過程演習の授業評価 第2報, 第29回日本看護科学学会, 2009年11月日, 千葉市, 第29回日本看護科学学会学術集会講演集, 2009.

¹青森県立保健大学

・福井幸子¹ 矢野久子²: 訪問看護における感染に関する有害事象, 第25回日本環境感染学会, 2010年2月5日, 環境感染誌, Vol. 25, supplement, 173, 2010.

¹青森県立保健大学 ²名古屋市立大学

・福井幸子¹ 竹浪幸子¹ 齋藤文彦²: 医療福祉系A大学入学時の麻疹抗体保有状況と今後の課題, 第25回日本環境感染学会, 2010年2月6日, 環境感染誌, Vol. 25, supplement, 443, 2010.

¹青森県立保健大学 ²さいとう小児科

3) 細川 満子

学術論文 (原著)

1. 山田明子、細川満子、神成一哉: 特集 筋萎縮性即策硬化症のリハビリテーション コミュニケーションをいかにとるか、Medical Rehabilitation, No113, p. 55-60. 2009年12月.

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など 【報告書】

1. 千葉敦子、細川満子、山本春江、富田恵、山田典子、今 敏子、工藤久子、玉懸多恵子、鈴木久美子、古川照美、桐生晶子、加藤亜衣子: 在宅看護実習前に学生に身につけさせた実習態度 (第3報) —訪問看護ステーション実習指導者に対するアンケート調査—、青森県看護教育研究会誌、第37巻、p1-8、2009年.
2. 細川満子、富田恵、井澤美樹子: 高齢者の療養生活継続へ向けた在宅糖尿病ケアのクリティカルパスの開発、報告書, 青森県立保健大学健康科学部特別研究, 2010年5月.

学会発表など

【学会発表】

1. 細川満子、富田恵：訪問看護ステーションにおける糖尿病ケアの現状、第68回日本公衆衛生学会総会抄録集、p497、奈良市、2009年10月22日。
2. 富田恵、細川満子、山本春江、工藤奈織美、戸沼由紀：過疎地における在宅療養ニーズと訪問看護サービスとのリンクに関する研究（第1報）、第68回日本公衆衛生学会総会抄録集、p495、奈良市、2009年10月22日。
3. 戸沼由紀、山本春江、細川満子、富田恵、工藤奈織美：過疎地における在宅療養ニーズと訪問看護サービスとのリンクに関する研究（第2報）、第68回日本公衆衛生学会総会抄録集、p495、奈良市、2009年10月22日。
4. 細川満子、富田恵、井澤美樹子：訪問看護における糖尿病ケアのプログラム開発に関する研究、2009年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集、p86-87、青森市、2010年2月12日。

4) 伊藤 治幸

【論文】

- 1) 藤井博英、伊藤治幸、角濱春美、清水健史、村松仁、森千鶴、石井秀宗、中村恵子、田崎博一：精神科訪問看護者の認知する精神科訪問看護のアウトカム。青森県立保健大学雑誌、10巻1号、pp27-34、2009【原著】
- 2) 高橋一平、梅田孝、三宅良輔、大西基喜、工藤うみ、伊藤治幸、赤池あらた、柏尚裕、中路重之：一般男性における肥満が好中球機能に与える影響(原著論文/抄録あり)体力・栄養・免疫学雑誌 19巻2号 Page191-194、2009

【原著】

- 3) 伊藤治幸：統合失調症をもつ精神障がい者の小規模作業所における地域交流活動への参加実態と影響要因、日本ヒューマンケア科学学会誌3巻1号、p40-51、2010.3【原著】
- 4) 清水健史、伊藤治幸、藤井博英：地域で精神障害者への就労支援を行なっている施設職

員の支援の実際、日本ヒューマンケア科学学会誌3巻1号、p52-59、2010.3【研究ノート】

5) 清水健史、伊藤治幸、藤井博英：新規に精神看護実習を受け入れる病院看護スタッフの意識と課題に関する調査研究、日本看護学科会論文集：看護教育40号、p248-250、2010.2

【一般発表】

- 1) 清水健史、伊藤治幸、藤井博英：精神看護学実習におけるグループカンファレンスの評価、日本看護科学学会学術集会講演集29回、p391、2009.11
- 2) 清水健史、坂本祐子、成田博幸、伊藤治幸、藤井博英：シナリオによるデモンストレーションを取り入れた精神看護技術の授業評価、日本看護科学学会学術集会講演集29回、p391、2009.11
- 3) 熊谷貴子、李相潤、北宮千秋、佐藤厚子、橋本淳一、伊藤治幸：青森県における農業蓄分類型区分の身体的特徴、日本公衆衛生学会総会抄録集68回、p165、2009.10
- 4) 伊藤治幸、清水健史、藤井博英：精神看護学中における臨床講義の取り組み 身体拘束をテーマとした実践から、日本看護研究学会雑誌、32巻(3)、p333、2009.7
- 5) 藤井博英、清水健史、伊藤治幸：看護学生は「こころ」と「スピリチュアリティ」をどのように捉えているのか SD法を用いて、日本看護研究学会雑誌、32巻(3)、p305、2009.7
- 6) 清水健史、伊藤治幸、藤井博英：看護学生は「こころ」と「スピリチュアリティ」をどのように捉えているのか KJ法を用いて、日本看護研究学会雑誌、32巻(3)、p305、2009.7

5) 木村 恵美子

1. 誌上発表

- ・真田弘美¹、松井典子¹、北村薫²、翻訳監修、木村恵美子³(エキスパートレビュー)：リンパ浮腫管理のベストプラクティス、1-54、2009年8月、スミスアンドネフュー、東京。

¹:東京大学、²:ナグモクリニック院長、³:青森県立保健大学

2. 一般発表など

- ・山本加奈子¹、木村恵美子¹、福井幸子¹：一部改変したPBLを用いての看護家庭演習の授業評

価 第2報—3年間の比較による評価—2009年11月27-28日,幕張メッセ,幕張市,第29回日本看護科学学会学術集会講演集 p 422,2009.

¹: 青森県立保健大学

・木村恵美子¹,奥朋子²,井沢知子³,他:リンパ浮腫の予防に対する患者教育・指導に資する看護師研修プログラム—運営者質問紙調査から—,2010年2月13-14日,静岡コンベンションアーツセンター,静岡市,第24回日本がん看護学会講演集 p 132,2010.

¹: 青森県立保健大学

・Emko Kimura¹, Ayako Okutu², Yoko Arai³, et,al: Research Framework for Investigating Quality of Life in Lymphoedema Patients at Outpatient Services in Japan; a progress of ILF Japan, 2010 22-25 March, Brighton Centre, International Lymphoedema Framework 2nd Conference, Brighton, p36,2010.

¹: Aomori University of Health and Welfare,

²: Shiga Prefectural University, ³: Gunma Cancer Center

6) 村上 眞須美

一般発表など

村上 眞須美¹、鄭 佳紅¹、上泉 和子¹、早川 ひと美²: 看護基礎教育における看護管理学教育の実態調査、第13回日本看護管理学会年次大会、2009年8月21日、示説発表、アクトシティ浜松、浜松市、第13回日本看護管理学会年次大会講演抄録集、157、2009.

¹: 青森県立保健大学、²: 青森県立保健大学健康科学研究科

佐藤 真由美¹、早川 ひと美²、鄭 佳紅³、村上 眞須美³、上泉 和子³: 新卒看護師の社会化調査票の信頼性・妥当性の検討、第13回日本看護管理学会年次大会、2009年8月21日、示説発表、アクトシティ浜松、浜松市、第13回日本看護管理学会年次大会講演抄録集、134、2009.

¹: 弘前大学大学院、²: 青森県立保健大学大学

院、³: 青森県立保健大学

鄭 佳紅¹、上泉 和子¹、内布 敦子²、坂下 玲子²、桜井 礼子³、福田 広美³、粟屋典子⁴、村上 眞須美¹: 一般病棟における看護ケアの質評価 Web 版看護質評価総合システムを用いて、第47回日本医療・病院管理学会、2009年10月17日、示説発表、東京、東京女子医科大学・弥生記念講堂、日本医療・病院管理学会誌、46、155. 2009.

¹: 青森県立保健大学、²: 兵庫県立大学、³: 大分県立看護大学、⁴: 元大分県立看護大学

村上 眞須美¹、鄭 佳紅¹、上泉 和子¹: 2009年度青森県における認定看護管理者教育課程ニーズ調査結果、2009年度青森県保健医療福祉研究発表会、2010年2月12日、示説発表、青森市、青森県立保健大学、2009年度青森県保健医療福祉研究発表会 抄録集、84—85、2010.

¹: 青森県立保健大学

7) 内城 絵美

【報告書】

・中村由美子、藤田修三、吉池信男、杉山克己、川口徹、梅田弘子、富田恵、杉本晃子、熊谷貴子、市川美奈子、内城絵美: 下北地域における小児の肥満予防のための支援モデルの構築に向けた検討 報告書、青森県立保健大学研究推進・知的財産センター指定型研究 官学連携研究、2010年3月

【一般発表】

・杉本晃子¹、中村由美子¹、内城絵美¹、梅田弘子¹: 病気の子どもをもつ家族の家族機能の特徴—(第1報) 全国調査結果の概要—。第29回日本看護科学学会学術集会、2009年11月27・28日、幕張メッセ、千葉市、第29回日本看護科学学会学術集会講演集、p. 461、2009.

¹: 青森県立保健大学

・杉本晃子¹、中村由美子¹、梅田弘子¹、内城絵美¹: 病気の子どもをもつ家族の家族機能の特徴—(第2報) 父母別・所得別・地域別の比較—。第29回日

本看護科学学会学術集会, 2009年11月27・28日, 幕張メッセ, 千葉市, 第29回日本看護科学学会学術集会講演集, p. 462, 2009.

¹: 青森県立保健大学

- ・中村由美子¹、梅田弘子¹、杉本晃子¹、内城絵美¹: 病気の子をもつ家族の家族機能の特徴— (第3報) 共分散構造モデルの開発— 第29回日本看護科学学会学術集会, 2009年11月27・28日, 幕張メッセ, 千葉市, 第29回日本看護科学学会学術集会講演集, p. 220, 2009.

¹: 青森県立保健大学

- ・田中栄利子¹、中村由美子²、梅田弘子²、杉本晃子²、内城絵美²、濱中喜代³、日沼千尋⁴、児玉千代子⁵、大矢智子⁶、大木伸子⁷: A 県の看護系大学の卒業前研修の教育効果について— 小児看護技術に関する卒業前研修を行って— 日本ヒューマンケア科学学会, 2009年10月24日, 青森市, 日本ヒューマンケア科学学会誌 Vol. 2 No. 2, p. 38, 2009.

¹: 青森県立保健大学大学院、²: 青森県立保健大学、³: 東京慈恵会医科大学、⁴: 東京女子医科大学、⁵: 東海大学、⁶: 千葉県子ども病院、⁷: 東邦大学

- ・Yumiko Nakamura¹, Hiroko Umeda¹, Akiko Sugimoto¹, Emi Najio¹, Eriko Akahane², Hirohide Shibutani³. CONSTRUCTING A MODEL FOR JAPANESE FAMILY UTILIZING STRUCTURAL EQUATION MODELING (VERSION 2) ,9th International Family Nursing Conference, Reykjavik, Iceland, June 2-5, 2009.

¹: Aomori University of Health and Welfare, ²: Nagano Children's Hospital, ³: Aomori University

8) 鳴井 ひろみ

報告書

- ・平典子、鳴井ひろみ、本間ともみ: 緩和ケアにおけるプレゼンス実践モデルの構築, 科学研究費補助金研究成果報告書, 2009.

学会発表

- ・落合克能、重森健太、豊島由樹子、鳴井ひろ

み: 特別養護老人ホーム浜松十字の園における IPW 促進要因. 日本保健医療福祉連携教育学会 第2回大会 (千葉市), 47, 2009年10月11日.

・平典子、鳴井ひろみ: 緩和ケアにおけるプレゼンス実践モデルによる介入プログラムの検討. 第24回日本がん看護学会学術集会 (静岡市), 145, 2010年2月13日.

9) 大井 けい子

学会発表など

・村本淳子、新道幸恵、大井けい子、森恵美、石井邦子、安枝尚美、助産師教育担当者、学士課程責任者、読み替え科目担当者による統合カリキュラムの助産師教育の捉え方、第50回日本母性衛生学会学術集会、2009.9.28

・大関信子、大井けい子、山本真樹子、佐藤愛、片山綾乃、長澤一磨、青森県更年期女性の「更年期障害」の発症率及び受診率と治療の現状 第1報、日本更年期医学会第24回学術集会、2009.10.3. 青森市

・大関信子、片山綾乃、山本真樹子、佐藤愛、大井けい子、長澤一磨、青森県更年期女性のメンタルヘルスの現状と関連要因 第2報、日本更年期医学会第24回学術集会、2009.10.3. 青森市

・佐藤愛、大関信子、山本真樹子、山本真樹子、大井けい子、片山綾乃、長澤一磨、更年期症状の対処方法と情報源 第3報、日本更年期医学会第24回学術集会、2009.10.3. 青森市

・大関信子、山本真樹子、片山綾乃、佐藤愛、大井けい子、自然流産の「説明モデル」とケアのあり方の検討、第29回日本看護科学学会学術集会、2009.11.28. 千葉市

・佐藤愛、大関信子、山本真樹子、片山綾乃、大井けい子、妊婦健診未受診の現状と関連要因、第29回日本看護科学学会学術集会、2009.11.28. 千葉市

・片山綾乃、谷田部仁子、山本真樹子、佐藤愛、大関信子、大井けい子、A 県の少子化問題；女性の「子どもを生みたい」という気持ちと産科施設数、産科医師数の増減との関連、青森県保健医療福祉研究会、2010.2.12. 青森市

・谷田部仁子、片山綾乃、山本真樹子、佐藤愛、大関信子、大井けい子、A 県の「産後うつ」の発症率と関連要因の検討、青森県保健医療福祉研究会、2010.2.12. 青森市

報告書

・新道幸恵、鈴木幸子、渡部尚子、大井けい子、石井邦子、林ひろみ、遠藤俊子、斉藤益子、村本淳子、吉永茂美、小林康江、清水嘉子、吉沢豊子、成田伸、森恵美、大平光子、齋藤良子、跡上富美、中村康香、井上雅美、看護系大学学士課程助産学生に有用な産婦ケア（分娩介助を含む）の教育方法の開発、平成 21 年度 研究成果報告書（文部科学研究補助金（基盤研究 A））

講演など

・大井けい子：「流産・死産を体験した女性のグリーフとケア」、三重母性衛生学会研修会特別講義 講師、2009.6.27. 津市

10) 大関 信子

【学会発表】

Nobuko OZEKI, Alan Knowles. Japanese Mothers Living Abroad: Mental Health and Husband's Nationality. The 1st International Nursing Research Conference Of World Academy of Nursing Science, Kobe Japan, Abstracts p191. September 20th, 2009

大関信子、片山綾乃、山本真樹子、佐藤愛、大井けい子、長澤一磨. 青森県更年期女性のメンタルヘルスの現状と関連要因. 第 24 回日本更年期医学学会学術集会、青森市、日本更年期学会雑誌、Vol 17, Oct, 2009, p90. 平成 21 年 10 月 2 日

佐藤愛、大関信子、山本真樹子、大井けい子、片山綾乃、長澤一磨. 更年期症状の対処法と情報源；異常群との比較. 第 24 回日本更年期医学学会学術集会、青森市、日本更年期学会雑誌、Vol 17, Oct, 2009, p117 平成 21 年 10 月 2 日

大関信子、大井けい子、山本真樹子、佐藤愛、片山綾乃、長澤一磨. 青森県更年期女性の「更年期障害」の発症率と受診率と治療の現状. 第 24 回日本更

期医学学会学術集会、青森市、日本更年期学会雑誌、Vol 17, Oct, 2009, p117. 平成 21 年 10 月 2 日

大関信子、アラン・ノールズ. 海外在住日本人未就学児のストレスと関連要因：母親への調査から. 第 68 回日本公衆衛生学会学術集会、奈良市、抄録集 p643. 平成 21 年 10 月 23 日

大関信子、山本真樹子、片山綾乃、佐藤愛、大井けい子. 自然流産の「説明モデル」とケアのありがたの検討. 第 29 回日本看護科学学会学術集会、つくば市、抄録集 p4. 平成 21 年 11 月 28 日

山本真樹子、大関信子、片山綾乃、佐藤愛、大井けい子. 子育て支援に対する女性の思い：行政・医療・コミュニティに望むこと. 第 29 回日本看護科学学会学術集会、つくば市、抄録集 p443. 平成 21 年 11 月 28 日

佐藤愛、大関信子、山本真樹子、大井けい子. 妊婦健診の未受診の現状と関連要因. 第 29 回日本看護科学学会学術集会、つくば市、抄録集 p450 平成 21 年 11 月 28 日

片山綾乃、谷田部仁子、山本真樹子、佐藤愛、大関信子、大井けい子. A 県の少子化問題：女性の「子どもを産みたい」という気持ちと産科施設数、産科医師数の増減との関連. 青森県保健医療福祉研究発表会、青森市、抄録集 p66. 平成 22 年 2 月 12 日

谷田部仁子、片山綾乃、山本真樹子、佐藤愛、大関信子、大井けい子. A 県の『産後うつ』の発症率と関連要因の検討. 青森県保健医療福祉研究発表会、青森市、抄録集 p70. 平成 22 年 2 月 12 日

【原著論文】

Nobuko Ozeki Japanese Mothers Living in New York and Beijing with Young children: analyses of Transcultural and Child Rearing Stress Factors, Stress Coping and Mental well-Being. (英文) 東京大学医学部保健学博士論文 2009. 4 月

Chioko Hasui, Toshinori Kitamura, Atsuko Tamaki, Mari Takahashi, Sanae Masuda Nobuko Ozeki. The Test of Self-Conscious Affect-3 in Japanese University Students

(英文原著論文) The Journal of Nervous and Mental Disease Vol 197, Number 6 pp455-460, June 2009.

Nobuko Ozeki, Alan Knowles Mental Health of Japanese Mothers Living in Beijing with Young children (英文原著論文) 青森県立保健大学雑誌 第10巻 第2号 pp165-174, 2009. 3月

Nobuko Ozeki, Alan Knowles, Yutaka Asada. Analyses of Stress and Adaptation of Foreign University Students in Japan. (英文原著論文) 日本ヒューマンケア科学会誌、第3巻、第1号、2009年、pp25-39.

【シンポジスト等】

大関信子「更年期女性の医療認識：更年期女性へのアンケートからわかったこと」

第24回日本更年期医学学会学術集会、青森市、日本更年期学会雑誌、Vol 17, Oct, 2009, p60

11) 坂本 祐子

学会発表

1. 坂本祐子, 堀江竜弥, 阿部桃子, 他4名: 介護保険施設における膀胱留置カテーテル挿入者の実態調査, 日本老年看護学会第14回学術集会抄録集, p202, 2009.9

2. 上山真美, 小泉美佐子, 坂本祐子, 他4名: 安全で効果的な膀胱留置カテーテル抜去のためのケアプロトコール試行, 日本老年看護学会第14回学術集会抄録集, p90, 2009.9

3. 阿部 桃子, 岡本 充子, 小泉 美佐子, 坂本 祐子, 他3名: 安全かつ効果的な膀胱留置カテーテル抜去のためのケアプロトコールの開発過程, 第16回日本排尿機能学会, 2009.9

4. 清水健史, 坂本祐子, 成田博幸, 伊藤治幸, 藤井博英: シナリオによるデモンストレーションを取り入れた精神看護技術の授業評価, 日本看護科学学会学術集会講演集29回, p391, 2009.11

学会、研究室、地方会などの主催

1. 第12回青森高齢者ケア研究会主催, 2009年11

月29日, 青森県立保健大学

2. 第13回青森高齢者ケア研究会主催, 2010年3月13日, 青森県立保健大学

12) 佐藤 愛

学会発表

・大関信子¹⁾, 大井けい子¹⁾, 山本真樹子¹⁾, 佐藤愛¹⁾, 片山綾乃¹⁾, 長澤一磨²⁾: 青森県更年期女性の「更年期障害」の発症率及び受診率と治療の現状 第1報, 日本更年期医学会第24回学術集会, 2009年10月3・4日, ホテル青森, 青森市. 1) 青森県立保健大学, 2) 青森県総合健診センター

・大関信子¹⁾, 片山綾乃¹⁾, 山本真樹子¹⁾, 佐藤愛¹⁾, 大井けい子¹⁾, 長澤一磨²⁾: 青森県更年期女性のメンタルヘルスの現状と関連要因 第2報, 日本更年期医学会第24回学術集会, 2009年10月3・4日, ホテル青森, 青森市.

1) 青森県立保健大学, 2) 青森県総合健診センター

・佐藤愛¹⁾, 大関信子¹⁾, 山本真樹子¹⁾, 大井けい子¹⁾, 片山綾乃¹⁾, 長澤一磨²⁾: 更年期症状の対処法と情報源: 異常群との比較 第3報, 日本更年期医学会第24回学術集会, 2009年10月3・4日, ホテル青森, 青森市. 1) 青森県立保健大学, 2) 青森県総合健診センター

・大関信子, 山本真樹子, 片山綾乃, 佐藤愛, 大井けい子: 自然流産の「説明モデル」とケアのあり方の検討, 第29回日本看護科学学会学術集会, 2009年11月27・28日, 幕張メッセ, 千葉市

・佐藤愛, 大関信子, 山本真樹子, 片山綾乃, 大井けい子: 妊婦健診の未受診の現状と関連要因, 第29回日本看護科学学会学術集会, 2009年11月27・28日, 幕張メッセ, 千葉市

・片山綾乃, 谷田部仁子, 山本真樹子, 佐藤愛, 大関信子, 大井けい子: A県の少子化問題: 女性の「子どもを産みたい」という気持ちと産科施設数、産科医師数の増減との関連, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 平

成 22 年 2 月 12 日, 青森県立保健大学, 青森市

- ・谷田部仁子, 片山綾乃, 山本真樹子, 佐藤愛, 大関信子, 大井けい子: A 県の「産後うつ」の発症率と関連要因の検討, 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 平成 22 年 2 月 12 日, 青森県立保健大学, 青森市
- ・谷川裕子¹⁾, 佐藤愛²⁾, 工藤優子³⁾, 高田昌代¹⁾, 西野加代子⁴⁾, 岩間薫⁵⁾, 新道幸恵⁶⁾, 助産師からみたドゥーラ普及の要件, 第 24 回日本助産学会学術集会, 平成 22 年 3 月 20・21 日, つくば市. 1) 神戸市看護大学, 2) 青森県立保健大学, 3) 弘前学院大学, 4) 弘前大学, 5) 秋田看護福祉大学, 6) 日本赤十字広島看護大学

13) 清水 健史

紙上発表

- 1) 藤井博英, 伊藤治幸, 角濱春美, 清水健史, 村松仁¹⁾, 森千鶴²⁾, 石井秀宗³⁾, 中村恵子⁴⁾, 田崎博一⁵⁾: 精神科訪問看護者の認知する精神科訪問看護のアウトカム. 青森県立保健大学雑誌, 10 (1), pp27-34, 2009.
1): 上武大学 2): 筑波大学 3): 名古屋大学 4): 札幌市立大学 5): 弘前愛成会病院
- 2) 清水健史, 坂本祐子, 成田博幸¹⁾, 伊藤治幸, 藤井博英: シナリオに基づいたデモンストラーションを取り入れた精神看護技術「身体拘束患者の看護」の学習結果. 青森県立保健大学雑誌, 10 (2), pp217-224, 2009.
1): 青森県立つくしが丘病院
- 3) 清水健史, 伊藤治幸, 藤井博英: 新規に精神看護実習を受け入れる病院看護スタッフの意識と課題に関する調査研究. 日本看護学会論文集, 看護教育 40, pp248-250, 2010.
- 4) 清水健史, 伊藤治幸, 藤井博英: 地域で精神障害者への就労支援を行なっている施設職員の支援の実際, 日本ヒューマンケア科学学会誌, 3 (1), pp52-59, 2010.

一般発表

- 1) 伊藤治幸, 清水健史, 藤井博英: 精神看護実習における臨床講義の取り組み-身体拘束をテーマとした実践から-, 日本看護研究学会雑誌, 32 卷 (3), p333, 2009.

- 2) 藤井博英, 清水健史, 伊藤治幸: 看護学生は「こころ」と「スピリチュアリティ」をどのように捉えているのか-SD 法を用いて-, 日本看護研究学会雑誌, 32 卷 (3), p305, 2009.
- 3) 清水健史, 伊藤治幸, 藤井博英: 看護学生は「こころ」と「スピリチュアリティ」をどのように捉えているのか-KJ 法を用いて-, 日本看護研究学会雑誌, 32 卷 (3), p305, 2009.
- 4) 清水健史, 伊藤治幸, 藤井博英: 精神看護学授業における絵本教材の効果. 第 40 回日本看護学会抄録集, 看護教育, p227, 2010.
- 5) 清水健史, 伊藤治幸, 藤井博英: 新規に精神看護実習を受け入れる病院看護スタッフの意識に関する調査研究. 日本看護学会抄録集, 看護教育, p228, 2010.
- 6) 清水健史, 伊藤治幸, 藤井博英: 精神看護学実習におけるグループカンファレンスの評価, 日本看護科学学会学術集会講演集 29 回, p391, 2009.
- 7) 清水健史, 坂本祐子, 成田博幸¹⁾, 伊藤治幸, 藤井博英: シナリオによるデモンストラーションを取り入れた精神看護技術の授業評価, 日本看護科学学会学術集会講演集 29 回, p391, 2009.

¹⁾: 青森県立つくしが丘病院

14) 杉本 晃子

【報告書】

中村由美子, 藤田修三, 吉池信男, 杉山克己, 川口徹, 梅田弘子, 富田恵, 杉本晃子, 熊谷貴子, 市川美奈子, 内城絵美: 下北地域における小児の肥満予防のための支援モデルの構築に向けた検討 報告書, 青森県立保健大学研究推進・知的財産センター指定型研究 官学連携研究, 2010 年 3 月

【一般発表】

- ・杉本晃子¹⁾, 中村由美子¹⁾, 内城絵美¹⁾, 梅田弘子¹⁾: 病気の子どもをもつ家族の家族機能の特徴—(第 1 報) 全国調査結果の概要—. 第 29 回日本看護科学学会学術集会, 2009 年 11 月 27・28 日, 幕張メッセ, 千葉市, 第 29 回日本看護科学学会学術集会講演集, p. 461, 2009.
¹⁾: 青森県立保健大学
- ・杉本晃子¹⁾, 中村由美子¹⁾, 梅田弘子¹⁾, 内城絵美¹⁾: 病

気の子どもをもつ家族の家族機能の特徴—(第2報) 父母別・所得別・地域別の比較—。第29回日本看護科学学会学術集会, 2009年11月27・28日, 幕張メッセ, 千葉市, 第29回日本看護科学学会学術集会講演集, p. 462, 2009.

¹: 青森県立保健大学

・中村由美子¹、梅田弘子¹、杉本晃子¹、内城絵美¹: 病気の子どもをもつ家族の家族機能の特徴—(第3報) 共分散構造モデルの開発—。第29回日本看護科学学会学術集会, 2009年11月27・28日, 幕張メッセ, 千葉市, 第29回日本看護科学学会学術集会講演集, p. 220, 2009.

¹: 青森県立保健大学

・田中栄利子¹、中村由美子²、梅田弘子²、杉本晃子²、内城絵美²、濱中喜代³、日沼千尋⁴、児玉千代子⁵、大矢智子⁶、大木伸子⁷: A 県の看護系大学の卒業前研修の教育効果について—小児看護技術に関する卒業前研修を行って—。日本ヒューマンケア科学学会, 2009年10月24日, 青森市, 日本ヒューマンケア科学学会誌 Vol. 2 No. 2, p. 38, 2009.

¹: 青森県立保健大学大学院、²: 青森県立保健大学、³: 東京慈恵会医科大学、⁴: 東京女子医科大学、⁵: 東海大学、⁶: 千葉県子ども病院、⁷: 東邦大学

・Yumiko Nakamura¹, Hiroko Umeda¹, Akiko Sugimoto¹, Emi Naijo¹, Eriko Akahane², Hirohide Shibutani³. CONSTRUCTING A MODEL FOR JAPANESE FAMILY UTILIZING STRUCTURAL EQUATION MODELING (VERSION 2) ,9th International Family Nursing Conference, Reykjavik, Iceland, June 2-5, 2009.

¹: Aomori University of Health and Welfare, ²: Nagano Children's Hospital, ³: Aomori University

15) 吹田 夕起子

学術論文

・山口美佳¹、吹田夕起子: 内科病棟における高齢者のせん妄予防に対する援助。第40回日本看護学会論文集 老年看護, 54-56, 2010.

¹: メディカルコート八戸西病院

総説、論説、研究ノート、報告書など

・中村令子¹、黒坂満智子²、佐々木雅史、猪野美子³、吹田夕起子、北嶋結⁴、中川孝子⁵、佐藤弥生⁶、岩織美保子¹、小池久美子¹: 認知症高齢者の家族の理解に向けた文献検討。青森県看護教育研究会誌, 38, 18-20, 2010年3月.

¹: 八戸短期大学, ²: 八戸市立高等看護学院, ³: 青森市立高等看護学院, ⁴: 弘前大学, ⁵: 青森中央短期大学, ⁶: 弘前病院附属看護学校

学会発表

・山口美佳¹、吹田夕起子: 内科病棟における高齢者のせん妄予防に対する援助。第40回日本看護学会—老年看護—学術集会, 2009年9月16-17日, ビックパレットふくしま, 郡山市, 第40回日本看護学会抄録集老年看護, 72, 2009.

¹: シルバー病院

学会、研究室、地方会などの主催

・第12回青森高齢者ケア研究会主催, 2009年11月29日, 青森県立保健大学

・第13回青森高齢者ケア研究会主催, 2010年3月13日, 青森県立保健大学

16) 鄭 佳紅

1. 誌上発表

鄭佳紅¹: OJTによる看護師の技能とその伝承—指導・育成能力と報告・連絡・情報共有能力に焦点を当てて—, 日本ヒューマンケア科学学会誌, 2(1), 31-40, 2009

¹: 青森県立保健大学

鄭佳紅¹、上泉和子¹: 【地域連携を支える看護職の役割】地域連携における看護職および看護管理者の役割, 看護展望, 34(7), 656-660, 2009.

¹: 青森県立保健大学

鄭佳紅¹: 看護師長が推進する看護ケアの質評価, ナースマネジャー, 11(10), 10-15, 2009.

¹: 青森県立保健大学

2. 一般発表など

坂下玲子¹, 内布敦子¹, 鄭佳紅², 桜井礼子³, 福田広美³, 栗屋典子⁴, 上泉和子²: Web 版看護ケアの質評価総合システムによる構造評価、過程評価、患者満足度の関連, 第 29 回日本看護科学学会学術集会, 2009 年 11 月 27 日, 千葉, 示説発表, 第 29 回日本看護科学学会学術集会講演集, 367, 2009.

1: 兵庫県立大学, 2: 青森県立保健大学, 3: 大分県立看護科学大学, 4: 元大分県立看護科学大学

鄭佳紅¹, 上泉和子¹, 内布敦子², 坂下玲子², 桜井礼子³, 福田広美³, 栗屋典子⁴, 村上眞須美¹: 一般病棟における看護ケアの質評価 Web 版看護ケアの質評価総合システムを用いて, 第 47 回日本医療・病院管理学会学術総会, 2009 年 10 月 17 日, 東京, 示説発表, 日本医療・病院管理学会誌, 46 (Supl.), 155, 2009.

1: 青森県立保健大学, 2: 兵庫県立大学, 3: 大分県立看護科学大学, 4: 元大分県立看護科学大学

17) 山田 典子

図書

- 山田典子:安全安心なまちで暮らしたい～十和田市セーフコミュニティのあゆみ～、梨の木舎、東京、p128、2010.3.31

原著

- 山田典子¹⁾, 川内規会¹⁾, 山田真司¹⁾, 上野雅²⁾, 新井山洋子³⁾, 富田恵¹⁾, リボウイツよし子¹⁾: 1) 青森県立保健大学, 2) SC とわだを実現させる会, 3) 十和田市役所: 黎明期のセーフティプロモーション(SP)活動に見られる住民間の目的意識形成の成因解明 Part I. 日本セーフティプロモーション学会誌 Vol.2, No.1, p33-39, 2009

1) 青森県立保健大学, 2) セーフコミュニティとわだを実現させる会, 3) 十和田市役所,

研究報告

- 山田真司¹⁾, 山田典子¹⁾, 川内規会¹⁾, 奈良岡恵子¹⁾: 1) 青森県立保健大学: セーフティプロモーション活動からの交通問題へのアプローチ～Part II. 地域居住者によるグループインタビューからわかったこと～、日本セーフティプロモーション学会誌 Vol3, 2009

学会発表

• Noriko Yamada^a, Masashi Yamada^a, Yujiro Handa^b, Yoko Niiyama^c, Hisako Nagase^c, Ichiko Ohta^d, Junko Ashino^d, Kikumi Sada^d, Kie Kawauchi^a, Kazuhito Watanabe^c, Motiki ohnishi^e, Makoto Narita^c, Masachika Nakanowatari^c, Megumi Tomita^a, Saeko Tanaka^d, Wataru Nagahata^c, Yoshiko Leibowitz^a, Yoshihide Sorimachi^f: Family Violence (FV) injuries in Japan: Surveillance results on DV victims' injuries in A-city, Aomori Prefecture

^a Aomori University of Health and Welfare, Faculty of Health science, Japan

^b Health Science University of Hokkaido, Faculty of Dental Sciences, Japan

^c Towada Municipal, Japan, ^d Towada Safe Community Citizens, Japan

^e Aomori Prefectural Government, Japan ^f Kamitosan Public Health Center, Director, Japan

19th INTERNATIONAL CONFERENCE ON SAFE COMMUNITIES March 23-26, 2010 Suwon, Korea

• Noriko Yamada^a, Yujiro Handa^b, Megumi Tomita^a, Kie Kawauchi^a, Keiko Naraoka^a, Masashi Yamada^a, Yoshiko Leibowitz^a: Reasons why monitoring of injuries related to domestic violence (DV) is difficult: Recognition of nursing professionals providing care to DV victims

^a Aomori University of Health and Welfare, Faculty of Health science, JAPAN

^b Health Science University of Hokkaido, Faculty of Dental Sciences, Japan

19th INTERNATIONAL CONFERENCE ON SAFE COMMUNITIES March 23-26, 2010 Suwon, Korea

• Youko NIYAMA¹⁾, Junko ASHINO²⁾, Kikumi SADA²⁾, Kaori TOYODA²⁾, Masashi UENO²⁾, Kazuko OHTA²⁾, Saiko TANAKA²⁾, Noriko YAMADA³⁾, Masashi YAMADA³⁾, Hisako NAGASE¹⁾, Yoshihide SORIMACHI⁴⁾

Community diagnosis in terms of injuries in the elderly in Towada Safe Community

¹Department of Health and Welfare, Towada Municipality,

²Towada Safe Community Citizens, ³Aomori Prefectural University of Health and Welfare, ⁴Kamitosan District Public Health Center, Aomori Prefectural Government
19th INTERNATIONAL CONFERENCE ON SAFE COMMUNITIES March 23-26, 2010 Suwon, Korea

・Noriko Yamada, Yoko Niiyama, Hisako Nagase, Junko Ashino, Kikumi Sada, Masachika Nakanowatari, Kie Kawauchi, Megumi Tomita, Keiko Naraoka, Yoshiko Leibowitz, Yujiro Handa, Masasi Yamada: Understanding the Foundations of the Decision-Making Process by Local Citizen's in Relation to Community Activities, Aomori University of Health and Welfare, Aomori, Japan
Towada citizens' group, Safe Communities-cali2009 18th International Conference. Safety Policies as an axis for Development. p60, Valle Del Pacifico Convention Center. August 13 at 15 2009 Santiago de Cali-Colombia.

・Kie Kawauchi, Noriko Yamada: Understanding the Decision-Making Process of Local Citizen's in Relation to Safety and Health Promotion in Community Activities, 第一回アジア太平洋ヘルスプロモーション健康教育学会(APHPE), p446, 2009.7.18~2009.7.20, Chiba, Japan

・山田典子¹, 蘆野潤子², 上野雅², 大田一子², 大西基喜³, 小又佳奈子², 小山田玲子², 定喜久美², 反町吉秀⁴, 田中砦子², 豊田佳緒里², 長瀬比佐子⁵, 中野渡正慈⁵, 長畑航⁵, 奈須下淳³, 成田誠⁵, 新井山洋子⁵, 新渡戸富恵², 東陽平³, 三浦直子², 山本由雄⁵, リボウイツよし子¹, 渡邊一史⁵:セーフコミュニティはどのように実現出来たのか?, 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月 12 日, p58-59, 青森県青森市 1) 青森県立保健大学, 2) セーフコミュニティとわだを実現させる会, 3) 青森県健康福祉部, 4) 上十三保健所, 5) 十和田市役所,

・山田典子¹, 新井山洋子², 長瀬比佐子², 蘆野潤子³,

定喜久美³, 反町吉秀⁴, 川内規会¹, 富田恵¹, 奈良岡恵子¹, 山田真司¹, リボウイツよし子¹:地域づくりを促すセーフティプロモーション活動, 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月 12 日, p80-81, 青森県青森市 1) 青森県立保健大学, 2) 十和田市役所, 3) セーフコミュニティとわだを実現させる会, 4) 上十三保健所

・山田真司, 山田典子, 川内規会, 富田恵, 奈良岡恵子:青森県 Q 市における受診外傷調査について, 第 3 回日本セーフティプロモーション学会学術大会, 2009 年 8 月 28 日~8 月 29 日, p54, 青森県十和田市

教材開発

・DVD 作成:セーフティプロモーション・セーフコミュニティの展開

~安全・安心の心豊かなまち~ (12 分と 20 分監修)

18) 山本 真樹子

学会・研究発表会発表

・大関信子¹, 大井けい子¹, 山本真樹子¹, 佐藤愛¹, 片山綾乃¹, 長澤一磨²:青森県更年期女性の「更年期障害」の発症率及び受診率と治療の現状 第 1 報, 日本更年期医学会第 24 回学術集会, 2009 年 10 月 3・4 日, ホテル青森, 青森市. 第 24 日本更年期医学会雑誌, vol.17, p.117, 2009

1) 青森県立保健大学, 2) 青森県総合健診センター

・大関信子¹, 片山綾乃¹, 山本真樹子¹, 佐藤愛¹, 大井けい子¹, 長澤一磨²:青森県更年期女性のメンタルヘルスの現状と関連要因 第 2 報, 日本更年期医学会第 24 回学術集会, 2009 年 10 月 3・4 日, ホテル青森, 青森市. 第 24 日本更年期医学会雑誌, vol.17, p.90, 2009

1) 青森県立保健大学, 2) 青森県総合健診センター

・佐藤愛¹, 大関信子¹, 山本真樹子¹, 大井けい子¹, 片山綾乃¹, 長澤一磨²:更年期症状の対処法と情報源:異常群との比較 第 3 報,

日本更年期医学会第24回学術集会, 2009年10月3・4日, ホテル青森, 青森市. 第24日本更年期医学会雑誌, vol.17, p.117, 2009
1) 青森県立保健大学, 2) 青森県総合健診センター

- ・大関信子¹⁾, 山本真樹子¹⁾, 片山綾乃¹⁾, 佐藤愛¹⁾, 大井けい子¹⁾: 自然流産の「説明モデル」とケアのあり方の検討, 第29回日本看護科学学会学術集会, 2009年11月27・28日, 幕張メッセ, 千葉市, 第29日本助産学会誌集録集, p.449, 2009 1) 青森県立保健大学
- ・佐藤愛¹⁾, 大関信子¹⁾, 山本真樹子¹⁾, 片山綾乃¹⁾, 大井けい子¹⁾: 妊婦健診の未受診の現状と関連要因, 第29回日本看護科学学会学術集会, 2009年11月27・28日, 幕張メッセ, 千葉市, 第29日本助産学会誌集録集, p.450, 2009. 1) 青森県立保健大学
- ・山本真樹子¹⁾, 大関信子¹⁾, 片山綾乃¹⁾, 佐藤愛¹⁾, 大井けい子¹⁾: 子育て支援に対する女性の思い—行政、医療、コミュニティに望むこと—, 第29回日本看護科学学会学術集会, 2009年11月27・28日, 幕張メッセ, 千葉市, 第29日本助産学会誌集録集, p.443, 2009. 1) 青森県立保健大学
- ・片山綾乃¹⁾, 谷田部仁子¹⁾, 山本真樹子¹⁾, 佐藤愛¹⁾, 大関信子¹⁾, 大井けい子¹⁾: A県の少子化問題: 女性の「子どもを産みたい」という気持ちと産科施設数、産科医師数の増減との関連, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 平成22年2月12日, 青森県立保健大学, 青森市, 2009年度 青森県保健医療福祉研究発表会—抄録集—, p.66 1) 青森県立保健大学
- ・谷田部仁子¹⁾, 片山綾乃¹⁾, 山本真樹子¹⁾, 佐藤愛¹⁾, 大関信子¹⁾, 大井けい子¹⁾: A県の「産後うつ」の発症率と関連要因の検討, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 平成22年2月12日, 青森県立保健大学, 青森市, 2009年度 青森県保健医療福祉研究発表会—抄録集—, p.70 1) 青森県立保健大学

【一般発表】

- 1) 片山綾乃, 谷田部仁子, 山本真樹子, 佐藤愛, 大関信子, 大井けい子: A県の少子化問題: 女性の「子どもを産みたい」という気持ちと産科施設数、産科医師数の増減との関連. 青森県保健医療福祉研究発表会, 青森市, 抄録集 p66-67. 平成22年2月12日
- 2) 谷田部仁子, 片山綾乃, 山本真樹子, 佐藤愛, 大関信子, 大井けい子.: A県の『産後うつ』の発症率と関連要因の検討. 青森県保健医療福祉研究発表会, 青森市, 抄録集 p70-71. 平成22年2月12日

19) 谷田部 仁子

1) 藤田 智香子

学術論文(原著)

・藤田智香子¹, 岩月宏泰¹, 佐藤秀一¹: 理学療法検査技術習得に向けた客観的臨床能力試験(OSCE)の試行-関節可動域測定を課題として-. 青森県立保健大学雑誌, 10(1), 35~42, 2009.

¹: 青森県立保健大学,

・藤田智香子¹, 前野竜太郎², 岩月宏泰¹: テレビ会議システムを利用した遠隔地間でのリハビリテーション介助指導における課題と展望. 第22回ゆきみらい研究発表会論文集, 133-136, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 聖隷クリストファー大学

・岩月宏泰¹, 岩月順子², 藤田智香子¹: 凍結路歩行時の観光客が危険を予知し, それを回避する行動を促すための情報提供のあり方. 第22回ゆきみらい研究発表会, 第22回ゆきみらい研究発表会論文集, 34-39, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 南内科循環器科病院

報告書など

・藤田智香子, 須郷磨衣子, 岩月宏泰: 徒手筋力テスト(MMT)習得に向けた客観的臨床能力試験(OSCE)の応用. 平成21年度青森県立保健大学教育改善研究報告書, 2010.

¹: 青森県立保健大学,

・岩月宏泰¹, 須郷磨衣子¹, 藤田智香子¹, 堤絢菜²: 理学療法学生の危険に対する感性を高める危険予知訓練(KYT)のための教材開発とその効果に対する検討. 平成21年度青森県立保健大学教育改善研究報告書, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森慈恵会病院

学会発表

・岩月宏泰¹, 須郷磨衣子¹, 藤田智香子¹, 堤絢菜²: 理学療法学生の危険に対する感性を高める危険予知訓練(KYT)のための教材開発とその効果に対する検討. 青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森市, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集, p62-63, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森慈恵会病院

・藤田智香子¹, 前野竜太郎², 岩月宏泰¹: テレビ会議システムを利用した遠隔地間でのリハビリテーション介助指導における課題と展望. 第22回ゆきみらい研究発表会, 2010年2月19日, 青森市文化会館, 青森市, 第22回ゆきみらい研究発表会論文集, p31, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 聖隷クリストファー大学

・岩月宏泰¹, 岩月順子², 藤田智香子¹: 凍結路歩行時の観光客が危険を予知し, それを回避する行動を促すための情報提供のあり方. 第22回ゆきみらい研究発表会, 2010年2月19日, 青森市文化会館, 青森市, 第22回ゆきみらい研究発表会論文集, p9, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 南内科循環器科病院

・藤田智香子¹, 須郷磨衣子¹, 羽場俊宏², 岩月宏泰¹: 下肢MMT技術習得に向けての客観的臨床能力試験(OSCE)の応用(第1報). 第34回青森県理学療法士学会, 2010年3月14日-15日, むつ来さまい館, むつ市, 第34回青森県理学療法士学会プログラム・抄録集, p40, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森県立保健大学大学院

・岩月宏泰¹², 藤田智香子¹², 須郷磨衣子¹, 羽場俊広²: 理学療法技術を教授する授業内容の見直しを促すOSCEの効用. 平成21年度全国PTOT学校連絡協議会教育研修会, 2010年3月27日-28日, 首都大学東京, 東京都荒川区, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森県立保健大学大学院

・岩月宏泰¹, 藤田智香子¹: 理学療法学生におけるリーダーシップ行動と対人的志向性との関係. 第34回青森県理学療法士学会, 2010年3月14日-15日, むつ来さまい館, むつ市, 第34回青森県理学療法士学会プログラム・抄録集, p50, 2010.

¹: 青森県立保健大学

2) 福島 真人

学術論文(原著)

・福島真人¹, 長門五城¹, 西岡類², 藤川雅人²: 特別支援学校への外部専門家としての活動. 理学療法研究, 27, 31-35, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森県立七戸養護学校

学会発表

- ・福島真人¹，尾崎勇¹，小林哲生²，鄭址旭²：体性感覚刺激への気づきと誘発脳電位. 第39回日本臨床神経生理学会学術大会, 2009年11月18日-20日, 北九州国際会議場, 北九州市, 臨床神経生理学 37(5), p339, 2009.

¹: 青森県立保健大学, ²: 京都大学大学院

- ・西沢勝則¹，藤川雅人¹，長門五城²，福島真人²：七戸養護学校における理学療法士との連携による授業改善の取組. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森市, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集, p64-65, 2010.

¹: 青森県立七戸養護学校, ²: 青森県立保健大学

3) 橋本 淳一

報告書など

- ・佐藤秀一，橋本淳一，佐藤秀紀，濱田圭，渋谷明司，太田誠，清藤栄造：景観映像がもたらす視覚効果を用いた運動療法用チェアの開発. 平成21年度青森県立保健大学研究報告書, 2010.

国内外で開催された学会発表

- ・李相潤，深津陽子，橋本淳一：常圧低酸素濃度環境下の持続的な運動負荷が筋組織に及ぼす影響. 日本健康科学学会第25回学術大会, 日本健康科学学会第25回学術大会抄録集, p215, 平成21年8月29-30日, 東京都.

4) 岩月 宏泰

学術論文 (原著)

- ・前野竜太郎，藤田智香子，岩月宏泰：テレビ会議システムを用いた遠隔地介助技術指導における電子マーカーの試用. 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部紀要, 4:29-37, 2008.
- ・藤田智香子，岩月宏泰，佐藤秀一：理学療法検査技術習得に向けた客観的臨床能力試験(OSCE)の試行—関節可動域測定を課題として. 青森県立保健大学雑誌, 10(1) : 35-42, 2009.

- ・岩月宏泰，工藤真大，羽場俊広：腹帯使用が除雪動作時の腰背痛軽減を促す効果. 寒地技術論文報告集, 25 : 243-246, 2009.

- ・岩月宏泰，工藤真大，羽場俊広：スノーダンブ使用時の姿勢の違いが体幹筋の筋活動に及ぼす影響について. 寒地技術論文報告集, 25 : 247-249, 2009.

- ・岩月宏泰，岩月順子，藤田智香子：凍結路歩行時の観光客が転倒の危険を予知し，それを回避する行動を促すための情報提供のあり方. ゆきみらい2010 in 青森, 2/18-19, 2010.

報告書など

- ・藤田智香子，須郷磨衣子，岩月宏泰：徒手筋力テスト(MMT)習得に向けた客観的臨床能力試験(OSCE)の応用. 平成21年度青森県立保健大学教育改善研究報告書, 2010.

¹: 青森県立保健大学,

- ・岩月宏泰¹，須郷磨衣子¹，藤田智香子¹，堤絢菜²：理学療法学生への危険に対する感性を高める危険予知訓練(KYT)のための教材開発とその効果に対する検討. 平成21年度青森県立保健大学教育改善研究報告書, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森慈恵会病院

発表

- ・岩月宏泰，岩月順子：健常青年者に普通歩行速度でノルディック・ウォーキングをさせた際の心拍変動と下肢荷重の解析. 第44回日本理学療法学会学術大会, 理学療法学, 36 (大会特別号), 38, 平成21年5月28-30日, 東京都.

- ・安田雅美・岩月宏泰：療法士の自律性に勤労意欲が及ぼす影響. 第44回日本理学療法学会学術大会, 理学療法学, 36 (大会特別号), 55, 平成21年5月28-30日, 東京都.

- ・木村直子，岩月宏泰：理学療法士のキャリア開発に重要な役割を果たす自律性の測定. 第44回日本理学療法学会学術大会, 理学療法学, 36 (大会特別号), 55, 平成21年5月28-30日, 東京都.

- ・岩月宏泰，庭田幸治，岩月順子：積雪寒冷地で学ぶ理学療法学生への凍結路歩行と補助具についての意識調査. 第44回日本理学療法学会学術大会, 理学療法学, 36 (大会特別号), 99, 平成21年5月28-30日, 東京都.

・庭田幸治, 岩月宏泰: 脳血管疾患後片麻痺者の下肢筋筋電図における麻痺側と非麻痺側の比較. 第 44 回日本理学療法学会大会, 理学療法学会, 36 (大会特別号), 36, 平成 21 年 5 月 28-30 日, 東京都.

・工藤真大, 羽場俊広, 岩月宏泰: 片脚スクワット運動が健常青年の立位バランスに及ぼす効果. 日本体力医学会東北地方会第 19 回大会, 平成 21 年 6 月 12-13 日, 弘前市.

・Iwatsuki H, Iwatsuki J: Gender Differences in Leadership Behavior in Japanese Physiotherapists' Working Groups. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education (APHPE), Abstract 213, 平成 21 年 7 月 18-20 日, 幕張市.

・Iwatsuki H, Iwatsuki J: Kiken Yochi Training (KYT) for Hospital Employees: Sustained Reduction of Environmental Hazards to Hospitalized Physically Handicapped Patients. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education (APHPE), Abstract 291, 平成 21 年 7 月 18-20 日, 幕張市.

・成田秀美, 岩月宏泰: 作業療法・言語聴覚 2 年生の職業に対する意識調査. 第 58 回東北公衆衛生学会, 平成 21 年 7 月 24 日, 秋田市.

・工藤真大, 岩月宏泰: 介護特別養護老人ホーム入所者の身体機能と ADL の経年変化についての解析. 第 58 回東北公衆衛生学会, 平成 21 年 7 月 24 日, 秋田市.

・工藤真大, 羽場俊広, 岩月宏泰: 片脚スクワット運動が片脚立位バランス能力に及ぼす効果について. 第 64 回日本体力医学会大会, 予稿集, 356, 平成 21 年 9 月 18-20 日, 新潟市.

・岩月宏泰, 工藤真大, 羽場俊広: プレコンディショニングとしての温熱療法が筋疲労に及ぼす効果. 第 64 回日本体力医学会大会, 予稿集, 358, 平成 21 年 9 月 18-20 日, 新潟市.

・岩月宏泰, 岩月順子: 理学・作業療法士の自律性が勤労意欲に与える影響についての因果分析. 第 47 回日本医療・病院管理学会学術集会, 平成 21 年 10 月 17-18 日, Suppl233, 東京都.

・岩月宏泰: 簡易根本原因分析法 (SRCA) を学内の医療安全教育に活用するための条件について. 第 27 回東北理学療法学会大会, 平成 21 年 12

月 12-13 日, Suppl81, 仙台市.

・岩月宏泰, 堤絢菜, 須郷磨衣子, 藤田智香子: 理学療法学生の危険に対する感性を高める危険予知訓練 (KYT) のための教材開発とその効果に対する検討. 平成 21 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 平成 22 年 2 月 12 日, 抄録集 50、青森市.

・岩月宏泰・藤田智香子: 理学療法学生におけるリーダーシップ行動と対人的志向性との関係. 第 34 回青森県理学療法士学会, 平成 22 年 3 月 13-14 日, むつ市.

・藤田智香子, 須郷磨衣子, 岩月宏泰, 羽場俊広: 下肢 MMT 技術習得に向けての客観的臨床能力試験 (OSCE) の応用 (第 1 報). 平成 21 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 平成 22 年 2 月 12 日, 抄録集 40、青森市.

・岩月宏泰, 藤田智香子, 須郷磨衣子, 羽場俊広: 理学療法技術を教授する授業内容の見直しを促す OSCE の効用. 平成 21 年度全国 PTOT 学校連絡協議会教育研修会. 平成 22 年 3 月 27・28 日, 東京都.

5) 勘林 秀行

報告書など

・山本春江, 杉山克美, 勘林秀行, 佐藤伸, 千葉敦子, 井沢弘美, 廣森直子: 『健康科学実習』における GW を促進するための教育方法の開発と検討. 平成 21 年度青森県立保健大学教育改善研究報告書, 2010.

6) 神成 一哉

学術論文

山田明子, 細川満子, 神成一哉. 特集/筋萎縮性側索硬化症 (ALS) のリハビリテーション: コミュニケーションをいかにとるか. MB Med Reha (Monthly Book Medical Rehabilitation) 113: 55-60, 2009.

報告書など

武田 篤 (司会), 柏原健一, 阿部隆志, 神成一哉, 前田哲也. Round Table: Expert Meeting

2009 ー進行期パーキンソン病の治療戦略ー.
Therapeutic Research 30 (11): 1695-1702,
2009.

神成一哉 (司会), 武田 篤, 佐藤達郎, 富山誠彦, 丸尾泰則. <Expert Meeting in SEIKAN> パーキンソン病治療における薬物療法ーL-dopa の適正使用ー. Therapeutic Research 31(1): 17-24, 2010.

学会・研究会発表

神成一哉. パーキンソン病におけるドパミンーアセチルコリン仮説は正しいか? 第8回釧路ニューロサイエンスワークショップ, シンポジウム1, 平成21年7月3日, 釧路プリンスホテル, 釧路市

神成一哉, 石沢栄太. L-DOPA 投与によるラット線条体細胞外ノルアドレナリン濃度の変化. 第3回パーキンソン病・運動障害疾患コンGRESS (MDSJ), 平成21年10月9日, 品川プリンスホテル, 東京都港区

神成一哉. 特異な眼球運動異常を呈した症例. 第1回 動画で学ぶ青森神経症候研究会, 平成22年1月23日, 青森グランドホテル11階「サファイヤ」, 青森市

講演

神成一哉. パーキンソン病と認知症. 全国パーキンソン病友の会青森県支部主催医療講演会, 平成21年5月13日, 県民福祉プラザ4階, 青森市

神成一哉. パーキンソン病の薬物療法 ー病態と治療に関する新しい考え方を踏まえてー. 学術講演会「パーキンソン病の最新治療戦略」, 平成21年7月17日, ホテルニューキャッスル弘前, 弘前市

神成一哉. パーキンソン病について. 青森県マッサージ師会生涯研修会講師, 平成21年7月26日, ふれあいの館2階和室, 青森市

神成一哉. 脊髄小脳変性症と多系統萎縮症の患者・家族に対しての講話と個別相談. 平成21年度むつ保健所難病患者等医療相談, 平成21年9月3日, むつ来さまい館イベントホールB, むつ市

神成一哉. パーキンソン病の克服を目指して. 第1回パーキンソン病市民公開講座 (講演会の司会とパネルディスカッションのパネラー), 平成21年10月25日, 弘前市岩木文化センターあそべる, 弘前市

神成一哉. 進行期のパーキンソン病治療. 第1回青森市パーキンソン病市民公開講座ーパーキンソン病は怖くないー, 平成22年3月27日, 青森市文化会館5階大会議室, 青森市

神成一哉. パーキンソン病振動治療研究について. 八戸工業高等専門学校・青森県立保健大学学学連携研究談話会 (発表および司会), 平成22年3月30日, 青森県立保健大学 管理・図書館棟2階・大会議室, 青森市

査読

「青森県立保健大学雑誌」原著論文査読2件

7) 川口 徹

学術論文 (原著)

・川口徹¹, 三浦俊史¹: 理学療法士として行う集団訓練の検討ー運動負荷から見た集団訓練の効果を中心に. 理学療法研究 27, 22-25, 2010.

¹: 青森県立保健大学,

・後藤祥子¹, 川口晴美¹, 杉山麻子¹, 工藤雅子¹, 飯田真紀¹, 川口徹²: デイサービスでの理学療法士に求められる役割ー住宅型有料老人ホームに隣接するデイサービスにおいて. 理学療法研究 27, 26-30, 2010.

¹: アストラル, ²: 青森県立保健大学

学会発表

・川口徹¹, 藤田あけみ¹, 栗山祥², 佐藤正則³, 館山光浩⁴, 横内靖⁵: 「医療ものづくり身体機能研究会」

での多職種連携と活動. 第3回産学官民コミュニティ全国大会 in あおもり, 2010年9月26日, 弘前大学, 弘前市.

1: 青森県立保健大学, 2: 栗山義肢製作所, 3: 青森ヘルシー産業, 4: トムメディック, 5: 敬和マーケティング総研

・佐井川匠秀¹, 古澤仁美¹, 石田裕子¹, 木村喜子¹, 櫻井綾香¹, 米内薫¹, 川口徹²: 党員における訪問リハビリテーションの現状と課題. 第34回青森県理学療法士学会, 2010年3月14日-15日, むつ来さまい館, むつ市, 第34回青森県理学療法士学会プログラム・抄録集, p36, 2010.

1: 浪打病院, 2: 青森県立保健大学

8) 李 相潤

誌上発表 学術論文

1. 田村拓也¹, 関貴子¹, 葛西伸彦¹, 末綱太¹, 李相潤, 岩田学². 型糖尿病患者への呼気ガス分析(CPX)を用いた運動処方検討. 心臓リハビリテーション14 (1), 85-88. 2009.

¹ 八戸市民病院

² 弘前大学

発表

1. 長谷部香織¹, 李相潤, 橋本淳一, 佐藤厚子². 性別・年代別にみた肩こりの特性. 第33回青森県理学療法士学会 (三沢, 2009, 3)

¹ 芙蓉会村上病院 リハビリテーション科

² 秋田看護福祉大学

2. 田村拓也, 関貴子, 葛西伸彦, 末綱太, 李相潤, 岩田学 2 型糖尿病患者への呼気ガス分析(CPX)を用いた運動処方の検討. Target HR を処方する際のカルボネンの式と CPX の有意差. 第46回日本理学療法学会 (三重, 2009, 4)

¹ 八戸市民病院

² 弘前大学

3. 李相潤, 深津陽子, 橋本淳一. 常圧低酸素濃

度環境下の持続的な運動負荷が筋組織に及ぼす影響. 第25回日本健康科学学会 (東京, 2009, 8)

4. 千葉恵津子¹, 鎌田明美¹, 千葉敦子, 李相潤, 山本春江. 労働者の冬の運動量と地域環境との関連についての検討(第2報). 第68回日本公衆衛生学会 (奈良, 2009, 10)

¹ 青森郵政健康管理センター

5. 熊谷貴子, 李相潤, 北宮千秋¹, 佐藤厚子², 橋本淳一, 伊藤治幸. 青森県における農業地域類型区分の身体的特徴. 第68回日本公衆衛生学会 (奈良, 2009, 10)

¹ 弘前大学

² 秋田看護福祉大学

9) 三浦 雅史

学術論文 (原著)

・三浦雅史: シンスプリントに対する装具とアーチサポートの効果. 青森スポ研誌, 18:27-31, 2009.

・苫米地真理子, 三浦雅史: 足関節テーピングが固有受容器に及ぼす影響. 青森スポ研誌, 18:21-25, 2009.

・三浦雅史, 中裕介: 運動後の筋疲労に対する徒手での振動効果. 理学療法研究, 27:17-21, 2010.

・川口徹, 三浦雅史: 理学療法としておこなう集団訓練の検討. 運動負荷からみた集団訓練の効果を中心に. 理学療法研究, 27:22-25, 2010.

国内外で開催された学会発表 (口頭発表)

・鎌田明美, 山本春江, 千葉敦子, 三浦雅史, 千葉恵津子: 介護予防トレーニングの「場」に求められる参加者のニーズ. 第68回日本公衆衛生学会, 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集, p347, 平成21年10月21-23日, 奈良市.

・三浦雅史: 講義・実習の電子媒体化とその活用. 第44回日本理学療法学会, 理学療法学, 36, p1702, 平成21年5月28-30日, 東京都.

・下沢祐貴, 三浦雅史: 前足部への刺激が立位安定性に及ぼす影響. 第44回日本理学療法学術大会, 理学療法学, 36, p1190, 平成21年5月28-30日, 東京都.

・三浦雅史: 介護予防が運動機能向上に及ぼす影響について—2年間のトレーニング効果—. 第27回東北理学療法学術大会, 平成21年12月12-13日, 仙台市.

10) 盛田 寛明

学術論文 (原著)

1. Hiroaki Morita, Hideo Ito¹, Harue Yamamoto. How do health, medical treatment and welfare service providers conceptualize “community-based rehabilitation”? -Comparison with “community care”-. Journal of Physical Therapy Science 21 (3): 275-286, 2009.

¹元青森県立保健大学

2. 山下弘二, 盛田寛明, 伊藤和夫¹. 脳卒中患者の咳嗽力と関連因子. 理学療法科学 24 (4), 549-553, 2009.

¹あおもり協立病院

書籍・辞書など

1. 盛田寛明. 第7章リハビリテーション医療の展開 4. 病院・施設でのリハビリテーション. セラピストのための概説リハビリテーション. (編) 嶋田智明¹, 他. 東京, 文光堂, pp. 176-185, 2009年11月. (共著)

¹神戸大学

2. 盛田寛明. 第1章リハビリテーションの基礎 3 地域リハビリテーション (1) 地域リハビリテーションのプロセス. 伊藤利之¹, 中村隆一², 他(編). リハビリテーション事典. 東京, 中央法規出版, pp. 34-36, 2009年9月.

¹横浜市総合リハビリテーションセンター, ²元東北大学

学会発表

1. 盛田寛明, 鈴木崇司¹. 立て掛け時に転倒しにくいT字杖のユーザビリティ評価. 第44回日

本理学療法学術大会, 2009年5月30日, 東京都, 理学療法学 36 (supl 2), 1352, 2009.

¹あおもり協立病院

2. 山下弘二, 盛田寛明, 伊藤和夫¹. 脳卒中患者の咳嗽力と栄養状態との関連性. 日本体力医学会東北地方会第19回大会理学療法学術大会, 2009年6月13日, 弘前市, 2009.

¹あおもり協立病院

11) 長門 五城

誌上発表

学術論文

1. 渡部一郎, 長門五城, 須郷磨衣子: ベルト付き骨盤サポーターによる知覚閾値と自律神経. Biomedical Thermology 29(2), 39-43, 2010

2. 福島真人, 長門五城, 西沢勝則¹, 藤川雅人¹: 特別支援学校への外部専門家としての活動. 理学療法研究 27, 31-35, 2010

¹青森県立七戸養護学校

3. 渡部一郎, 須藤竜生¹, 三浦隆之², 下山諭史³, 長門五城, 須郷麻衣子, 渡部朋子: 脳卒中麻痺側・健側の手関節温と加速度指尖脈波の比較. Biomedical Thermology 28:29-33, 2009

¹あおもり協立病院, ²青森市民病院, ³あすなろ医療療育センター

総説

1. 長門五城, 渡部一郎: 変形性膝関節症に対する物理療法の効果とリハビリテーション. Monthly Book Medical Rehabilitation 105, 13-18, 2009

2. 田頭康子¹, 渡部一郎, 長門五城, 渡部朋子: 関節リウマチ患者のメタボリックシンドロームと機能障害・ADLとの関係について. 日本RAのリハビリ研究会誌 23, 49-53, 2009

¹青森敬仁会病院

発表

1. 長門五城, 渡部一郎: 車いす上座位保持における胸部下部支持の効果について. 日本機械学会 2009年度年次大会 (盛岡市),

2009. 9. 11.
2. 長門五城、渡部一郎、須郷磨衣子：簡易な装具装着による電流知覚閾値の変化、第26回日本RAのリハビリ研究会（別府市）、2009. 10. 11
 3. Ichiro Watanabe, Tomoko Watanabe, Satoshi Shimoyama, Itsuki Nagato, Maiko Sugo : Effects to autonomic nervous system after thermal therapy and passive exercise of limbs in stroke patients suffering from shoulder hand syndrome. The 5th International society physical and rehabilitation medicine, Istanbul (Turkey), 2009, 6, 12
 4. 渡部朋子、長門五城、渡部一郎：若年者の食生活習慣と皮膚生理機能、第26回日本サーモロジー学会(札幌市), 2009. 6. 19
 5. 渡部一郎、渡部朋子、長門五城：脳卒中患者の患側他動運動・温熱療法による自律神経作用、第26回日本サーモロジー学会(札幌市), 2009. 6. 19
 6. 須郷磨衣子、渡部一郎、長門五城：健常男性に対する物理療法および運動療法後の疼痛閾値の変化、第26回日本RAのリハビリ研究会（別府市）, 2009. 10. 11
 7. 阿部寛子¹⁾、長門五城、畠山優¹⁾、中川寿江¹⁾、柏木智一¹⁾、豊口卓¹⁾、石川大瑛¹⁾、山内祐智¹⁾、畠山麗華¹⁾：チャイルドシートを用いた座位保持装置作製の試み、第27回東北理学療法学会(仙台市)、2009. 12. 12-13
¹⁾ 大館市立総合病院
 8. 西沢勝則¹⁾、藤川雅人¹⁾、長門五城、福島真人：七戸養護学校における理学療法士との連携による授業改善の取組、2009年度青森県保健医療福祉研究発表会（青森市）、2010. 2. 12
¹⁾ 青森県立七戸養護学校

1 2) 尾崎 勇

紙上発表

- 1) Kobayashi T¹, Ozaki I, Nagata K²(edited):

Brain Topography and Multimodal Imaging. Kyoto University Press, Kyoto, Japan, ISBN 978-4-87698-799-3, 2009.(総ページ数 263 ページ)

- ¹ : 京都大学大学院工学研究科・電気工学専攻, ² : 秋田県立脳血管研究センター・神経内科
- 2) 尾崎 勇, 橋本 勲¹ : ヒト体性感覚野からの高周波振動と臨床応用. 臨床検査 53(9): 1041-1048 (2009).
¹ : 金沢工業大学
- 3) 尾崎 勇, 多喜乃亮介¹, 橋本 勲² : ヒト聴覚野の等周波数帯. 臨床検査 53(9): 1065-1072 (2009).
¹ : 白梅学園大学子ども学部, ² : 金沢工業大学
- 4) 木村 友昭¹, 尾崎 勇, 橋本 勲² : 脳深部白質からの磁場信号の計測. 臨床検査 53(9): 1079-1083 (2009).
¹ : 東京有明医療大学保健医療学部, ² : 金沢工業大学
- 5) 木村 友昭¹, 尾崎 勇, 橋本 勲² : ヒト大脳白質からの磁場信号の計測. 日本生体磁気学会誌 22(1): 182-183 (2009).
¹ : 東京有明医療大学保健医療学部, ² : 金沢工業大学
- 6) 中川雅文¹, 尾崎 勇(監訳), (Aage R. Moller 著) ; 脳の可塑性。可塑性のメカニズムと神経系の障害. 医歯薬出版, 東京, ISBN 978-4-263-21337-7, 2009. (総ページ数 225 ページ)
¹ : 創進会みつわ台総合病院

一般発表, 講演など

- 1) 尾崎 勇 : Working group for making a diagnostic protocol of MEG. MEG 標準化制定研究プログラム第1回国際シンポジウム. 2009年5月27日石川県金沢市(金沢市文化ホール)
- 2) 木村友昭¹, 尾崎 勇, 橋本 勲² : 大脳白質からの磁場信号の計測. 第24回日本生体磁気学会大会. 2009年5月28-29日石川県金沢市(金沢市文化ホール)
¹ : 東京有明医療大学保健医療学部, ² : 金

沢工業大学

- 3) 尾崎 勇: パーキンソン病をより良く理解するために。日本ベーリンガーインゲルハイム社 社内勉強会。2009年6月19日 青森市(青森市文化会館 4F 会議室)
- 4) Mitsuru Kikuchi¹, Tsunehisa Tsubokawa², Isamu Ozaki, Yoshio Minabe¹, Isao Hashimoto³ : Visual-evoked magnetic fields in early stage of Alzheimer's disease: An optic flow stimulation study. 第18回国際脳電磁図トポグラフィ研究会議 ISBET 2009, 第26回日本脳電磁図トポグラフィ研究会(JSBET)。2009年9月30日-10月2日 京都市(京都市国際交流会館)
¹: 金沢大学医学部精神神経科, ²: 金沢大学医学部麻酔科, ³: 金沢工業大学
- 5) 尾崎 勇: パーキンソン病 最近の話題。グラクソスミスクライン株式会社東北支店 社内勉強会。2009年10月6日 青森市(アップルパレス青森 2F マリアージュ)
- 6) 尾崎 勇: パーキンソン病 最近の話題。エフピー株式会社仙台事務所 社内研修会。
2009年10月19日 仙台市(駅前のぞみビル 6F)
- 7) 尾崎 勇: パーキンソン病関連疾患について。下北地域県民局地域健康福祉部むつ保健所 難病患者等医療相談。2009年10月23日 むつ市(下北文化会館 2階)
- 8) 福島 真人, 尾崎 勇, 小林哲生¹, 鄭 址旭(ジョン・ジーウク)¹: 体性感覚刺激への気づきと誘発電位。一般口演「体性感覚誘発反応(電位・磁界)」。第39回日本臨床神経生理学会学術大会 2009年11月18-20日 福岡県北九州市(北九州国際会議場, 西日本総合展示場)
¹: 京都大学大学院工学研究科・電気工学専攻・生体機能工学分野
- 9) 尾崎 勇: 体性感覚野の高周波振動(HFOs)について。シンポジウム21: 大脳感覚野・運動野の内因性リズムの意味: 高周波振動(HFOs)。第39回日本臨床神経生理学会学術大会 2009年11月18-20日 福岡県北九州市(北九州国際会議場, 西日本総合展示場)
- 9) 尾崎 勇: 神経内科医から見た理学療法について～特に笑いと表情の認知について～。

特別講演。くまもと技術革新・融合研究会 (RIST : Research for Innovation and Synthesis of Technology in Kumamoto)。2009年11月24日熊本市(くまもと県民交流館 テトリアくまもとビル 9F)

13) 須郷 磨衣子

- ・須郷磨衣子, 渡部一郎, 長門五城: 片側頸部温熱療法が局所・全身性の交感神経機能に与える影響。Biomedical THERMOLOGY, 29: 26-32, 2010.
- ・渡部一郎, 須郷磨衣子: 脳卒中肩手症候群に対する星状神経節近傍光線療法の効果, Biomedical Thermology 28, 48-51, 2009.

報告書など

- ・藤田智香子, 須郷磨衣子, 岩月宏泰: 徒手筋力テスト(MMT) 習得に向けた客観的臨床能力試験(OSCE)の応用。平成21年度青森県立保健大学教育改善研究報告書, 2010.
- ・岩月宏泰¹, 須郷磨衣子¹, 藤田智香子¹, 堤絢菜²: 理学療法学生の危険に対する感性を高める危険予知訓練(KYT)のための教材開発とその効果に対する検討。平成21年度青森県立保健大学教育改善研究報告書, 2010.
- ¹: 青森県立保健大学, ²: 青森慈恵会病院
- ・須郷磨衣子, 渡部一郎, 長門五城: 健常男性に対する物理療法および運動療法後の疼痛閾値の変化。日本RAのリハビリ研究会誌, 24:76-78, 2010.

発表

- ・須郷磨衣子, 渡部朋子, 渡部一郎: 片側頸部温熱療法による交感神経機能, 第26回日本サーモロジー学会(札幌), 2009.6.19
- ・須郷磨衣子, 渡部一郎, 長門五城: 健常男性に対する物理療法および運動療法後の疼痛閾値の変化, 第26回日本RAのリハビリ研究会(別府), 2009.10.11
- ・Ichiro Watanabe, Tomoko Watanabe, Satoshi

Shimoyama, Itsuki Nagato, Maiko Sugo : Effects to autonomic nervous system after thermal therapy and passive exercise of limbs in stroke patients suffering from shoulder hand syndrome. The 5th International society physical and rehabilitation medicine, Istanbul (Turkey), 2009,6,12

・藤田智香子¹, 須郷磨衣子¹, 羽場俊宏², 岩月宏泰¹: 下肢 MMT 技術習得に向けての客観的臨床能力試験 (OSCE) の応用 (第 1 報). 第 34 回青森県理学療法士学会, 2010 年 3 月 14 日-15 日, むつ来さまい館, むつ市, 第 34 回青森県理学療法士学会プログラム・抄録集, p40, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森県立保健大学大学院
・岩月宏泰¹², 藤田智香子¹², 須郷磨衣子¹, 羽場俊宏²: 理学療法技術を教授する授業内容の見直しを促す OSCE の効用. 平成 21 年度全国 PTOT 学校連絡協議会教育研修会, 2010 年 3 月 27 日-28 日, 首都大学東京, 東京都荒川区, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森県立保健大学大学院

14) 渡部 一郎

学術論文 (原著)

1. 渡部一郎, 須藤竜生, 三浦隆之, 下山諭史, 長門五城, 須郷麻衣子, 渡部朋子: 脳卒中麻痺側・健側の手関節温と加速度指尖脈波の比較, Biomedical Thermology 28:29-33, 2009
2. 渡部一郎, 須郷麻衣子: 脳卒中肩手症候群に対する星状神経節近傍光線療法の効果, Biomedical Thermology 28, 48-51, 2009
3. 渡部一郎: 加速度脈波・局所発汗計測による脳卒中片麻痺患者の自律神経機能障害, 日温気物誌 72(3), 193-200, 2009
4. 渡部一郎, 長門五城, 須郷磨衣子: ベルト付き骨盤サポーターによる知覚閾値と自律神経, Biomedical Thermology 29(2), 39-43, 2010
5. 渡部朋子, 今淳, 渡部一郎: 若年喫煙者の食生活習慣と自律神経機能, Biomedical Thermology 29(2), 33-38, 2010
6. 須郷磨衣子, 渡部一郎: 健常人の片側頸部温熱療法の自律神経作用, Biomedical

Thermology 29, 26-32, 2010

総説

1. 渡部一郎, 渡部朋子: 肥満・高脂血症と温泉療法, 新湯治のすすめ (NPO 健康と温泉フォーラム), 22-23, 2009
2. 渡部一郎 (翻訳): Motor Control, 第 4 章 運動学習と機能回復の生理学的基礎, pp83-98, モーターコントロール (医歯薬出版; 東京), 2009
3. 渡部一郎: 早期 RA のリハビリテーションの展開, Clinical Rehabilitation 18, 117-123, 2009
4. 渡部一郎, 渡部朋子: 制度・治療変革に応じた新たな RA のリハビリテーション戦略〜 Overview, 日本 RA のリハビリ研究会誌 23, 94-97, 2009
5. 田頭康子, 長門五城, 渡部一郎, 渡部朋子: RA のメタボリックシンドロームと生活運動習慣. 日本 RA のリハビリ研究会誌 23, 49-53, 2009
6. 長門五城, 渡部一郎: 変形性膝関節症に対する物理療法の効果とリハビリテーション. Monthly Book Medical Rehabilitation 105, 13-18, 2009
7. 渡部一郎: 連載. 関連専門職種の動向, 総合リハビリテーション 38(2), 188-189, 2010

発表

1. 渡部朋子, 今淳, 渡部一郎: 若年者の血中アディポネクチンと食習慣の関係. 第 9 回抗加齢医学会 (東京), 2009.5.28
2. Tomoko Watanabe, Atsushi Kon, Ichiro Watanabe: The relationship between life style and the health condition in Japanese college students. The 5th International society physical and rehabilitation medicine, Istanbul (Turkey), 2009,6,12
3. Ichiro Watanabe, Tomoko Watanabe, Satoshi Shimoyama, Itsuki Nagato, Maiko Sugo : Effects to autonomic nervous system after thermal therapy and passive exercise of limbs in stroke patients suffering from shoulder hand syndrome. The 5th

International society physical and rehabilitation medicine, Istanbul (Turkey), 2009,6,12

4. 渡部朋子、長門五城、渡部一郎：若年者の食生活習慣と皮膚生理機能,第 26 回日本サーモロジー学会(札幌),2009.6.19
5. 須郷磨衣子、渡部朋子、渡部一郎：片側頸部温熱療法による交感神経機能,第 26 回日本サーモロジー学会(札幌),2009.6.19
6. 渡部一郎、渡部朋子、長門五城：脳卒中患者の患側他動運動・温熱療法による自律神経作用,第 26 回日本サーモロジー学会(札幌),2009.6.19
7. 渡部一郎(特別講演):リハビリテーション医療とサーモロジー,第 26 回日本サーモロジー学会(札幌),2009.6.19
8. 渡部一郎(教育講演)：生活習慣とメタボリック症候群 自動車損害保険機構 (青森) 2009. 5. 25, 青森トラック会館
9. 渡部一郎(教育講演)：喫煙とメタボリック症候群 自動車損害保険機構 (八戸) 2009. 6. 12, 八戸水産会館
10. 長門五城、渡部一郎:車いす上座位保持における胸部下部支持の効果について. 日本機械学会 2009 年度大会 (盛岡) , 2009. 9. 11.
11. 長門五城、渡部一郎、須郷磨衣子: 簡易な装具装着による電流知覚閾値の変化、第 26 回日本 RA のリハビリ研究会 (別府) , 2009. 10. 11
12. 須郷磨衣子、渡部一郎、長門五城: 健常男性に対する物理療法および運動療法後の疼痛閾値の変化、第 26 回日本 RA のリハビリ研究会 (別府) , 2009. 10. 11
13. 渡部一郎(教育講演)：喫煙とメタボリック症候群 自動車損害保険機構 (青森) 2009. 11. 18, 青森トラック会館
14. 渡部一郎(教育講演)：生活習慣とメタボリック症候群 自動車損害保険機構 (八戸) 2009. 11. 27, 八戸水産会館
15. 渡部朋子、今淳、渡部一郎：若年者の血中アディポネクチンと食習慣の関係,第 4 回日本ヒューマンケア学会(青森),2009.10.24

学会主催

1. リウマチ友の会青森支部 リウマチのリハビリテーションの実践、青森県立保健大学物理療法室, 2009. 7. 25

15) 山下 弘二

5-1. 業績集

との関連性. 体力科学 58(5):546, 2009.

学術論文 (原著)

- ・ 山下弘二：研究倫理と理学療法. 理学療法研究 26:8-14, 2009.
- ・ 山下弘二, 盛田寛明, 伊藤和夫：脳卒中患者の咳嗽力と関連因子. 理学療法科学 24(4):549-553, 2009.
- ・ 山下弘二：脳卒中患者の咳嗽力と栄養状態との関連性. 体力科学 58(5):546, 2009.

国内外で開催された学会発表 (口頭発表)

- ・ 山下弘二, 盛田寛明：養護老人ホーム入所者の最大呼気流速と筋肉量との関連性. 第 45 回日本理学療法学会大会, 平成 21 年 5 月 28 日, 岐阜市.
- ・ 山下弘二：脳卒中患者の咳嗽力と栄養状態との関連性. 第 19 回日本体力医学会東北地方会, 平成 21 年 6 月 13 日, 弘前市.

1) 千葉 たか子

1. 誌上発表

千葉たか子¹:パラダイム転換は可能かー青少年の意識にみるボランティア観ー

『青森県立保健大学雑誌』第10巻第2号、pp. 205-216, 2009

¹:青森県立保健大学

2. 一般発表など

千葉たか子¹:サンタル女性の購入決定権と経済的力量, 2009年度日本女性学会大会, 2009年6月27日, お茶の水女子大学, 東京都

¹:青森県立保健大学

千葉たか子¹:パラダイム転換の可能性ー青少年のボランティア観を基にー, 日本社会福祉学会 東北大会 第9回研究大会 秋田大会, 2009年7月19日, 秋田看護福祉大学, 大館市

¹:青森県立保健大学

千葉たか子¹:開発は、サンタル女性の社会的・経済的地位にどのような影響を与えるか, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森市

¹:青森県立保健大学

テキスト作成

千葉たか子¹:国際社会と日本の協力. 青森県立保健大学地域連携・国際センター, 2009.

¹:青森県立保健大学

2) 長谷川 真理子

1. 報告書

石田賢哉、齋藤史彦、種市寛子、加賀谷真紀、長谷川真理子「福祉分野で働く人のやりがいに関する研究ーやりがい、雇用環境、倫理観との

関係性に注目してー」平成20年度～21年度青森県立保健大学健康科学特別研究報告書、2010年4月

2. 一般発表

石田賢哉、齋藤史彦、種市寛子、加賀谷真紀、長谷川真理子「福祉分野で働く人のやりがいに関する研究ーやりがい、雇用環境、困難性との関係性に注目してー」2009年度青森県保健医療福祉研究発表会、2010年2月12日、青森県立保健大学、抄録集p82-83

3) 石田 賢哉

一般発表など

発表

石田賢哉¹、村田美由紀²、:社会福祉分野における広報活動に関する文献的考察. 第48回日本社会事業大学社会福祉研究大会, 2009年6月27日, 日本社会事業大学, 日本社会事業大学社会福祉研究大会 40p.

1) 青森県立保健大学 2) 共栄大学

石田賢哉¹ 大和田猛¹ 齋藤史彦¹ 種市寛子¹:社会福祉士を中心とした「研修ニーズ」と「現場で感じる困難」の関係性に焦点をあてて〔第1報〕. 第9回日本社会福祉学会東北部会, 2009年7月18日, 秋田看護福祉大学, 平成21年度日本社会福祉学会東北部会第9回研究大会報告要旨集 17p.

1) 青森県立保健大学

大山勉¹ 中川正俊² 石田賢哉³:精神障害当事者と支援者によるアンケート調査の実施報告ー就労者の特徴および就労が回復(リカバリー)に与える影響についてー. 2009年8月20-21日, 神戸学院大学, 日本職業リハビリテーション学会 第37回大会.

1) 東海学院大学 2) 田園調布学園大学 3) 青森県立保健大学

石田賢哉¹ 小川幸裕² 三上富士子³ 工藤清満⁴:青森バージョンの社会福祉士実習指導者養成講習会の課題

と展望—青森県で開催された実習指導者養成講習会の受講生の超えからみえてくる研修評価及び実習システムの課題について—。2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森市

1) 青森県立保健大学 2) 弘前学院大学 3) 青森県社会福祉士会 4) 平川市社会福祉協議会

石田賢哉: 青森県立保健大学社会福祉学科卒業生が有する職場で感じる困難と研修ニーズや大学に期待するフォローアップ体制についての一考察—保健大学社会福祉学科卒業生を対象とした研修ニーズ調査より—。2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森市

報告書

大山勉¹⁾ 中川正俊²⁾ 木村真理子³⁾ 石田賢哉⁴⁾: 研究報告書「精神障害者の就労を促進する要因についての研究—国際生活機能分類(ICF)による障害定義に基づく調査からの分析—」。みずほ福祉助成財団社会福祉助成, 2009年。

1) 東海学院大学 2) 田園調布学園大学 3) 日本女子大学 4) 青森県立保健大学

石田賢哉¹⁾ 種市寛子¹⁾ 齋藤史彦¹⁾ 加賀谷真紀¹⁾ 長谷川真理子¹⁾ 廣森直子¹⁾: 報告書「福祉分野で働く人のやりがいに関する研究—やりがい、雇用環境、倫理観との関係性に注目して—」。「青森県立保健大学 健康科学特別研究平成20~21年度報告書」青森県立保健大学健康科学特別研究費。

: 1) 青森県立保健大学

4) 加賀谷 真紀

一般発表

・大和田猛^{*1}, 加賀谷真紀^{*1}「特別養護老人ホームにおける高齢者虐待防止研修ニーズの実態と課題—青森県県内の特別養護老人ホーム・職員のニーズ調査結果を手掛かりに—」平成21年度日本社会福祉学会東北部会第9回研究大会, 2009年7月18~19日, 秋田看護福祉大学, 秋田県大館市, 平成21年度日本社会福祉学会東北部会第9回研究大会報告要旨集, P19. ^{*1}青森県立保健大学

・石田賢哉^{*1}, 齋藤史彦^{*1}, 種市寛子^{*1}, 加賀谷真紀^{*1}, 長谷川真理子^{*1}「福祉分野で働く人のやりがいに関する研究—やりがい、雇用環境、困難性との関係性に注目して—」2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 抄録集 p82~83. ^{*1}青森県立保健大学

報告書

・石田賢哉^{*1}, 齋藤史彦^{*1}, 種市寛子^{*1}, 加賀谷真紀^{*1}, 長谷川真理子^{*1}「福祉分野で働く人のやりがいに関する研究—やりがい、雇用環境、倫理観との関係性に注目して—」平成20年度~21年度青森県立保健大学健康科学特別研究報告書, 2010年4月. ^{*1}青森県立保健大学

5) 増山 道康

1. 誌上発表

増山道康: 社会保障の源流—聖書と大乘仏教典の記述を通じて—①旧約聖書とアポクリファに見る貧困観と貧困救済思想。青森県立保健大学雑誌, 第10巻第1号, 5-16, 2009年6月

増山道康: 社会福祉政策 (社会保障)。平成21年度あおもりウィメンズアカデミー報告書, 13-17, 2010年3月

2. 公表した報告書、テキスト

増山道康: 小規模授産施設等から自立支援事業への移行に伴う法人財政の状況変化に関する研究。青森県立保健大学研究推進・知的財産センター平成20-21年基盤研究B報告書, 31p, 2010年3月

増山道康、青森県内社会福祉資源一覧編集委員会: 青森県内社会福祉資源一覧—平成21年度版。青森県立保健大学地域貢献・国際センター研修科教育改善研究助成事業 2010年1月

6) 西村 愛

原著論文

- ・ 廣森直子、西村愛「福祉教育とソーシャルアクションを考える - 知的障害者の生涯学習支援活動から -」『コミュニティワーク実践研究紀要 第3号』NPO 法人地域福祉研究室 pipi 日本コミュニティワーク研究所, 31-37 頁 2009.7
- ・ 西村愛「親役割を降りる支援の必要性を考える」『青森県立保健大学雑誌』第10巻第2号, 青森県立保健大学研究推進・知的財産センター研究開発科雑誌編集専門部会, 155-164 頁, 2009.12

報告書

- ・ 西村愛「大学における知的障害者の余暇支援活動と生涯学習支援 - より豊かな生活を保障するために -」マツダ財団『研究報告書』Vol.21 2009.6

学会発表

- ・ 西村愛「インクルージョンの視点から知的障害のある人たちの学びを考える」第11回オープン・カレッジ研究協議会大会口頭発表(於: 皇學館大學) 平成22年3月27日

7) 大竹 昭裕

<学術論文>

- ・ 大竹昭裕「稲田周之助の貴族院論—稲田周之助憲法学説研究ノート(1)—」青森県立保健大学雑誌第10巻第2号(2009年12月) 191~204頁

<講演など>

- ・ 大竹昭裕「平成21年度社会福祉主事資格認定講習会 法学(憲法)」(公立大学法人青森県立保健大学地域連携・国際センター、2009年9月)

8) 大山 博史

学術論文(原著)

誌上発表

- 1) 大山博史, 坂下智恵, 工藤薫¹, 千葉敦子, 石田賢哉, 戸沼由紀, 種市寛子: 高齢者のうつ病と自殺予防. *Geriatric Medicine*, 47, 1477-82,

2009.

¹: 岩手医科大学附属病院精神神経科

- 2) Oyama H, Sakashita T, Hojo K¹, Ono Y², Watanabe N³, et al.: A Community-based Survey and Screening for Depression in the Elderly: The Short-term Effect on Suicide Risk in Japan. *Crisis*, 31(2):100-8, 2010

¹: Department of Neuropsychiatry, Aomori Rosai Hospital, ²: Health Center, Keio University, ³: Kansai University of International Studies

- 3) Lapierre S¹, Oyama H, et al.: A Systematic Review of Elderly Suicide Prevention Programs. *Crisis* (in press)

¹: Department of Psychology, University Quebec a Trois-Rivieres

- 4) Erlangsen A, Oyama H, et al.: Key Considerations for Preventing Suicide in Older Adults. *Crisis* (in press)

- 5) 千葉敦子, 大山博史, 坂下智恵: A市自治体が運営する自死遺族自助グループの支援活動における保健師の役割. *保健師ジャーナル*, 66(3), 252-61, 2010

招待講演

Oyama H: Community-based Intervention for the Prevention of Elderly Suicide in Japan: The Effect of Depression Screening with Appropriate Follow-up on Male and Female Risk. *The Elderly & Suicide - Research & Prevention*, 4-6 November 2009, Aalborg, Denmark

学会発表

- 1) 坂下智恵, 鈴木希久子¹, 佐賀典子¹, 大山博史: うつ病対策を活用した地域介入による壮年期自殺予防—青森県七戸町における2年間の介入の効果評価—。第9回日本社会福祉学会東北部会, 2009年7月18-19日, 秋田看護福祉大学, 大館市

¹: 七戸町健康福祉課

9) 齋藤 史彦

—論文—

- ・ 齋藤史彦「家庭裁判所における少年を対象とした学生ボランティアの現状と課題—東京少年友の会へのアンケート調査結果を中心に—」コミュニティワーク実践研究紀要第3号(2009年7月)38~43頁
- ・ 齋藤史彦「学生ボランティア活動が学生にもたらす効果に関する一考察—東京と青森の学生ボランティア団体へのアンケート調査結果の比較から—」司法福祉学研究第9号(2009年8月)135~143頁

10) 坂下 智恵

1. 誌上発表

大山博史, 坂下智恵, 工藤薫¹, 千葉敦子, 石田賢哉, 戸沼由紀, 種市寛子: 高齢者のうつ病と自殺予防. *Geriatric Medicine*, 47, 1477-82, 2009.

¹: 岩手医科大学附属病院精神神経科

Oyama H, Sakashita T, Hojo K¹, Ono Y², Watanabe N³, et al.: A Community-based Survey and Screening for Depression in the Elderly: The Short-term Effect on Suicide Risk in Japan. *Crisis*, 31(2):100-8, 2010

¹: Department of Neuropsychiatry, Aomori Rosai Hospital, ²: Health Center, Keio University, ³: Kansai University of International Studies

坂下智恵: 高齢者の孤立とメンタルヘルス. *ゆたかなくらし*, 2009 (4), 46-51, 2009.

千葉敦子, 大山博史, 坂下智恵: A市自治体が運営する自死遺族自助グループの支援活動における保健師の役割. *保健師ジャーナル*, 66 (3), 252-61, 2010

2. 一般発表など

坂下智恵, 鈴木希久子¹, 佐賀典子¹, 大山博史: うつ病対策を活用した地域介入による壮年期自殺予防—青森県七戸町における2年間の介入の効果評価—. 第9回日本社会福祉学会東北部会, 2009年7月18—19日, 秋田看護福祉大学, 大館市

¹: 七戸町健康福祉課

坂下智恵: 抑うつスクリーニングによる地域介入と中高年者自殺予防—保健・医療・福祉の統合的アプローチ—. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森市

11) 種市 寛子

報告書

・ 種市寛子¹, 大和田猛¹: 青森県の特別養護老人ホームにおける社会福祉・介護福祉専門職の労働環境の実態と課題. 平成20年度~平成21年度 青森県立保健大学 健康科学特別研究報告書, 2010.

¹: 青森県立保健大学

・ 石田賢哉¹, 種市寛子¹, 齋藤史彦¹, 加賀谷真紀¹, 長谷川真理子¹, 廣森直子¹: 福祉分野で働く人のやりがいに関する研究—やりがい、雇用環境、倫理観との関係性に注目して—. 平成20年度~平成21年度 青森県立保健大学 健康科学特別研究報告書, 2010.

¹: 青森県立保健大学

学会発表

・ 種市寛子¹, 大和田猛¹: 青森県の特別養護老人ホームにおける社会福祉・介護福祉専門職の労働環境の実態と課題 [第1報]. 日本社会福祉学会東北部会第9回研究大会, 2009年7月18—19日, 秋田看護福祉大学, 秋田市, 平成21年度日本社会福祉学会東北部会第9回研究大会報告要旨集 18p.

¹: 青森県立保健大学

・ 石田賢哉¹, 大和田猛¹, 齋藤史彦¹, 種市寛子¹: 社会福祉士を中心とした「研修ニーズ」と「現場で感じる困難」の関係性に焦点をあてて [第1報]. 日本社会福祉学会東北部会第9回研究大会, 2009年7月18—19日, 秋田看護福祉大学, 秋田市, 平成21年度日本社会福祉学会東北部会第9回研究大会報告要旨集 20p.

¹: 青森県立保健大学

1) 浅田 豊

学術論文(原著)

浅田豊：浅田豊、竹森幸一：生活習慣改善をねらいとした教育実践方略の検討 第1報 学習形態・方法比較を中心に. 弘前医療福祉大学紀要 第1巻1号、p45-52. 2010年3月.

浅田豊：竹森幸一、浅田豊：生活習慣改善をねらいとした教育実践方略の検討 第2報 教育効果を高めるための視点. 弘前医療福祉大学紀要 第1巻第1号、p53-58. 2010年3月.

浅田豊：大関信子、ノールズ・アラン、浅田豊：在日外国人留学生の異文化ストレスと適応の分析. 日本ヒューマンケア科学学会誌 第3巻1号、p25-39. 2010年3月.

学術書籍(共編著)

浅田豊：竹森幸一、浅田豊、三上聖治、仁平将：濾紙法を応用した簡易尿採集器による24時間尿中塩類の簡易測定法の開発. 尿中塩類簡易測定法開発研究会、p1-29. 2010年3月.

学会発表・学術講演等

浅田豊：生きる力を高め、豊かな心を育てる体験活動 青森県教育委員会主催 青森県総合社会教育センター、2009年7月.

浅田豊：地域活動実践セミナー 地域の教育力を高める子どもの活動サポーター養成講座ファシリテーター(コーディネーター) 青森県教育委員会主催 青森県総合社会教育センター、2009年7月.

浅田豊：教育原理. 保健師助産師看護師実習指導者講習会、青森県看護協会主催、県民福祉プラザ、2009年7月.

浅田豊：放課後子どもプランの今後に向けて 青森県教育委員会主催、浪岡中央公民館、2009年9月.

浅田豊：青森県放課後子どもプラン推進委員会委員. 青森県教育委員会 2009年.

浅田豊：浅田豊、竹森幸一：生活習慣改善をねらいとした教育実践方略の検討 第1報 学習形態・方法比較を中心に 日本民族衛生学会、

2009年.

浅田豊：竹森幸一、浅田豊：生活習慣改善をねらいとした教育実践方略の検討 第2報 教育効果を高めるための視点 日本民族衛生学会、2009年.

2) 廣森 直子

原著論文

- ・ 廣森直子, 西村愛：「福祉教育とソーシャルアクションを考える—知的障害者の生涯学習支援活動から—」. コミュニティワーク実践研究紀要, 3, 31-37, 2009.7

研究ノート

- ・ 廣森直子, 山内修：知的障害のある成人の生涯学習活動におけるボランティアの学び—「オープンカレッジin あおもり」における実践から—」. 青森県立保健大学雑誌, 10(1), 17-26, 2009.6

報告書

廣森直子, 渡邊洋一, 西村愛, 石岡れい子, 加藤和仁, 工藤睦美, 山内修：市町村における障害児者の生涯学習に関する調査報告書. (平成21年度科学研究費補助金報告書 知的障害者の生涯学習にかかわる地域ネットワークづくりに関する研究) 2010

学会発表(口頭)

- ・ 廣森直子：知的障害者の学習機会と地域資源としての学校—青森県の特別支援学校における青年学級調査から—」. 第33回社会教育学会東北・北海道研究集会, 2009.6.14, 北翔大学, 札幌
- ・ 廣森直子：知的障害者の生涯学習の保障—地域と学校の役割—」. 日本教育社会学会第61回大会, 2009.9.12, 早稲田大学, 東京
- ・ 廣森直子, 富永貴公, 平川景子, 小河洋子, 朴木佳緒留：労働経験の意識化—働く女性の家庭責任と労働者性の矛盾をとおして—」.

日本社会教育学会第 56 回研究大会,
2009.9.19, 大東文化大学, 東京

- ・ 高橋満, 石井山竜平, 千葉悦子, 槇石多希子, 廣森直子: 福島県会津坂下町にみる生涯学習施設のカヴァランスの再編. 日本社会教育学会第 56 回研究大会, 2009.9.19 大東文化大学, 東京

シンポジスト

- ・ 廣森直子: 「飛び出せ! オープンカレッジ in あおもり」の展開と地域ネットワークづくりの模索. 日本特殊教育学会 第 47 回大会, 自主シンポジウム 41 「知的障害者の生涯発達と生涯学習保障 5」, 2009.9.20, 宇都宮大学, 宇都宮

講師

- ・ 廣森直子: 生涯学習について考える～いろいろな人の学びから～. 公開講座, 2009.7.11, 青森県立保健大学
- ・ 廣森直子: ジェンダーについて. 家庭裁判所家事実務研究会, 2009.10.26, 青森家庭裁判所

3) 岩部 万衣子

学術論文 (原著)

- 1) Kawasaki E¹, Hokari F¹, Sasaki M, Sakai A¹, Koshinaka K¹, Kawanaka K¹: Role of local muscle contractile activity in the exercise-induced increase in NR4A receptors mRNA expression. J Appl Physiol, 106, 1826-1831, 2009.

¹: Niigata University of Health and Welfare

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) 吉池信男, 佐々木万衣子: 小児の食事摂取基準—日本人の食事摂取基準 2010 年版をふまえて—. 小児科, 50, 669-681, 2009.
- 2) 吉池信男, 佐々木万衣子, 小野償子: 生活習慣の地域差と環境要因の関連に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 健康づく

り支援環境の効果的な整備施策および政策目標の設定に関する研究報告書, 2009.

- 3) 佐々木万衣子: 学童に対する食育促進の取組に関する評価指標の開発. 青森県立保健大学 2009 年特別研究 (若手 B) 報告書, 2009.

国内外で開催された学会発表 (口頭発表)

- 1) 佐々木万衣子, 林英美, 吉池信男: 生活習慣の地域差と環境要因の関連に関する研究. 第 56 回日本栄養改善学会学術総会, 2009 年 9 月 2 日-4 日, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 第 56 回日本栄養改善学会学術総会講演集, 224, 2009.

4) 岩井 邦久

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) 岩井邦久, 西嶋智彦: 生体内抗酸化—抗酸化物質の生体利用性と活性発現—. FFI ジャーナル, 215, 38-45, 2010.
- 2) 岩井邦久, 森永八江, 川村仁, 西嶋智彦, 倉本修助, 成田嵩信, 中館洋一, 松江一: 青森県立保健大学における栄養学研究 (1)～食品からのアプローチ. 地域食資源の栄養と生理機能に関する研究. 青森県立保健大学雑誌, 10, 243-250, 2009.
- 3) アピオスの降圧ペプチドに関する研究と素材化への応用. 岩井邦久; 平成 21 年度シーズ発掘試験 (発掘型) 研究成果報告書, 2010/3/31.
- 4) アピオスの生理作用および作用成分の解明と健康食品開発に関する研究. 岩井邦久, 川村仁, 倉本修助, 松江一, 小渡晃; 平成 21 年度実用技術開発研究実績報告書, 2010/3/25.
- 5) あおもり型健康ビジネス資源調査事業. 岩井邦久; 緊急雇用創出事業実績報告書, 2010/3/20.
- 6) ガマズミポリフェノールの生体利用性、果肉皮および種子油の生理作用に関する研究. 岩井邦久, 松江一, 小野寺昭夫; 平成 21 年度健康科学特別研究・基盤 A-2 実績報告書,

国内外で開催された学会発表

- 1) 森永八江, 岩井邦久, 高谷芳明¹, 奈良岡哲志², 松江一: ヘキサペプチドのC末端アミノ酸グルタミン酸をグルタミンにしたときの降圧活性に及ぼす影響. 2010年度農芸化学学会, 2010/3/27-30, 東京.¹名城大,²青森産技セ
- 2) 岩井邦久, 川村仁¹, 森永八江, 小渡晃², 北村勉², 松尾俊介¹, 小原麻智子¹, 松江一: アピオス花のマルターゼ阻害作用に関する研究. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010/2/12, 保健大, 青森市.¹社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター,²株式会社倉石地域振興公社
- 3) 岩井邦久, 柏倉大作, 森永八江, 松江一: ツルアラメの血糖上昇抑制作用と有効利用に関する研究. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010/2/12, 保健大, 青森市.
- 4) 川村仁, 岩井邦久, 松江一, 小渡晃¹, 北村勉¹, 松尾俊介², 小原麻智子²: アピオス花が有する α -グルコシダーゼ阻害作用に関する研究. 第14回日本フードファクター学会, 2009/11/16, 神戸市.¹株式会社倉石地域振興公社,²社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター
- 5) K.Iwai, J.Kawamura, H.Matsue: Health promoting properties of Viburnum dilatatum Thunb fruit and its anthocyanin constituents. 5th International Workshop on Anthocyanins, 2009 in Japan, 2009/9/15-18, Nagoya.
- 6) 西嶋智彦, 瀧田佳樹¹, 齋藤康雄¹, 池田隆幸², 松江一, 岩井邦久: りんご由来ペクチンがヒトでのケルセチン吸収に及ぼす影響. 第63回日本栄養・食糧学会大会, 2009/5/21, 長崎新聞文化ホール, 長崎市.¹グリコ乳業株式会社,²藤女子大学
- 7) 瀧田佳樹¹, 西嶋智彦, 齋藤康雄¹, 池田隆幸², 松江一, 岩井邦久: メチルエステル化度によって異なるペクチンのケルセチン吸収促進効果. 第63回日本栄養・食糧学会大会, 2009/5/21, 長崎新聞文化ホール, 長崎市.¹

学会、研究室、地方会などを主催したときのその名称と日時、開催場所。

- 1) 第43回日本栄養・食糧学会東北支部大会・開催運営, 2009/11/7, 青森県立保健大学.

f 特許など(承認されたタイトル、決定日など)

- 1) アピオス花を用いた血糖値上昇抑制物質および糖尿病予防用食品素材. 特願2009-189000, 出願2009/8/18.
- 2) ガマズミ果肉皮の製造方法、ガマズミ果肉皮製造装置、ガマズミ果肉皮抽出物、ガマズミ果肉皮由来抗酸化剤、ガマズミ果肉皮由来粉末状素材およびガマズミ果肉皮使用加工品. 特許査定・特許第4324674号(P4324674), 特許2009/6/19.
- 3) 経口用メラニン生成抑制剤. 特願2009-131864, 出願2009/6/1.

5) 井澤 弘美**学術論文(原著)**

齋藤三季, 井澤弘美, 戸羽隆宏, 柴田浩夫, 長田恭一. りんご枝おが屑を利用した鹿角霊芝の脂質代謝調節作用. 日本食品科学工学会誌 56(2), 79-84, 2009.

森永八江, 駒田亜衣, 齋藤長徳, 嵯峨井勝, 佐藤伸, 井澤弘美, 藤田修三. 地域住民の健康指標に及ぼす健康教育プログラム実施の影響. Health Sciences, 25(2), 102-112. 2009

学会発表

井澤弘美, 小原麻智子, 相澤宏一, 菅沼大行, 稲熊隆博, 渡辺元, 田谷一善, 嵯峨井勝. ディーゼル排気微粒子によるマウス雄性生殖毒性に対するケルセチンとタマネギの毒性軽減効果. 日本農芸化学会2009年度大会. 2009年3月

山田真司, 駒田亜衣, 森永八江, 佐藤伸, 井澤弘美, 嵯峨井勝. 健康指数の各質問項目に対する荷重についての検討. 第68回日本公衆衛生学会総会. 2009年10月

山田真司, 駒田亜衣, 森永八江, 佐藤伸, 井澤弘美, 嵯峨井勝. 健康指標と生活習慣病との関連について一

北東北 Q 市のデータから一. 日本行動計量学会. 2009 年

6) アラン ノールズ

【学会発表】

Nobuko OZEKI , Alan Knowles. Japanese Mothers Living Abroad: Mental Health and Husband's Nationality. The 1st International Nursing Research Conference Of World Academy of Nursing Science, Kobe Japan, Abstracts p191. September 20th, 2009

大関信子、アラン・ノールズ. 海外在住日本人未就学児のストレスと関連要因：母親への調査から。

第 68 回日本公衆衛生学会学術集会、奈良市、抄録集 p643. 平成 21 年 10 月 23 日

【原著論文】

Nobuko Ozeki , Alan Knowles Mental Health of Japanese Mothers Living in Beijing with Young children (英文原著論文) 青森県立保健大学雑誌 第10巻 第2号 pp165-174、2009. 3月

Nobuko Ozeki, Alan Knowles, Yutaka Asada. Analyses of Stress and Adaptation of Foreign University Students in Japan. (英文原著論文) 日本ヒューマンケア科学会誌、第3巻、第1号、2009年、pp25-39.

7) 熊谷 貴子

学術論文 (原著)

1) 松坂方士¹, 倉内静香¹, 熊谷貴子, 工藤淳子¹, 熊坂真梨子¹, 齊藤百合子¹, 佐藤真樹¹, 梅田孝¹, 兼坂佳孝², 大井田隆², 中路重之¹: 農村部に生活する一般成人における睡眠時間と動脈硬化との関連について. 体力・栄養・免疫学雑誌, 19(2), 172-74, 2009.

¹: 弘前大学大学院医学研究科, ²: 日本大学医学部,

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

1) 熊谷貴子, 伊藤治幸, 吉岡美子, 齊藤長徳, 藤井博英: 一般住民におけるトリプトファン摂取量と抑うつ症状の関係. 青森県立保健大学 2009年特別研究 (若手 B) 報告書, 2009.

2) 中村由美子, 杉本晃子, 内城絵美, 熊谷貴子, 杉山克己, 川口徹, 富田 恵, 市川美奈子, 藤田修三, 吉池信男, 牧野正蔵¹, 村中純二²: 下北地域における小児肥満予防のための支援モデル構築に向けた検討. 青森県立保健大学平成 21 年度(2009 年度)研究センター指定型研究報告書, 2009.

¹: むつ市教育長, ²: むつ下北地区校長会長

国内外で開催された学会発表 (口頭発表)

1) 熊谷貴子, 李 相潤, 北宮千秋¹, 佐藤厚子², 橋本淳一, 伊藤治幸: 青森県における農業地域類型区分の身体的特徴. 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009年10月21日-23日, 奈良県文化会館, 奈良, 第 68 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 56(10), 165, 2009.

¹: 弘前大学大学院保健学研究科, ²: 秋田看護福祉大学

2) 熊谷貴子, 真野由紀子¹: 保育所給食における食品構成の変化. 第 56 回日本栄養改善学会総会. 2009年9月2日-4日, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 第56回日本栄養改善学会学術総会講演集, 67(5), 301.2009.

¹: 東北女子短期大学

3) 熊谷貴子, 伊藤治幸, 清水健史, 木村 緑¹, 藤井博英: 地域で生活する精神障がい者の自炊調理の実態調査. 日本調理科学会平成 21 年度大会, 2009年8月28日-29日, 同志社女子大学, 平成 21 年度研究発表要旨集, 77, 2009

¹: 十和田済誠会病院

4) 松坂方士¹, 倉内静香¹, 熊谷貴子, 遠藤哲², 下山克², 坂本十一², 高橋一平¹, 梅田孝¹, 福田眞作², 中路重之¹: 慢性萎縮性胃炎と血清オプソニン化活性との関連について. 第 79 回日本衛生学会学術総会, 2009年3月29日-4月1日, 北里大学白金キャンパス, 東京都、日本衛生学雑誌, 64(2), 357, 2009.

¹: 弘前大学大学院医学研究科, ²: 弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座

8) 松江 一

学術論文(原著)

1) Nishijima, T., Iwai, K., Saito, Y., Takida, Y., Matsue, H.: Chronic ingestion of apple pectin can enhance the absorption of quercetin. *J. Agric. Food Chem.* 57 (6), 2583-2587, 2009.

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) 岩井邦久, 森永八江, 川村仁, 西嶋智彦, 倉本修助, 成田嵩信, 中館洋一, 松江一: 青森県立保健大学における栄養学研究 (1)~食品からのアプローチ. 地域食資源の栄養と生理機能に関する研究. 青森県立保健大学雑誌, 10, 243-250, 2009.
- 2) 岩井邦久, 川村仁, 倉本修助, 松江一, 小渡晃; アピオスの生理作用および作用成分の解明と健康食品開発に関する研究. 平成 21 年度実用技術開発研究実績報告書, 2010/3/25.
- 3) 森永八江, 松江一, 岩井邦久, 奈良岡 哲志¹: 食酢に含まれる酢酸以外の降圧成分の構造と機能に関する研究. 青森保健大・特研基盤 B 最終報告書 (平成 19~20 年度), 1-15, 2009.¹: 青森工業総合研究セ
- 4) 松江一, 森永八江, 岩井邦久, 富田 秀弘¹, 奈良岡 哲志¹, 高谷 芳明²: エチゼンクラゲの分子解剖学的研究を根拠にした有効利用. 青森保健大・特研基盤 A 最終報告書 (平成 19~20 年度), 1-17, 2009.¹: 青森工業総合研究セ, ²: 名城大学薬学部
- 5) 岩井邦久, 松江一, 小野寺昭夫; ガズミポリフェノールの生体利用性、果肉皮および種子油の生理作用に関する研究. 平成 21 年度健康科学特別研究・基盤 A-2 実績報告書, 2010/3/20.

国内外で開催された学会発表

- 1) 森永八江, 岩井邦久, 高谷芳明¹, 奈良岡哲志², 松江一: ヘキサペプチドの C 末端アミノ酸グルタミン酸をグルタミンにしたときの降圧活性に及ぼす影響. 2010 年度農芸化

学学会, 2010/3/27-30, 東京.¹名城大, ²青森産技セ

- 2) 岩井邦久, 川村仁¹, 森永八江, 小渡晃², 北村勉², 松尾俊介¹, 小原麻智子¹, 松江一: アピオス花のマルターゼ阻害作用に関する研究. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010/2/12, 保健大, 青森市.¹社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター, ²株式会社倉石地域振興公社
- 3) 岩井邦久, 柏倉大作, 森永八江, 松江一: ツルアラメの血糖上昇抑制作用と有効利用に関する研究. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010/2/12, 保健大, 青森市.
- 4) 川村仁, 岩井邦久, 松江一, 小渡晃¹, 北村勉¹, 松尾俊介², 小原麻智子²: アピオス花が有する α -グルコシダーゼ阻害作用に関する研究. 第 14 回日本フードファクター学会, 2009/11/16, 神戸市.¹株式会社倉石地域振興公社, ²社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター
- 5) K.Iwai, J.Kawamura, H.Matsue: Health promoting properties of Viburnum dilatatum Thunb fruit and its anthocyanin constituents. 5th International Workshop on Anthocyanins, 2009 in Japan, 2009/9/15-18, Nagoya.
- 6) 西嶋智彦, 瀧田佳樹¹, 齋藤康雄¹, 池田隆幸², 松江一, 岩井邦久: りんご由来ペクチンがヒトでのケルセチン吸収に及ぼす影響. 第 63 回日本栄養・食糧学会大会, 2009/5/21, 長崎新聞文化ホール, 長崎市.¹グリコ乳業株式会社, ²藤女子大学
- 7) 瀧田佳樹¹, 西嶋智彦, 齋藤康雄¹, 池田隆幸², 松江一, 岩井邦久: メチルエステル化度によって異なるペクチンのケルセチン吸収促進効果. 第 63 回日本栄養・食糧学会大会, 2009/5/21, 長崎新聞文化ホール, 長崎市.¹グリコ乳業株式会社, ²藤女子大学

学会、研究室、地方会などを主催したときのその名称と日時、開催場所。

- 1) 第 43 回日本栄養・食糧学会東北支部大会・開催運営世話役責任者, 2009/11/7, 青森県立保健大学.

特許など(承認されたタイトル、決定日など)

- 1) アピオス花を用いた血糖値上昇抑制物質および糖尿病予防用食品素材. 特願 2009-189000, 出願 2009/8/18.
- 2) ガマズミ果肉皮の製造方法、ガマズミ果肉皮製造装置、ガマズミ果肉皮抽出物、ガマズミ果肉皮由来抗酸化剤、ガマズミ果肉皮由来粉末状素材およびガマズミ果肉皮使用加工品. 特許査定・特許第 4324674 号 (P4324674), 特許 2009/6/19.

依頼寄稿

- 1) 松江 一; 健康科学研究科. 青森県立保健大学開学 10 周年記念雑, p43-46, 2009/6/1.
- 2) 松江 一; 平成 21 年度博士および修士論文中間発表会について. 活彩! 保健大学だより, 15, 2009/6/1.
- 3) 今淳, 松江 一; 大学院における栄養学領域の教育・研究の課題と展望. 青森県立保健大学雑誌. 10 (2), 241-242, 2009.

9) 森永 八江

学術論文(原著)

- 1) 森永八江, 駒田亜衣, 斎藤長徳¹, 嵯峨井勝, 佐藤伸, 井澤弘美, 藤田修三: 地域住民の健康指標に及ぼす健康教育プログラム実施の影響. Health Sci. , 25, 102-112, 2009.

¹: 黒石病院

- 2) 岩井邦久, 森永八江, 川村仁¹, 西嶋智彦², 倉本修助³, 成田嵩信⁴, 中館洋一⁵, 松江一, : 青森県立保健大学における栄養学研究(1)~食品からのアプローチ~地域食資源の栄養と生理機能に関する研究. 青森保健大雑誌, 10, 243-250, 2009.

¹: 社青森薬剤師会, ²: グリコ乳業, ³: 青森市役所, ⁴: 特養寿幸園, ⁵: 財 21 あおもり産業総合支援セ

- 3) Sato,s, Mukai,y, Yamate,j, Norikura,t, Morinaga,y, Mikame,k, Funaoka,m, Fujita,s. :Lignin-derived lignophenols attenuate oxidative and inflammatory damage to the kidney in

streptozotocin-induced diabetic rats.Free Radic. Res. ,43,1205-1213,2009.

¹: 大阪府大, ²: 三重大

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) 森永八江, 佐藤伸, 藤田修三: リグノフェノールを用いたリグニン本来の生理調節機能の探索. 科学研究費補助金研究成果報告書, 1-5, 2009.
- 2) 森永八江, 松江 一, 岩井 邦久, 奈良岡 哲志¹: 食酢に含まれる酢酸以外の降圧成分の構造と機能に関する研究. 青森保健大・特研基盤 B 最終報告書(平成 19~20 年度), 1-15, 2009.

¹: 青森工業総合研究セ

- 3) 松江 一, 森永八江, 岩井 邦久, 富田 秀弘¹, 奈良岡 哲志¹, 高谷 芳明²: エチゼンクラゲの分子解剖学的研究を根拠にした有効利用. 青森保健大・特研基盤 A 最終報告書(平成 19~20 年度), 1-17, 2009.

¹: 青森工業総合研究セ, ²: 名城大学薬学部

国内外で開催された学会発表(口頭発表)

- 1) 佐藤伸, 向井友花, 乗鞍敏夫, 森永八江, 藤田修三, : 実験的糖尿病ラットの腎症に及ぼす新素材リグノフェノールの影響. 第 63 回日本栄養・食糧学会大会, 2009 年 5 月 20 日-22 日, 長崎ブリックホール, 長崎, 日栄食糧会講要 63 回 178, 2009.

- 2) 森永八江, : 目の健康と栄養についての食育が小学生に及ぼす影響. 第 56 回日本栄養改善学会学術総会, 2009 年 9 月 2 日-4 日, 札幌コンベンションセンター, 北海道, 第 56 回日本栄養改善学会学術総会講演集 268, 2009.

- 3) 山本春江, 千葉敦子, 森永八江, 藤田修三, : 労働者の運動習慣における支援的環境に関する研究 勤務日と休日の運動状況の比較から. 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 2009 年 10 月

21日-23日, 奈良県文化会館, 奈良, 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集360, 2009.

4) 千葉敦子, 山本春江, 森永八江, 藤田修三, :健康教室の学びに関する参加者の他者への伝達意欲と被伝達者の授受の実態. 第68回日本公衆衛生学会総会, 2009年10月21日-23日, 奈良県文化会館, 奈良, 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集359, 2009.

5) 山田真司, 駒田亜衣, 森永八江, 井澤弘美, 嵯峨井勝, :健康指数の各質問項目に対する荷重についての検討. 第68回日本公衆衛生学会総会, 2009年10月21日-23日, 奈良県文化会館, 奈良, 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集339, 2009.

6) 千葉敦子, 山本春江, 森永八江, 藤田修三, :特定健診における職域を対象とした保健指導モデルの開発 生活改善と行動変容ステージの評価. 第19回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会, 2009年11月6日-8日, 秋田県総合保健センター, 秋田, 産業衛誌52, 100, 2010.

7) 千葉敦子, 山本春江, 森永八江, :特定健診における職域を対象とした保健指導モデルの開発~健康教室後の全社員における影響評価~. 日本ヘルスプロモーション学会第7回学術大会, 2009年12月5-6日, 東洋大学朝霞キャンパス, 埼玉, 2009.

8) 千葉敦子, 山本春江, 森永八江, 藤田修三, :特定健診における職域を対象とした保健指導モデルの開発~健康教室後の全社員における影響評価~. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集68-69, 2010.

9) 岩井 邦久, 柏倉 大作, 森永 八江, 松江一, :ツルアラメの血糖上昇抑制作用と有効利用に関する研究. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集46-47, 2010.

10) 岩井邦久, 川村 仁¹, 森永八江, 小渡 晃², 北

村 勉², 松尾俊介¹, 小原麻智子¹, 松江 一, :アピオス花のマルターゼ阻害作用に関する研究. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集48-49, 2010.

¹: 社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター, ²: 株式会社倉石地域振興公社

11) 山田真司, 駒田亜衣¹, 森永八江, 井澤弘美, 佐藤伸, 嵯峨井勝², :健康指数の最適な点数化について. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月12日, 青森県立保健大学, 青森, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集60-61, 2010.

¹: 三重短期大学, ²: つくば健康生活研究所

12) 森永八江, 岩井邦久, 高谷芳明¹, 奈良岡哲志², 松江一:ヘキサペプチドのC末端アミノ酸グルタミン酸をグルタミンにしたときの降圧活性に及ぼす影響, 日本農芸化学会2010年度大会, 2010年3月27日-30日, 東京大学駒場キャンパス, 東京, 日本農芸化学会2010年度大会講演要旨集163, 2010.

¹: 名城大, ²: 青森工業総合研究セ

10) 向井 友花

学術論文(原著)

- 1) Sato S, Mukai Y, Yamate J¹, Norikura T, Morinaga Y, Mikame K², Funaoka M², Fujita S. Lignin-derived lignophenols attenuate oxidative and inflammatory damage to the kidney in streptozotocin-induced diabetic rats. Free Radic. Res., 43, 1205-1213, 2009. ¹Hokkaido University, ²Mie University

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) Sato S, Mukai Y, Yamate J¹: Beneficial effects of azuki bean (*Vigna angularis*) extract: Anti-oxidant, anti-hypertension, and treatment for renal damage. Curr. Nutr. Food Sci., 5, 217-222, 2009. ¹Hokkaido University
- 2) 佐藤伸, 向井友花: 青森県立保健大学・栄養学科における予防栄養学的研究—疾患モデル動物

を用いたアプローチ— 青森県立保健大学雑誌, 10(2), 251-254, 2009.

- 3) 向井友花：高血圧による血管および臓器障害における炎症細胞の動態とアズキによる軽減効果. 青森県立保健大学 2008 年特別研究報告書, 2009.

国内外で開催された学会発表

- 1) 佐藤伸, 向井友花, 乗鞍敏夫, 森永八江, 藤田修三：実験的糖尿病ラットの腎症に及ぼす新素材リグノフェノールの影響. 第 63 回日本栄養・食糧学会大会, 2009 年 5 月 20 日 - 22 日, 長崎市茂里町ブリックホール, 長崎.
- 2) 乗鞍敏夫, 向井友花, 藤田修三, 佐藤伸：脂質代謝に及ぼすリグノフェノールの生理調節機能について. 第 63 回日本栄養・食糧学会大会, 2009 年 5 月 20 日 - 22 日, 長崎市茂里町ブリックホール, 長崎.
- 3) Mukai Y and Sato S. : Azuki bean (*Vigna angularis*) seed coats suppress superoxide production and NAD(P)H oxidase subunits expression in the aorta of spontaneously hypertensive rats. 第 41 回動脈硬化学会総会, 2009 年 7 月 17 日 - 18 日, 海峡メッセ下関, 山口.
- 4) 向井友花, 畑井朝子¹, 佐藤伸：アズキ種皮による高血圧自然発症ラット (SHR) の血圧上昇抑制および血管内スーパーオキシド産生抑制効果. 日本家政学会第 61 回大会, 2009 年 8 月 31 日, 武庫川女子大学, 兵庫.
¹函館短期大学
- 5) 向井友花, 佐藤伸：アズキ種皮による高血圧自然発症ラット (SHR) の血管炎症反応の抑制効果. 日本食品科学工学会第 56 回大会, 2009 年 9 月 10 日-12 日, 名城大学, 愛知.
- 6) 向井友花, 佐藤伸：アズキ種皮による高血圧自然発症ラット (SHR) の血管内酸化ストレスおよび炎症の抑制効果. 第 43 回日本栄養・食糧学会東北支部大会, 2009 年 11 月 7 日, 青森県立保健大学, 青森.
- 7) 向井友花, 乗鞍敏夫, 藤田修三, 佐藤伸：糖尿病ラットの腎臓における酸化ストレスおよび炎症に及ぼす新素材リグノフェノールの影響. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.

- 8) 乗鞍敏夫, 向井友花, 藤田修三, 佐藤伸：リグノフェノールによる脂質代謝異常の改善作用. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.
- 9) 宮永直子, 向井友花, 松山千恵子, 中村由美子, 佐藤伸：妊娠期・授乳期の低栄養が出生児ラットの糖・脂質代謝および活性酸素の産生に及ぼす影響. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.
- 10) 松山 千恵子, 向井友花, 宮永直子, 中村由美子, 佐藤伸：妊娠期における母ラットおよび胎児に及ぼす血圧上昇の影響. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.
- 11) 佐藤伸, 乗鞍敏夫, 向井友花, 藤田修三：『木質系新素材「リグノフェノール」のメタボリックシンドロームにおける生理的意義と応用』, 健康博覧会 2010, 2010 年 3 月 17 日～19 日, 東京ビックサイト, 東京.

特許など

- 1) MCP-1 産生抑制剤及びその利用. 特願 2009-120368. 出願：2009 年 6 月 25 日.

11) 乗鞍 敏夫

学術論文 (原著)

- 1) Sato S, Mukai Y, Yamate J¹, Norikura T, Morinaga Y, Mikame K², Funaoka M², Fujita S. Lignin-derived lignophenols attenuate oxidative and inflammatory damage to the kidney in streptozotocin-induced diabetic rats. *Free Radic. Res.*, 43, 1205-1213, 2009.
¹Hokkaido University, ²Mie University
- 2) Norikura, T, Mukai Y, Fujita S, Mikame K¹, Funaoka M¹, Sato S. Lignophenols decrease oleate-induced apolipoprotein-B secretion in HepG2. *Basic Clin. Pharmacol Toxicol.*, 107, 813-817, 2010
¹Mie University

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) 乗鞍 敏夫：青森県産 農林水産資源の抗がん作用を有する物質の検索. 青森県立保健大学 2008 年特別研究報告書, 2009.

国内外で開催された学会発表

- 1) 佐藤伸, 向井友花, 乗鞍敏夫, 森永八江, 藤田修三: 実験的糖尿病ラットの腎症に及ぼす新素材リグノフェノールの影響. 第63回日本栄養・食糧学会大会, 2009年5月20日-22日, 長崎市茂里町ブリックホール, 長崎.
- 2) 乗鞍敏夫, 向井友花, 藤田修三, 佐藤伸: 脂質代謝に及ぼすリグノフェノールの生理調節機能について. 第63回日本栄養・食糧学会大会, 2009年5月20日-22日, 長崎市茂里町ブリックホール, 長崎.
- 3) 向井友花, 乗鞍敏夫, 藤田修三, 佐藤伸: 糖尿病ラットの腎臓における酸化ストレスおよび炎症に及ぼす新素材リグノフェノールの影響. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月, 青森県立保健大学, 青森.
- 4) 乗鞍敏夫, 向井友花, 藤田修三, 佐藤伸: リグノフェノールによる脂質代謝異常の改善作用. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010年2月, 青森県立保健大学, 青森.
- 5) 佐藤伸, 乗鞍敏夫, 向井友花, 藤田修三: 『木質系新素材「リグノフェノール」のメタボリックシンドロームにおける生理的意義と応用』, 健康博覧会2010, 2010年3月

12) 佐藤 伸

学術論文(原著)

- 1) Sato S, Mukai Y, Yamate J¹, Norikura T, Morinaga Y, Mikame K², Funaoka M², Fujita S. Lignin-derived lignophenols attenuate oxidative and inflammatory damage to the kidney in streptozotocin-induced diabetic rats. *Free Radic. Res.*, 43, 1205-1213, 2009.
¹大阪府立大学, ²三重大学
- 2) 森永八江, 駒田亜衣, 斎藤長徳¹, 嵯峨井勝, 佐藤伸, 井澤弘美, 藤田修三: 地域住民の健康指標に及ぼす健康教育プログラム実施の影響. *Health Sci.*, 25, 102-112, 2009.
¹黒石病院

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) Sato S, Mukai Y, Yamate J¹: Beneficial effects of azuki bean (*Vigna angularis*) extract: Anti-oxidant, anti-hypertension, and treatment for renal damage. *Curr. Nutr. Food Sci.*, 5, 217-222, 2009.
¹大阪府立大学
- 2) 佐藤伸, 藤田修三, 船岡正光¹: 木質系有機資源の新展開Ⅱ, 「生体機能開発」. 128-133, 2009. シーエムシー出版社 (ISBN: 978-4-7813-0166-2)
¹三重大学
- 3) 佐藤伸, 向井友花: 青森県立保健大学・栄養学科における予防栄養学的研究—疾患モデル動物を用いたアプローチ— 青森県立保健大学雑誌, 10(2), 251-254, 2009.
- 4) 森永八江, 佐藤伸, 藤田修三: リグノフェノールを用いたリグニン本来の生理調節機能の探索. 科学研究費補助金研究成果報告書, 1-5, 2009.

国内外で開催された学会発表

- 1) 佐藤伸, 向井友花, 乗鞍敏夫, 森永八江, 藤田修三: 実験的糖尿病ラットの腎症に及ぼす新素材リグノフェノールの影響. 第63回日本栄養・食糧学会大会, 2009年5月20日-22日, 長崎市茂里町ブリックホール, 長崎.
- 2) 乗鞍敏夫, 向井友花, 藤田修三, 佐藤伸: 脂質代謝に及ぼすリグノフェノールの生理調節機能について. 第63回日本栄養・食糧学会大会, 2009年5月20日-22日, 長崎市茂里町ブリックホール, 長崎.
- 3) Mukai Y and Sato S.: Azuki bean (*Vigna angularis*) seed coats suppress superoxide production and NAD(P)H oxidase subunits expression in the aorta of spontaneously hypertensive rats. 第41回動脈硬化学会総会, 2009年7月17日-18日, 海峡メッセ下関, 山口.
- 4) 向井友花, 畑井朝子¹, 佐藤伸: アズキ種皮による高血圧自然発症ラット (SHR) の血圧上昇抑制および血管内スーパーオキシド産生抑制効果. 日本家政学会第61回大会, 2009年8月31日, 武庫川女子大学, 兵庫.
¹函館短期大学
- 5) 向井友花, 佐藤伸: アズキ種皮による高血圧自然発症ラット (SHR) の血管炎症反応の抑制効果. 日本食品科学工学会第56回大会, 2009年9月10日-12日, 名城大学, 愛知.
- 6) 山田真司, 駒田亜衣, 森永八江, 佐藤伸, 井澤弘美, 嵯峨井勝. 健康指数の各質問項目に対

する荷重についての検討. 第 68 回日本公衆衛生学会総会. 2009 年 10 月

7) 向井友花, 佐藤伸: アズキ種皮による高血圧自然発症ラット(SHR) の血管内酸化ストレスおよび炎症の抑制効果. 第 43 回日本栄養・食糧学会東北支部大会, 2009 年 11 月 7 日, 青森県立保健大学, 青森.

8) 向井友花, 乗鞍敏夫, 藤田修三, 佐藤伸: 糖尿病ラットの腎臓における酸化ストレスおよび炎症に及ぼす新素材リグノフェノールの影響. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.

9) 乗鞍敏夫, 向井友花, 藤田修三, 佐藤伸: リグノフェノールによる脂質代謝異常の改善作用. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.

10) 宮永直子, 向井友花, 松山千恵子, 中村由美子, 佐藤伸: 妊娠期・授乳期の低栄養が出生児ラットの糖・脂質代謝および活性酸素の産生に及ぼす影響. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.

11) 松山 千恵子, 向井友花, 宮永直子, 中村由美子, 佐藤伸: 妊娠期における母ラットおよび胎児に及ぼす血圧上昇の影響. 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.

12) 佐藤伸, 乗鞍敏夫, 向井友花, 藤田修三: 『木質系新素材「リグノフェノール」のメタボリックシンドロームにおける生理的意義と応用』, 健康博覧会 2010, 2010 年 3 月 17 日~19 日, 東京ビックサイト, 東京.

特許など

1) MCP-1 産生抑制剤及びその利用. 特願 2009-120368. 出願: 2009 年 6 月 25 日.

1 3) 山田 真司

論文

- 山田典子¹⁾, 川内規会¹⁾, 山田真司¹⁾, 上野雅²⁾, 新井山洋子³⁾, 富田恵¹⁾, リボウィッツよし子¹⁾: 1) 青森県立保健大学, 2) SC とわだを実現させる会, 3) 十和田市役所: 黎明期のセーフティプロモーション(SP)活動に見られる住民間の目的意識形成の

成因解明 Part I. 日本セーフティプロモーション学会誌 Vol.2, No.1, p33-39, 2009

1) 青森県立保健大学, 2) セーフコミュニティとわだを実現させる会, 3) 十和田市役所,

- 山田真司¹⁾, 山田典子¹⁾, 川内規会¹⁾, 奈良岡恵子¹⁾ 1) 青森県立保健大学: セーフティプロモーション活動からの交通問題へのアプローチ~Part II. 地域居住者によるグループインタビューからわかったこと~, 日本セーフティプロモーション学会誌 Vol3, 2009

学会発表

- Noriko Yamada^a, Masashi Yamada^a, Yujiro Handa^b, Yoko Niiyama^c, Hisako Nagase^c, Ichiko Ohta^d, Junko Ashino^d, Kikumi Sada^d, Kie Kawauchi^a, Kazuhito Watanabe^c, Motiki ohnishi^e, Makoto Narita^c, Masachika Nakanowatari^c, Megumi Tomita^a, Saeko Tanaka^d, Wataru Nagahata^c, Yoshiko Leibowitz^a, Yoshihide Sorimachi^f: Family Violence (FV) injuries in Japan: Surveillance results on DV victims' injuries in A-city, Aomori Prefecture 19th INTERNATIONAL CONFERENCE ON SAFE COMMUNITIES March 23-26, 2010 Suwon, Korea
- Noriko Yamada^a, Yujiro Handa^b, Megumi Tomita^a, Kie Kawauchi^a, Keiko Naraoka^a, Masashi Yamada^a, Yoshiko Leibowitz^a: Reasons why monitoring of injuries related to domestic violence (DV) is difficult: Recognition of nursing professionals providing care to DV victims 19th INTERNATIONAL CONFERENCE ON SAFE COMMUNITIES March 23-26, 2010 Suwon, Korea
- Youko NIYAMA¹⁾, Junko ASHINO²⁾, Kikumi SADA²⁾, Kaori TOYODA²⁾, Masashi UENO²⁾, Kazuko OHTA²⁾, Saiko TANAKA²⁾, Noriko YAMADA³⁾, Masashi YAMADA³⁾, Hisako NAGASE¹⁾, Yoshihide SORIMACHI⁴⁾ 19th INTERNATIONAL CONFERENCE ON SAFE COMMUNITIES March 23-26, 2010 Suwon, Korea
- Noriko Yamada, Yoko Niiyama, Hisako Nagase, Junko Ashino, Kikumi Sada, Masachika Nakanowatari, Kie Kawauchi, Megumi Tomita, Keiko Naraoka, Yoshiko Leibowitz, Yujiro Handa, Masashi Yamada: Understanding the Foundations of the Decision-Making Process by Local Citizen's in Relation to Community Activities, Aomori University of Health and Welfare, Aomori, Japan Towada citizens' group, Safe Communities-cali2009 18th International Conference. Safety Polices as an axis

for Development.p60,Valle Del Pacifico Convention Center. August13 at 15 2009 Santiago de Cali-Colombia.

・山田典子¹⁾, 新井山洋子²⁾, 長瀬比佐子²⁾, 蘆野潤子³⁾, 定喜久美³⁾, 反町吉秀⁴⁾, 川内規会¹⁾, 富田恵¹⁾, 奈良岡恵子¹⁾, 山田真司¹⁾, リボウィッツよし子¹⁾: 地域づくりを促すセーフティプロモーション活動, 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月 12 日, p80-81, 青森県青森市

・山田真司, 山田典子, 川内規会, 富田恵, 奈良岡恵子: 青森県 Q 市における受診外傷調査について, 第 3 回日本セーフティプロモーション学会学術大会, 2009 年 8 月 28 日~8 月 29 日, p54, 青森県十和田市

・山田真司, 駒田亜衣, 森永八江, 井澤弘美, 佐藤伸, 嵯峨井勝: 健康指標と生活習慣病との関連についてー北東北 Q 市のデータからー, 日本行動計量学会第 37 回全国大会, 2009 年 8 月 4 日-8 日, 大分大学医学部

・山田真司, 駒田亜衣, 森永八江, 井澤弘美, 佐藤伸, 嵯峨井勝: 健康指数の各質問項目に対する荷重についての検討, 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良市)

・嵯峨井勝, 駒田亜衣, 山田真司: 心疾患死亡リスクの特定健診データからの計算と心疾患の一次予防のあり方に関する検討, 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良市)

・駒田亜衣, 山田真司, 嵯峨井勝: 脳卒中死亡リスクの特定健診データからの計算と脳卒中の一次予防のあり方に関する検討, 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (奈良市)

・山田真司, 駒田亜衣, 森永八江, 井澤弘美, 佐藤伸, 嵯峨井勝: 健康指数の最適な点数化について, 2009 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010.2 (青森市).

教材開発

・DVD 作成: セーフティプロモーション・セーフコミュニティの展開

～安全・安心の心豊かなまち～ (12 分と 20 分監修)

14) 吉池 信男

学術論文 (原著)

1) Asano AW, Hayashi F, Miyoshi M, Arai Y,

Yoshita K, Yamamoto S, Yoshiike N: Demographics, health-related behaviors, eating habits, and knowledge associated with vegetable intake in Japanese adults. *Eur J Clin Nutr* 2009; 63: 1335-44

2) Nakamori M, Ninh NX, Isomura H, Yoshiike N, Hien VTT, Nhug BT, Nhien NV, Nakano T, Khan NC, Yamamoto S: Preliminary research on the nutrient status and breast milk concentration of iron, zinc and copper in lactating mothers at 6 to 12 month of postpartum in rural Vietnam. *J Nutr Sci Vitaminol* 2009 Aug; 55(4): 338-45.

3) Nakamori M, Ninh NX, Khan NC, Huong CT, Tuan NA, Mai LB, Hien VTT, Nhung BT, Nakano T, Yoshiike N, Kusama K, Yamamoto S. Nutritional status, feeding practice and incidence of infectious diseases among children aged 6 to 18 months in northern mountainous Vietnam. *J Med Invest* 2010; 57(1-2): 43-53

4) 林芙美, 横山徹爾, 吉池信男: 都道府県別にみた健康・栄養関連指標の状況と総死亡及び疾患別死亡率. *日本公衆衛生学雑誌*. 2009; 56(9): 633-644

総説

1) Sugiyama T, Watanabe H, Takimoto H, Fukuoka H, Yoshiike N, Sagawa N: Management of obesity in pregnancy. *Currnet Women's Health Review* 5, 220-224, 2009

2) 吉池信男: 糖尿病実態調査及び国民健康・栄養調査からみた糖尿病の疫学. *Diabetes Journal* 37(2), 67-72, 2009

3) 吉池信男, 佐々木万衣子: 小児の食事摂取基準 ~2010 年版の基本的な考え方~ *小児科* 50(6), 669-681, 2009

4) 吉池信男: 日本人の食事摂取基準(2010 年版); 乳児・小児, 妊婦・授乳婦. *臨床栄養* 115(3), 245-249, 2009

5) 瀧本秀美, 吉池信男: やせの疫学. *Pharma Medica* 27(10), 9-12, 2009

6) 三好美紀, 吉池信男: 我が国における肥満の疫

学～諸外国との比較を含めて～ 日本臨床 68
増刊号 2, 349-356, 2010

論説など

- 1) 吉池信男: 日本人のどのくらいが糖尿病なのか?
～糖尿病の疫学: 最新の国民健康・栄養調査から
～ からだの科学 261号, 2009
- 2) 吉池信男: 栄養実践, 管理栄養士教育におけるエ
ビデンスの構築と発信. 青森県立保健大学雑誌
10(1), 53-57, 2009
- 3) 吉池信男: 日本人の食事摂取基準(2010年版), 全
薬ジャーナル, 2009
- 4) 吉池信男: 母子栄養の"科学的基盤"～日本人の食
事摂取基準(2010年版), 月刊『母子保健』9月号,
2009
- 5) 吉池信男: 図説国民衛生の動向 2009, 厚生統計
協会, 2009
- 6) 吉池信男 (監修): サブノート2010「公衆衛生学」,
メディックメディア, 2009
- 7) 吉池信男: 管理栄養士課程における教育の現状と
課題. 青森県立保健大学雑誌 10(2), 237-239,
2010

d 書籍

- 1) 吉池信男, 川崎徹大: 肥満症の疫学～我が国の特
徴. 新しい診断と治療のABC59 肥満症.
pp.16-23, 最新医学社 2009
- 2) 吉池信男: 摂取量調査. 食品安全ハンドブック, 丸
善 2009

研究班報告書

- 1) 吉池信男, 川崎徹大, 佐々木万衣子, 横山徹
爾: 都道府県健康・栄養モニタリングデータの
蓄積と活用システム.平成 21 年度厚生労働科学
研究(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究
事業)健康増進施策推進・評価のための健康・
栄養モニタリングシステムの構築報告書(研究
代表者: 吉池信男). 72-77, 2010
- 2) 吉池信男, 佐藤ななえ: 幼児期における咀嚼行
動に関わる食育の効果指標の検討. 平成 21 年
度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事
業)胎児期から乳幼児期を通じた発育・食生活
支援プログラムの開発と応用に関する研究報告
書(研究代表者: 瀧本秀美). 62-100, 2010.

- 3) 吉池信男, 佐々木万衣子, 小野償子: 生活習慣
の地域差と環境要因の関連に関する研究. 平
成 21 年度厚生労働科学研究(循環器疾患等生
活習慣病対策総合研究事業)健康づくり支援環
境の効果的な整備施策および政策目標の設定
に関する研究報告書(研究代表者: 下光輝一).
65-88, 2010.
- 4) 吉池信男, 山田友紀子: 残留農薬等の急性曝
露評価手法の検討. 平成 21 年度厚生労働科
学研究(食品の安心・安全確保推進研究事業)
食品中残留農薬等の汚染実態把握と急性曝露
評価に関する研究報告書(研究代表者: 米谷民
雄) 77-97, 2010.
- 5) 須藤紀子, 吉池信男, 澤口眞規子: 全国の災害
拠点病院栄養・給食部門における新型インフ
ルエンザ対策に関する実態調査. 平成 21 年度厚
生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理
対策総合研究事業)災害・重大健康危機の発生
時・発生後の対応対策及び健康被害抑止策に
関する研究報告書(研究代表者: 尾崎米厚).
67-71, 2010.
- 6) 早瀬仁美, 松永泰子, 永原真奈見, 吉池信男:
日本人の食事摂取基準(2010 年版)に基づく食
事バランスガイドのサービング数設定方法の検
討. 平成 21 年度厚生労働科学研究(循環器疾
患等生活習慣病対策総合研究事業)日本人の
食事摂取基準の活用方法に関する検討報告書
(研究代表者: 由田克士). 73-83, 2010.
- 7) 吉池信男, 早瀬仁美, 松永泰子, 永原真奈見,
横山徹爾, 石脇亜紗子: 「日本人の食事摂取基
準」のポピュレーションアプローチへの活用
に関する検討. 平成 21 年度厚生労働科学研究
(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)
日本人の食事摂取基準の活用方法に関する検
討総括研究報告書(研究代表者: 由田克士).
21-25, 2010.
- 8) 吉池信男, 草間かおる, 市川祐子, 高橋みゆき:
地域支援事業データベースシステム利用による
データ収集と解析. 平成 21 年度厚生労働省老
人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進
等事業分)予防給付及び介護給付における『栄
養改善及び栄養マネジメントサービス』の事業
の評価・検証及び業務改善に資する調査研究
事業報告書(日本栄養士会). 7-58, 2010.

- 9) 吉池信男, 三好美紀: アジア開発途上国の糖尿病合併症の実態調査とデータベース構築に関する研究. 平成 21 年度厚生労働省国際医療研究委託費報告書. 途上国における糖尿病予防・治療の実態把握及び患者数増加要因に関する研究(研究代表者: 梶尾裕). 229-230, 2010
- 10) 酒井治子, 河野優子, 新開よしみ, 新澤拓治, 廣瀬志保, 山縣然太郎, 吉池信男: 子育て支援拠点における食育の地域連携ネットワーク構築に関する研究 (財団法人こども未来財団 児童関連サービス調査研究等事業 研究代表者: 酒井治子). 1-178, 2010.
- 11) 堤ちはる, 三橋扶佐子, 横山徹爾, 太田百合子, 吉池信男: 児童養護施設の栄養管理に関する研究(財団法人こども未来財団 児童関連サービス調査研究等事業 研究代表者: 堤ちはる). 29-62, 2010.

学会発表(招待講演, シンポジウム)

- 1) 吉池信男, 藤田静子: 介護保険制度と栄養ケア・マネジメント～地域栄養政策から～ 第9回日本健康・栄養システム学会, 2009.6.27, 日進市
- 2) Yoshiike N: Utilization of national food and nutrition survey data for program implementation in Japan. International Congress of Nutrition 2009.10.07
- 3) 吉池信男: 肥満症・メタボリックシンドロームと栄養. 第46回日本臨床生理学会総会, 2009.10.22, 盛岡
- 4) 吉池信男: 生活習慣病対策と国民健康・栄養調査. 第44回日本成人病(生活習慣病)学会 2010.01.10, 東京
- 5) 吉池信男: 新しい栄養学・食事バランスガイド. 日本総合健診学会, 2010.01.22, 東京

学会発表(一般演題)

- 1) 中神朋子, 西村理明, 田嶋尚子, 吉池信男: Body Mass Index と臍周囲径の代謝異常, 脳卒中・冠動脈疾患死ハイリスク予測能の比較: 2003 年国民健康・栄養調査データより. 第 52 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2009.5.22, 大阪
- 2) Ito S, Fujita T, Naritomi H, Ogihara T, Shimada K, Shimamoto K, Tanaka H,

Yoshiike N: J-HEALTH Study Committees. Increase in GFR during anti-hypertensive treatment is associated with reduced cardiovascular events in Japanese CKD patients: From J-HEALTH study 国際腎臓病学会

- 3) 三好美紀, 角倉知子, 荒井裕介, 吉池信男: 食育を通じた健康づくり及び生活習慣病予防戦略に関する研究(第3報) 食育研究データベースの構築に向けて. 第 56 回日本栄養改善学会, 2009.9.4, 札幌
- 4) 佐々木万衣子, 林芙美, 吉池信男: 生活習慣の地域差と環境要因の関連に関する研究. 第 56 回日本栄養改善学会, 2009.9.4, 札幌
- 5) 須藤紀子, 澤口真規子, 吉池信男: 被災者の栄養状態に影響する要因と必要な栄養学的配慮. 第 56 回日本栄養改善学会, 2009.9.4, 札幌
- 6) Nakamori M, Bach Mai L, Khan NC, Mai HT, Hien VTT, Yoshiike N, Nakano T, Yamamoto S: A Community-based growth, nutrition and infectious disease monitoring among children under 2 years old in Yen The, Bac Giang, Vietnam. 19th International Congress of Nutrition, 2009.10.6, Bangkok, Thailand.
- 7) Miyoshi M, Arai Y, Yoshita K, Yoshiike N: Strategies for Health Promotion and Lifestyle-related Diseases Prevention by Shokuiku: Application of Overseas Evidences. 9th International Congress of Nutrition, 2009.10.6, Bangkok, Thailand.
- 8) 堤ちはる, 三橋扶佐子, 横山徹爾, 吉池信男: 保育所給食の栄養管理(1) 保育所給食業務に関する児童福祉担当主管課の援助, 指導に関する調査研究. 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009.10.22, 奈良
- 9) 三橋扶佐子, 堤ちはる, 横山徹爾, 吉池信男: 保育所給食の栄養管理(2) 「食事摂取基準」を活用した保育所の食事計画の調査研究. 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009.10.22, 奈良
- 10) 横山徹爾, 吉池信男: クラスター抽出法を用いた標本調査のための集計用PCソフトウェアの開発. 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009.10.22, 奈良
- 11) 草間かおる, 瀧本秀美, 吉池信男: 自治体における妊産婦の食生活指導に関する実態調査. 第 68

回日本公衆衛生学会, 2009.10.22, 奈良

- 12) 酒井治子, 廣瀬志保, 山縣然太郎, 吉池信男, 新澤拓治: 子育て支援のための食育活動と地域連携. 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009.10.22, 奈良
- 13) 廣瀬志保, 酒井治子, 山縣然太郎, 吉池信男, 新澤拓治: 子育て支援拠点における食育プログラムの親子の利用度とその背景要因. 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009.10.22, 奈良
- 14) 須藤紀子, 澤口真規子, 吉池信男: 災害時の栄養・食生活支援に関する協定について. 第 68 回日本公衆衛生学会, 2009.10.22, 奈良
- 15) 上野伸子, 笠原賀子, 吉池信男, 林芙美, 佐々木万衣子: 学校の食育活動と子どもの食生活態度ならびに生活習慣に関する実証的分析. 学校保健学会, 2009.11.27, 那覇市

15) 吉岡 美子

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書

1) 大里怜子¹, 古舘伸郎², 川村仁子³, 臼井名津子⁴, 松本絵美¹, 徳田恵子⁵, 吉岡美子: 運動部在籍の高校生を対象とした食事に関する意識と現状の調査 ~昼食用弁当を利用して~, 岩手県立盛岡短期大学部研究論集, 12, 15-20, 2010年3月

¹: 岩手県立大学盛岡短期大学部, ²: 岩手県久慈保健所, ³: 盛岡女子高等学校, ⁴: 有) ロク企画, ⁵: 岩手県立となん支援学校

2) 小泉千嘉¹, 伊藤美穂子², 日比野智香子³, 佐々木淳⁴, 山田敬三⁴, 吉岡美子: 病院規模別にみた栄養指導の実態調査—診療所用電子カルテと連携した栄養指導システム開発に向けて—, 岩手県立盛岡短期大学部研究論集, 12, 21-26, 2010年3月

¹: 岩手県立大学盛岡短期大学部, ²: 岩手県立中央病院, ³: 坂の上野田村太志クリニック, ⁴: 岩手県立大学ソフトウェア情報学部

3) 松本絵美¹, 長坂慶子¹, 千葉啓子¹, 吉岡美子: 食品の入手状況からみた食物摂取状況に関する検討, 岩手県立盛岡短期大学部研究論集, 12, 41-46, 2010年3月

¹: 岩手県立大学盛岡短期大学部

国内外で開催された学会発表

1) 吉岡美子: いわてスポーツ栄養研究会の立ち上げについて. 2009年第3回NPO法人日本スポーツ栄養研究会総会・学術集会抄録集, 2009年7月11日-12日, 神奈川県立保健福祉大学, 横須賀, 2009

2) 大里怜子, 古舘伸郎, 川村仁子, 臼井名津子, 松本絵美, 徳田恵子, 吉岡美子: 運動部在籍の高校生を対象とした弁当から見る栄養バランスの調査. 第56回日本栄養改善学会学術総会講演集, 2009年9月2日-4日, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 67(5), 347, 2009

3) 小泉千嘉, 伊藤美穂子, 日比野智香子, 佐々木淳, 山田敬三, 吉岡美子: 病院規模別にみた栄養指導に関する研究—栄養指導の実態調査結果について—. 第56回日本栄養改善学会学術総会講演集, 2009年9月2日-4日, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 67(5), 362, 2009

4) 相澤文恵¹, 杉浦剛¹, 吉岡美子, 米満正美¹: 栄養士のセルフエスティームの現状. 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集, 2009年10月21日-23日, 奈良県文化会館, 奈良, 56(10), 284, 2009
¹: 岩手医科大学歯学部

5) 松本絵美, 長坂慶子, 千葉啓子, 吉岡美子: 食品の入手状況からみた食物摂取状況に関する検討. 第68回日本公衆衛生学会総会抄録集, 2009年10月21日-23日, 奈良県文化会館, 奈良, 56(10), 616, 2009

1) 川内 規会

学術論文

・山田典子、川内規会、山田真司、新井山洋子、上野雅、富田恵、リボウィッツよし子：黎明期のセーフティプロモーション(SP)活動に見られる住民間の目的意識形成の成因解明 Part I, 日本セーフティプロモーション学会誌第2巻第1号、42-48, 2009.

・山田真司、山田典子、川内規会、奈良岡恵子：セーフティプロモーション活動からの交通問題へのアプローチ～Part II.地域居住者によるグループインタビューからわかったこと～、日本セーフティプロモーション学会誌第2巻第1号、66-70, 2009.

報告書

・藤田修三、川内規会、奈良岡恵子：平成 21 年度社会人学び直しニーズ対応教育推進プログラム委託業務成果報告書—医療安全にかかわる看護技術「静脈注射」の学び直しプログラム、2009.

学会発表

・川内規会：初等教育における人権問題の扱いを考える—新潟水俣病の経験を伝える普及啓発事業を通して、日本コミュニケーション学会第10回東北支部研究大会, 2009年10月31日, 青森市

・Kie Kawauchi, Noriko Yamada:

Understanding the Decision-Making Process of Local Citizen's in Relation to Safety and Health Promotion in Community Activities, The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education, July 18-20, 2009 Chiba, JAPAN

・山田真司、山田典子、川内規会、富田恵、奈良岡恵子：青森県Q市における受信外傷調査について、第3回日本セーフティプロモーション学会学術大会、2009年8月28日-29, 十和田市

・山田典子、新井山洋子、長瀬比佐子、蘆野潤

子、定喜久美、反町吉秀、川内規会、富田恵、奈良岡恵子、山田真司、リボウィッツよし子、：地域づくりを促すセーフティプロモーション活動、2009年度青森県保健医療福祉研究発表会、2010年2月12日、青森市

・Noriko Yamada, Yujiro Handa, Megumi Tomita, Kie Kawauchi, Keiko Naraoka, Masashi Yamada, Yoshiko Leibowitz: Reasons why monitoring of injuries related to domestic violence (DV) is difficult: Recognition of nursing professionals providing care to DV victims, 19th International Conference on Safe Communities, March 23-26, 2010 Suwon, KOREA

・Noriko Yamada, Masashi Yamada, Yujiro Handa, Yoko Niiyama, Hisako Nagase, Ichiko Ohata, Junko Ashino, Kikumi Sada, Kie Kawauchi, Kazuhito Watanabe, Motikiohnishi, Makoto Narita, Masachika Nakanowatari, Megumi Tomita, Saeko Tanaka, Wataru Nagahata, Yoshiko Leibowitz, Yoshihide Sorimachi: Family Violence (FV) injuries in Japan: Surveillance results on DV victims' injuries in A-city, 19th International Conference on Safe Communities, March 23-26, 2010 Suwon, KOREA

・Noriko Yamada, Yoko Niiyama, Hisako Nagase, Junko Ashino, Kikumi Sada, Masachika Nakanowatari, Kie Kawauchi, Megumi Tomita, Keiko Naraoka, Yoshiko Leibowitz, Yujiro Handa, Masashi Yamada: Understanding the Foundation of the Decision-Making Process by Local Citizens' in Relation to Community Activities, Safe Communities-cali2009 18th International Conference, Safety Polices as an axis for Development.p60, Valle Del

Pacifico Convention Center, August 13 at 15,
2009 Santiago de Cali-Colombia.

・奈良岡恵子、川内規会：医療安全にかかわる
看護技術『静脈注射』の学びなおしプログラム」
実施における課題、医療の質・安全学会第4回
学術集会、2009年11月21日-23日、東京

学外からの研究費、研究助成金などの受け入れ状況

看護学科

鳴井 ひろみ

・外来がん化学療法を受ける患者・家族に対するグループ介入による援助プログラムの開発：科学研究費補助金（基盤研究 C：研究代表者：鳴井ひろみ）平成 19 年度～平成 21 年度

坂本 祐子

文部科学研究費：基盤研究 C

【研究課題】睡眠周期測定による術後譫妄発症予測尺度に関する研究

【研究代表者】坂本祐子

【交付金】1,400 千円（平成 21 年度分）

【研究期間】平成 21 年度～平成 23 年度

理学療法学科

渡部 一郎

文部省科学研究補助金 B

四肢局所運動・物理療法の交感神経機能に与える影響」代表研究者渡部一郎、共同研究者勘林秀行、長門五城、須郷麻衣子、2 年目¥4,900,000（3 年間総計¥12,800,000）

産学共同研究費；パナソニック電工（H21.7），渡部一郎（青森県立保健大学），¥1,509,000

尾崎 勇

文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)

【研究課題】

電気磁気生理学的手法による感覚皮質応答に関する研究

【主任研究者】

尾崎 勇

【交付金額】

1,100 千円（平成 21 年度分）

【研究期間】

平成 20 年度～22 年度

社会福祉学科

坂下 智恵

文部科学省科学研究費補助金 基盤研究（C）

【研究課題】小地域ネットワークを活用した地域介入による自殺予防プログラムの開発と効果評価

【主任研究者】坂下智恵

【分担研究者】大山博史、千葉敦子（青森県立保健大学）

【交付金】1,560 千円（平成 21 年度分）

【研究期間】平成 20 年度～平成 22 年度

栄養学科

廣森 直子

平成 21 年度科学研究費補助金（基盤 C）

【研究課題】知的障害者の生涯学習にかかわる地域ネットワークづくりに関する研究

【研究代表者】廣森直子

【研究分担者】渡邊洋一，西村愛

【研究協力者】山内修，石岡れい子，加藤和仁，工藤睦美

【交付額】910,000 円（平成 21 年度）

【研究期間】 平成 20 年度～平成 22 年度

平成 21 年度科学研究費補助金（基盤 B）

【研究課題】 福祉国家の変容と生涯学習施設のガバナンスの再編

【研究代表者】 高橋満（東北大学）

【研究分担者】 廣森直子, 石井山竜平, 高橋早苗, 榎石多希子, 笹原恵, 朝岡幸彦, 千葉悦子, 大高研道

【交付額】 325,000 円（平成 21 年度）

【研究期間】 平成 19 年度～平成 21 年度

岩井 邦久

文部科学省、厚生労働省など国の機関からの受け入れ

【研究補助金名称】 ST 平成 21 年度シーズ発掘試験 A（発掘型）

【研究課題名】 アピオスの降圧ペプチドに関する研究と素材化への応用

【研究者名と所属】 岩井邦久・栄養学科

【補助金額】 2,000 千円

県ならびに地方自治体からの受け入れ

【研究補助金名称】 青森県雇用創出委託事業

【研究課題名】 健康ビジネス資源調査

【研究者名と所属】 岩井邦久・栄養学科

【補助金額】 2,788 千円

向井 友花

文部科学省、厚生労働省など国の機関からの受け入れ

【研究補助金名称】 平成 21 年度文部科学省科学研究費補助金（若手研究（B））

【研究課題名】 妊娠高血圧症候群の病態に対する植物ポリフェノールの有効性と作用機序

【研究者名と所属】 向井友花・栄養学科

【補助金額】 2,470 千円

佐藤 伸

平成 20 年度文部科学省科学研究費補助金（基盤研究（C））

【研究課題】 胎生期低栄養に起因する血圧上昇での活性酸素産生酵素の分子機構と食品成分による改善

【研究者】 佐藤 伸（代表）, 井澤弘美, 向井 友花

【補助金】 600 千円（21 年度分）

【研究期間】 平成 20～22 年度

財団法人 アサヒビール学術振興財団

【研究課題】 胎生期低栄養に起因する血圧上昇と耐糖能障害に及ぼす植物性ポリフェノールの影響

【研究者】 佐藤 伸（代表）, 向井 友花

【補助金】 1,000 千円

【研究期間】 平成 21 年度

株式会社環境工学

【研究課題】 サプリメントを包接したシクロデキストリンポリマーを用いた新規デリバリーシステムの開発

【研究者】 佐藤 伸（代表）, 向井 友花, 乗鞍 敏夫

【補助金】 500 千円

【研究期間】 平成 21 年度

奨学交付金の受け入れ状況

理学療法学科

三浦 雅史

学外からの受け入れ奨学交付金 2009 年度
あおもり「杖なし会」(青森市) (H22. 3)、
三浦雅史 (青森県立保健大学)、¥200, 000、
テーマ「高齢者の介護予防・健康増進に関する研究」

尾崎 勇

エフピー株式会社からの奨学寄附金

【研究課題名】

パーキンソン病治療に関する研究

【研究者名(所属)】

尾崎 勇 神成 一哉(理学療法学科)

【交付金額】

20 万円

渡部 一郎

学外からの受け入れ奨学給付金 09 年度
ユニバース工業株式会社(五戸市)
(H21. 10)、渡部一郎 (青森県立保健大学)、
¥100, 000、(青森県地域産業振興事業の協
力)

社 会 活 動

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開催日時	開催場所	対 象	参集範囲等
健康科学部・看護学科	内城 絵美	地域交流	第9回青森県小児糖尿病サマーキャンプ	交流会担当、糖尿病教室講師(小学4年生以下担当)	青森県小児糖尿病サマーキャンプ実行委員会	平成21年7月24日～7月26日	星と森のロマンティックアソウマ	小児糖尿病患者とその家族	
健康科学部・看護学科	内城 絵美	地域交流	第8回青森県小児糖尿病サマーキャンプ	糖尿病教室講師(小学生)	青森県小児糖尿病サマーキャンプ実行委員会	平成20年7月25日～7月27日	大鰐町(おおわに山荘)	小児糖尿病患者とその家族	
健康科学部・看護学科	内城 絵美	その他	平成21年度特別支援学校における医療的ケア一般研修(演習)	講師(演習の一部担当)	青森県教育委員会	平成21年8月18、19日	8月18日:青森県立青森第一養護学校・8月19日:青森県立八戸第一養護学校	(1)医療的ケア実施校に勤務する新任者・(2)医療的ケア実施校に勤務する者のうち一般研修終了5年目の者・(3)特別支援学校に勤務する教員のうち受講を希望する者	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	看護研究基礎研修	講師	岩手県医療局	5月14～16日	岩手県立中央病院	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度全レベル看護研究ステップⅠ研修会	講師	社団法人青森県看護協会	平成20年6月9日～10日・平成20年7月11日～12日	県民福祉プラザ	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度レベルⅠ新人教育研修会	講師	社団法人青森県看護協会	平成20年6月19日～20日	県民福祉プラザ	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度全レベル看護研究ステップⅡ研修会	講師	社団法人青森県看護協会	平成20年8月23日・平成20年9月13日・平成20年10月25日・平成21年1月10日	青森県立保健大学	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度全レベル看護研究ステップⅡ発表会	講師	社団法人青森県看護協会	平成21年3月7日	県民福祉プラザ	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	看護研究指導者養成研修	講師	岩手県医療局	平成20年8月18日～19日・平成20年9月23日～24日・平成20年11月15日～16日・平成21年1月24日～25日・平成21年2月14日～15日	めぐもりの里N.U.C・いわて県民情報交流センター(アイーナ)	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	精神看護保健 講義	非常勤講師	岩手県医療局	平成20年8月21日・平成20年8月25日	岩手県立二戸高等看護学院	看護学生	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	「看護研究」研修会	講師	社団法人岩手県看護協会	平成20年8月28日～29日・平成20年9月4日～5日	岩手県看護研修センター	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度訪問看護師養成講習会ステップ1	講師	社団法人青森県看護協会	平成20年9月18日	県民福祉プラザ	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	「看護研究発表に対する考察」研修会	講師	公立金木病院	平成20年11月21日	公立金木病院	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	その他	平成20年度第1回青森県精神医療審査会	審査委員	青森県立精神保健福祉センター	平成20年4月18日	ホテルJALシティ青森	青森県精神医療審査会委員	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	その他	平成20年度第7回青森県精神医療審査会	審査委員	青森県精神保健福祉センター	平成20年8月15日	ホテルJALシティ青森	青森県精神医療審査会委員	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	その他	平成20年度第13回青森県精神医療審査会	審査委員	青森県精神保健福祉センター	平成20年12月19日	ホテルJALシティ青森	青森県精神医療審査会委員	
健康科学部・看護学科	藤本 真記子	人材育成	平成16年度卒業3年目看護師研修会	講師	青森赤十字病院	平成16年8月10日	八戸市	青森赤十字病院看護職員	
健康科学部・看護学科	藤田 あけみ	人材育成	青森ストーリーナビリテーション講習会、在宅呼吸管理看護、青森県立青森東校等学校出張講義、公立七戸病院看護研究、「通信制2年課程」	講師	青森骨盤外科研究会ストーリーナビリテーション部門、青森県看護協会、八戸看護専門学校、公立七戸病院、日本オストミー協会、青森県支部	6月28日～29日、12月13日～14日、5月10日、2月21日	青森県立保健大学、県民福祉プラザ、公立七戸病院	保健師、助産師、看護師	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	人材育成	認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修会	講師	青森県立保健大学地域連携・国際センター	平成21年7月29日	青森県立保健大学	看護師約30名	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	人材育成	平成21年度保健師助産師看護師実習指導者講習会	講師	青森県看護協会	平成21年7月18日、8月22日	青森市	看護師約40名	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	人材育成	平成21年度看護研究(実践編)	講師	青森県看護協会	平成21年8月10日、9月5日、10月24日、11月28日、平成22年1月	青森市	2病院の看護師6名	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	人材育成	平成21年度訪問看護師養成講習会「感染管理」	講師	青森県看護協会	平成21年8月27日	青森市	看護職員約30名	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	生涯学習	第2回公開講座「感染予防に生かす知識と技術」	講師	青森県立保健大学	平成21年6月13日	青森県立保健大学	一般市民約400名	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	生涯学習	あすなるマスターズカレッジ-自然コース「家庭や地域における感染予防について」	講師	青森県総合社会教育センター	平成21年12月19日	青森市	一般市民 約10名	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	情報発信	感染制御大学院教育協議会講習会に関する情報発信	刊行物掲載	(株)協和企画「CARLISLE誌」	平成21年5月、CARLISLE誌14(2)SUMMER			

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開催日時	開催場所	対 象	参集範囲等
健康科学部・看護学科	福井 幸子	外部委員・学会活動	青森県看護協会教育委員会	教育委員	青森県看護協会				
健康科学部・看護学科	平尾 明美	生涯学習	平成19年度あすなろマスターカレッジ健康福祉コース（青森校）	講師	青森県総合社会教育センター	7月11日・18日	青森県立保健大学		
健康科学部・看護学科	平尾 明美	生涯学習	平成19年度救急看護認定看護師教育課程	主任教員	健康科学教育センター（地域連携・国際センター）	6月7日～12月6日	青森市	選抜試験合格者定員10名	
健康科学部・看護学科	平尾 明美	人材育成	第3回名古屋掖済会病院PTLS講習会看護師コース	講師・インストラクター	名古屋掖済会病院	7月14日	名古屋掖済会病院	看護師	
健康科学部・看護学科	平尾 明美	生涯学習	第4回八戸プライマリケア外傷蘇生看護師コース	講師・インストラクター	地域医療振興協会	10月20日・21日	八戸市立市民病院	看護師	
健康科学部・看護学科	平尾 明美	生涯学習	平成19年度レベルⅢ在宅呼吸管理看護研修会	講師	青森県看護協会	11月3日・4日	青森県立保健大学	在宅看護に関わる看護師	
健康科学部・看護学科	平尾 明美	人材育成	第9回名古屋掖済会病院PTLS講習会看護師コース	講師・インストラクター	名古屋掖済会病院	1月12日	名古屋掖済会病院	看護師	
健康科学部・看護学科	平尾 明美	外部委員・学会活動	トリアージナース育成検討委員会	委員	日本救急看護学会・日本臨床救急医学会合同				
健康科学部・看護学科	本間 ともみ	外部委員・学会活動	青森県准看護師試験委員						
健康科学部・看護学科	細川 満子	生涯学習	平成20年度寿大学・寿大学院、女性大学・女性大学院合同入学式・始業式記念講演	講師	青森市	2008年4月16日	青森市文化会館	青森市寿大学・寿大学院、女性大学・女性大学院生	
健康科学部・看護学科	細川 満子	生涯学習	第7回あおもり協立病院公開倫理講座	講師	あおもり協立病院医療倫理委員会	2009年3月28日	あおもり協立病院	あおもり協立病院医療専門職・事務系職員・組合員、弁護士	
健康科学部・看護学科	細川 満子	人材育成	平成20年度訪問看護師養成講習会	講師	青森県看護協会	平成20年7月9日	青森県民福祉プラザ	看護職	
健康科学部・看護学科	細川 満子	人材育成	平成20年度社会福祉主事資格認定講習会	講師	青森県立保健大学	2008年9月25日	青森県立保健大学	県及び各市福祉事務所職員、民間福祉施設職員	
健康科学部・看護学科	細川 満子	人材育成	平成20年度青森県介護支援専門員実務者基礎研修	講師	NPO法人青森県介護支援専門員協会	2008年5月1日	青森市文化会館	介護支援専門員	
健康科学部・看護学科	細川 満子	人材育成	平成20年度橋渡し看護職員養成研修会	講師	青森県看護協会	2008年11月14日	青森県民福祉プラザ	看護職	
健康科学部・看護学科	細川 満子	人材育成	平成20年度ケアプラン作成研修会	講師	上北地域県民局	2008年10月28日	十和田市文化センター	居宅介護支援専門員、市町村介護保険担当者、地域包括支援センター職員、上十三保健所職員	
健康科学部・看護学科	細川 満子	産官学連携	むつ介護者家族のつどい	企画・運営		平成20年8月1日、11月18日	下北地域支援センター	むつ市在住の介護者、家族	
健康科学部・看護学科	細川 満子	情報発信	福祉用具の活用に関する情報提供	情報提供	東奥日報社	平成20年6月17日	一般市民		
健康科学部・看護学科	細川 満子	外部委員・学会活動	あおもり協立病院医療倫理委員会	委員	あおもり協立病院	平成20年4月～平成21年3月31日	あおもり協立病院	あおもり協立病院医療専門職・事務系職員・組合員、弁護士	
健康科学部・看護学科	細川 満子	外部委員・学会活動	あおもり継続看護研究会	評議員	あおもり継続看護研究会	平成20年4月～平成21年3月31日	青森県内看護職、教育関係者		
健康科学部・看護学科	早川 ひと美	人材育成	青森県立保健大学平成19年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル	教育担当者・講師	青森県立保健大学 健康科学教育センター	平成19年6月18日～平成19年9月4日までの32日間	青森県立保健大学健康科学教育センター	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了者または所定の要件を満たしている看護師	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了者または所定の要件を満たしている看護師
健康科学部・看護学科	早川 ひと美	人材育成	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター	平成19年6月26日・8月30日	青森県立保健大学健康科学教育センター	平成19年度青森県立保健大学健康科学教育センターセカンドレベル受講生	認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了者または所定の要件を満たしている看護師
健康科学部・看護学科	早川 ひと美	人材育成	「師長補佐に求められる看護管理」研修	講師	北海道看護協会	平成19年6月4日・12月4日	北海道看護協会	師長補佐の任にある者等	
健康科学部・看護学科	早川 ひと美	人材育成	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	講師	青森県看護協会	平成19年9月20日	青森県看護協会		
健康科学部・看護学科	早川 ひと美	人材育成	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	講師	北海道看護協会	平成20年2月5日	北海道看護協会		
健康科学部・看護学科	早川 ひと美	国際交流	青森県立保健大学国際科 ベレノバ交流事業	青森県立保健大学健康科学教育センター国際科	平成19年5月13日～19日				

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開催日時	開催場所	対 象	参集範囲等
健康科学部・看護学科	早川 ひと美	外部委員・学会活動	青森県看護協会ファーストレベル教育運営委員会	委員	青森県看護協会				
健康科学部・看護学科	早川 ひと美	外部委員・学会活動	第38回日本看護学会－看護管理－論文選考ワーキンググループ	委員	日本看護協会				
健康科学部・看護学科	早川 ひと美	外部委員・学会活動	日本母性衛生学会/日本看護管理学会/日本看護学教育学会/日本医療・病院管理学会/日本看護科学学会/日本在宅ケア学会	会員					
健康科学部・看護学科	石鍋 圭子	人材育成	県内就職説明会						
健康科学部・看護学科	木村 恵美子	人材育成	リンパ浮腫ケア	講師・デモンストラター、実践指導	H20年度・①リンパ浮腫研修会、リンパ浮腫患者へのケアについて、青森県内訪問看護ステーション 23施設、木村恵美子企画講演、2008年11月1-2日、青森県立保健大学、青森市。・②第8回日本看護技術学会学術集会 体験セッション リンパドレナージ講師、2008年9月21日、青森県立保健大学、青森市。・③リンパ浮腫ケア；フェルディ式複合物理療法の講義と実践指導、2008年平成20年4月14日、5月29日、6月17日、7月1、15日、8月5、8、12、14、19、20、21、25、27、29日、9月1、2、4、5、9、12日、12月25日、平成21年2月12日、26日9月24、25、26日、平成21年3月11、18、25、30日 青森県立中央病院、十和田市立病院大会議室およびリンパ浮腫ケア・室、十和田市。・④リンパ浮腫研修会；患者へのリンパ浮腫指導、2008年7月26日-8月11日、八戸市立市民病院、八戸市。・⑤第1回リンパ浮腫患者の予防に対する患者教育・指導に資する看護師研修、日本がん看護学会 教育研究委員会主催、2008年10月11日～11月30日までの土日8回、聖路加看護大学、東京都。・⑥緩和ケアの事業化ラウンドテーブル意見交換会、青森県医療・健康福祉関連事業化促進 ラウンドテーブル事業、2009年2月26日、青森県立保健大学、青森市。・⑦リンパ浮腫最前線、文科省がんプロフェッショナル養成プラン 高度がん医療を先導する人材拠点の育成、がん看護認定看護師コース、2009年3月22日、京都大学 芝蘭会 館、京都府。・『H21年度』・①緩和ケアセミナー リンパドレナージアシスタント：十和田緩和ケアセミナー実行委員会、2009年5月31日、十和田市立中央病院別館2F、十和田市。・②リンパ浮腫の苦痛の軽減・緩和に向けたアプローチ：日総研、2009年6月13日、ショーケー本館ビル、仙台市、2009。・③文科省がんプロフェッショナル養成プラン『高度がん医療を先導する人材拠点の育成、看護インテンシブコース』、2009年8月10-13日 9月13日、京都大学 杉浦地域研究センター、京都府。・④厚労省委託事業 がんのリハビリテーションセミナー リンパ浮腫研修：ライフプランニングセンター、2009年11月29日、臨床福祉専門学校、東京都。・⑤乳がん患者のつどい リンパドレナージでセルフケア：ぬいっこ本舗・酸ヶ湯温泉・NPOあおもり里女共同参画をすすめる会共催、2010年青森高齢者研究会（国際科共催）	上記参照	上記参照	リンパ浮腫患者・医師・看護師・薬剤師・音楽療法士など	
健康科学部・看護学科	リボウィツ よし子	生涯学習	ペンシルバニア大学コッター教授講演「高齢者ケア：米国の抑制・痴呆への取り組み」	企画・実施講師		7月24日	青森県立保健大学	青森県の病院・施設・在宅ケアに従事している看護師約70名	
健康科学部・看護学科	富田 恵	生涯学習	平成21年度介護支援専門員受験対策講座（医療分野）	講師	青森県社会福祉士会	2009年8月16日	青森市	介護支援専門員試験を受験する社会福祉・介護福祉職	約100名
健康科学部・看護学科	三浦 博美	人材育成	平成16年度訪問介護員養成研修2級課程講習会「基本的介護技術－視覚障害者の歩行介護」「基本的介護技術－車椅子への移乗等の介護、車椅子等での移動の介護」	講師	青森県立母子福祉センター	2004/8/19	青森市、青森県立母子福祉センター	青森県内 訪問介護員養成研修2級課程講習会	
健康科学部・看護学科	村上 真須美	人材育成	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	認定看護管理者教育課程ファーストレベル運営委員	青森県看護協会				
健康科学部・看護学科	村上 真須美	人材育成	認定看護管理者教育課程 サードレベル	認定看護管理者教育課程サードレベル担当教員	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	平成22年6月16日～平成22年9月10日			
健康科学部・看護学科	村上 真須美	人材育成	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	認定看護管理者教育課程セカンドレベル担当教員	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	平成23年6月16日～平成23年9月2日（予定）			

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・看護学科	鳴井 ひろみ	生涯学習	青森県看護協会主催「看護研究(実践編)」	研究指導	青森県看護協会	2010年8月、9月、10月、11月、2011年1月	県民福祉プラザ	看護師・助産師・保健師	
健康科学部・看護学科	鳴井 ひろみ	生涯学習	「保健師助産師看護師実習指導者講習会」の実習指導の評価	講師	青森県看護協会	2010年9月	県民福祉プラザ	看護師・助産師・保健師	
健康科学部・看護学科	大津 美香	人材育成	平成17年度認定看護師教育専門課程認知症高齢者看護学科	非常勤講師	日本看護協会	平成17年9月5日、9月6日	社団法人日本看護協会 看護研修学校	認知症高齢者の看護にあたる看護師	
健康科学部・看護学科	大関 信子	人材育成	1.看護大学等進路説明会 相談員・2.模擬講義 講師 青森県立青森東高等学校・青森県立戸山高校・青森県立弘前南高校・3.高大連携事業「グローバル社会と文化」・4.福井県立大学「国際看護学」 講師 福井県	講師					
健康科学部・看護学科	佐藤 真由美	人材育成	平成19年度保健師助産師看護師実習指導者講習会	講師	青森県看護協会	平成19年8月7日・8日	県民福祉プラザ	保健師・助産師・看護師で、実務経験5年以上、実習指導者として基礎的研修の未受講者	
健康科学部・看護学科	佐藤 真由美	人材育成	平成19年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター	平成19年8月22日	青森県立保健大学 C棟2階N-1講義室1	看護管理者	
健康科学部・看護学科	佐藤 愛	その他	あおもり思春期研究会	事務局	一般市民、医療関係者、教育関係者等を対象に、年2回の市民公開講座・例会の開催、電話相談、ピアカウンセラー養成とその活動支援を行っている。				
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	平成21年度救急看護認定看護師教育課程	講師	青森県立保健大学地域連携・国際センター	2009年7月22日	青森県立保健大学	救急看護認定看護師教育課程受講生	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	平成21年度保健師助産師看護師実習指導者講習会	講師	社団法人青森県看護協会	2009年9月12日	県民福祉プラザ	保健師、助産師、看護師	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	平成21年度介護員養成研修2級課程	講師	社会福祉法人青森市社会福祉協議会	2009年9月14日・29日	青森市福祉増進センター「しあわせプラザ」	介護員養成研修2級課程受講者	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	青森県介護老人保健施設協会青森地区支部研修会	講師	青森県介護老人保健施設協会青森地区支部	2009年10月7日	ラ・プラス青い森	青森県介護老人保健施設協会青森地区支部会員施設職	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	日本認知症ケア学会東北地域部会事例検討会	スーパーバイザー(コメンテーター)	日本認知症ケア学会東北地区部会	2009年10月3日	八戸市 ユートリー	日本認知症ケア学会会員(東北地域)	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	平成21年度認知症疾患医療連携協議会	構成員	社会福祉法人青森県社会福祉協議会	2009年12月4日、2010年2月24日	青森県立つくしが丘病院、県民福祉プラザ		
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	八戸看護専門学校通信制2年課程添削指導員連絡会議	添削指導員	八戸看護専門学校	2009年9月10日、2010年2月12日	八戸市 ユートリー		
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	第11回アルツハイマーフォーラムIN青森世話人会	世話人	アルツハイマーフォーラムIN青森・エーザイ株式会社・ファイザー株式会社	2009年5月27日	ホテル青森		
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	日本認知症ケア学会	査読委員					
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	その他	第12・13回青森高齢者ケア研究会	世話人(事務局)	青森高齢者ケア研究会	2009年11月29日、2010年3月13日	青森県立保健大学	高齢者ケア提供施設の看護・介護職員等	
健康科学部・看護学科	鄭 佳紅	人材育成	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター・山形県看護協会・北海道看護協会	2010年	青森県立保健大学健康科学教育センター・山形県看護協会・北海道看護協会	認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者	
健康科学部・看護学科	鄭 佳紅	人材育成	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	講師	青森県看護協会・北海道看護協会	2010年	青森県看護協会・北海道看護協会	認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	デーティングバイオレンス予防中学生プログラム「ハートフルセミナー」	プログラム開発、評価、および実施	主催：青森県子どもみらい課・共催：NPO法人ウィメンズネット青森	平成20年7月16日、11月16日、11月14日、11月17日、11月19日いずれもPM	7月16日鶴ヶ沢第1中学校、11月16日弘前市立津軽中学校、11月14日脇野沢中学校、11月17日十和田第1中学校、11月19日弘前市立裾野中学校	中学生およびPTA	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	平成20年度出張講義、「大学紹介および現代の医療問題」	講師・大学紹介	青森県立三沢高等学校	2008年6月28日	青森県立三沢高等学校	高校生	

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	海外研修支援事業 米国ウィラノバ大学での本学大学院生の研修	企画、情報提供、連絡	地域連携・国際センター 国際科看護学科委員	2009年3月	米国ペンシルバニア州ウィラノバ大学、St. Christopher's Hospital for Children. "The Annex" Nurse managed health center. Bryn Mawr Hospital. Delaware County Memorial Hospital. Paoli Hospital. Children's Hospital of Philadelphia 等で	クリティカル看護学領域2名、小児家族看護学領域1名	本学大学院生
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	法看護学セミナー	企画、セミナー講師、司会、運営、評価	2007年10月6日より同年10月30日	1回目森隆志青森地方検察庁検事(講師)で「司法現場から支援についての提言」、・2回目「デートDVの早期発見と対応」、・3回目山奈奈子秋田大学医学部准教授「米国メイヨークリニックにおけるフォレンジックナーシングの実践より」、いずれも青森県立保健大学にて開催	看護職、DV支援者、福祉職		
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	十和田市セーフコミュニティ推進事業「世帯調査から見た十和田市の外傷発生の特徴」	調査員・講師	十和田市	平成21年1月23日	十和田市保健センター1階ホール	外傷世帯調査員および世帯調査の協力者等	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	平成20年度青森市人権教育・学習推進モデル講座「ふれあい 解けあい 認めあい」	プログラム開発および3回目講師	NPO青森推進会議・青森市生涯学習課	8月9日、9月13日、10月4日	青森市八甲田丸	高校生～一般	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	一歩ずつんだ看護現任研修をめざして～法看護学のスキルから観察力・判断力・コミュニケーション能力を高める～	企画、実施、評価、1回目と3回目の講師、2回目と4回目の	平成20年度地域連携・国際センター研修科事業	2008年11月8日午前、12月13日午前、2009年1月10日午前・午後各3時間	十和田市立中央病院	看護職・4回目の講座は公開講座とし、医療従事者、救急救命士、警察官、教育者、福祉職が参加	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	平成17年度青森県地域リハビリテーション調整者養成研修会	「地域リハビリテーションの現状と課題の学習」の演習講師	上北地方健康福祉こどもセンター	平成17年9月27日	三沢市総合社会福祉センター	地域リハビリに関わる専門職	
健康科学部・看護学科	山本 春江	生涯学習	保健師研修会	講師	日本郵政株式会社東北郵政健康管理センター	2010.12.14	青森県産業保健センター	保健師等	東北地域
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	人材育成	社会福祉主事資格認定講習会	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター	5月28日、6月4日	青森県立保健大学	青森県および青森市福祉事務所職員、民間福祉施設職員 約60名	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	人材育成	介護専門職員講座	講師	青森県社会福祉協議会	7月13日	青森県民福祉プラザ	青森県内の居宅介護に従事する介護職員 約40人	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	人材育成	アロマセラピー研修会	講師	十和田市立中央病院	7月12日	十和田市立中央病院 緩和ケアリンクナース 約20名		
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	人材育成	アロマセラピー研修会	企画・運営・講師	青森県立保健大学	11月10・11日	青森県立保健大学	県内看護職者44名	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	国際交流	ラオスにおける学校保健プロジェクト	代表	日本財団	8月、3月(各約4週間)	ラオス人民民主共和国	ラオス国民約2000人	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	国際交流	青年海外協力隊募集説明会	情報提供者	JICA	4月	水産会館ビル	国際協力を目指す青森市民	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	国際交流	青年海外協力隊募集説明会・国際協力推進説明会	情報提供者	JICA・青森県立保健大学国際科委員会	5月30日	青森県立保健大学	国際協力で興味のある青森県民	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	情報発信	NHK全国ケーブルテレビ大賞	出演	NHK	7月28日	NHKBS 1	日本全国	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	外部委員・学会活動	日本看護科学学会	学会委員					

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	生涯学習	青森市パーキンソン病市民公開講座	講演とパネル（進行期のパーキンソン病治療）	日本ベーリンガーインゲルハイム、青森市医師会、青森県医師会	2010年3月27日	青森市文化会館5階大会議室（青森市）	パーキンソン病患者様およびそのご家族	
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	生涯学習	パーキンソン病市民公開講座（弘前地区）	講演会の司会とパネル（パーキンソン病の克服を目指して）	日本ベーリンガーインゲルハイム、弘前市医師会、青森県薬剤師会	2009年10月25日	岩木文化センターあそべーる（弘前市）	パーキンソン病患者様およびそのご家族	
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	生涯学習	青森県マッサージ師会生涯研修会	講演と質疑応答（パーキンソン病について）	青森県マッサージ師会	2009年7月26日	ふれあいの館2階和室（青森市）	青森県マッサージ師会会員	
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	生涯学習	全国パーキンソン病友の会青森県支部講演会	講演と質疑応答（パーキンソン病と認知症について）	全国パーキンソン病友の会青森県支部	2009年5月13日	県民福祉プラザ4階（青森市）	パーキンソン病患者様およびそのご家族	
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	産官学連携	平成21年度むつ保健所難病患者医療相談	講演と医療相談（脊髄小脳変性症と多系統萎縮症について）	むつ保健所	2009年9月3日	むつ来さまい館	脊髄小脳変性症と多系統萎縮症の患者様およびそのご家族	
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	産官学連携	青森県立保健大学学学連携研究談話会	発表と司会（パーキンソン病振動治療研究について）	青森県立保健大学研究推進・知的財産センター	2010年3月30日	青森県立保健大学、管理・図書館棟2階、大会議室（青森市）	学内外でパーキンソン病の治療に関心のある方々	
健康科学部・理学療法学科	長門 五城	産官学連携	青森県立七戸養護学校授業改善事業	講師	青森県立七戸養護学校	平成21年6月5、12、26日、7月10日、9月4、11、25日、10月16、23、30日、11月20、27日、12月4、11日	青森県立七戸養護学校	青森県立七戸養護学校教員、学童及びその保護者	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	人材育成	新人教育プログラム研修会	講師	青森県理学療法士会	平成22年9月18日	青森県立保健大学	青森県理学療法士会会員	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	人材育成	初級障害者スポーツ指導員養成講習会	講師	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館	平成23年2月12日	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館	初級障害者スポーツ指導員受講資格者	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	産官学連携	PT・OT・ST等の外部専門家を活用した指導方法等の改善に関する実践研	外部専門家	青森県教育委員会	平成20～21年度 計27回	青森県立七戸養護学校	教員及び児童・生徒	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	産官学連携	特別支援学校教育推進事業	外部専門家	青森県教育委員会	平成22年度 計9回	青森県立七戸養護学校、青森県立むつ養護学校	教員、児童・生徒とその保護者	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	地域交流	むつ保健所難病患者等医療相談	相談員	むつ保健所	9月10日、10月8日	むつ来さまい館	パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症患者とその家族	
健康科学部・理学療法学科	藤田 智香子	人材育成	特別養護老人ホーム静和園リハビリ講習	講師	静和園	平成21年4月～平成22年3月：月1回（第3木曜日）14：30～16：00	静和園（中泊町）	静和園の看護師・介護職員等	5～20名程度
健康科学部・理学療法学科	藤田 智香子	生涯学習	青森県立弘前中央高校大学模擬講義	講師	青森県立弘前中央高校	平成21年10月7日	青森県立弘前中央高校	青森県立弘前中央高校2年生	32名
健康科学部・理学療法学科	藤田 智香子	生涯学習	新春YOGA学習会	講師	NPO法人日本YOGA連盟青森支部	平成22年3月7日12：30～15：40	戸山市民センター	NPO法人日本YOGA連盟青森支部会員	12名
健康科学部・理学療法学科	藤田 智香子	国際交流	韓国・仁済（インジェ）大学校との国際交流	研修計画立案・文書作成等	青森県立保健大学および仁済（インジェ）大学校	仁済大学校から本学へ来日：平成21年7月9日～8月6日・本学より仁済大学校へ訪韓：平成21年8月24日～9月7日	仁済大学校学生研修先：本学・黎明郷リハビリテーション病院等・本学学生研修先：仁済大学校・附属白（バク）病院	理学療法学科3年生	仁済大学校から来日：4名・本学より訪韓：4名
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	人材育成	セラピストのための解剖学：胸部及び腹部内臓編及び中枢神経系研修会	講師	本学理学療法学科	2009年6月6・7日、9月5・6日	本学	青森県内の理学療法士と作業療法士	
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	生涯学習	講演：転倒を予防していきいき人生	講師	青森県理学療法士会	2009年11月15日	ゆ～さ浅虫	青森市民	
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	生涯学習	講演：理学療法士をとりまく法制度について～現在と未来	講師	（社）日本理学療法士協会東北ブロック協議会	2009年12月12・13日	仙台市民会館	理学療法士	
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	生涯学習	研修会：スポーツ傷害の応急処置と予防方法	講師	全日本空道連盟大道塾青森市支部	2009年9月4日	青い森アリーナ	全日本空道連盟大道塾青森市支部員とその家族	

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	人材育成	出張講義：理学療法の役割と職域	講師	青森県立戸山高校	2009年10月16日	青森県立戸山高校	高校生	
健康科学部・理学療法学科	勘林 秀行	人材育成	訪問介護院養成研修 2 級課程講習会	講師	青森県母子福祉センター	2004年7月30日	青森市	母子家庭の母または寡婦	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	人材育成	青森県介護支援専門員更新研修「リハビリテーション」および「訪問リハビリテーション」	講師	青森県介護支援専門員協会	2009年7月22日～23日	青森県民福祉プラザ	介護支援専門員更新研修受講者	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	人材育成	障害者スポーツ中級指導員指導研修	講師	青森県身体障害者福祉団体連合会	2009年9月19日、11月22日	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館	障害者スポーツ中級指導員受講者	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	人材育成	障害者スポーツ初級指導員指導研修	講師	青森県身体障害者福祉団体連合会	2009年9月19日、11月22日	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館	障害者スポーツ初級指導員受講者	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	人材育成	ホームヘルパー2級講習	講師	社会福祉法人福祉の里	2010年3月20日	社会福祉法人福祉福祉の里ポナール	ホームヘルパー講習2級受講者	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症生活指導講話	顧問・講師	青森県脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会	2009年5月17日・2009年7月29日・2009年11月8日	青森県民福祉プラザ	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会会員	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	パーキンソン病生活指導講話	講師	青森県パーキンソン病友の会	2009年8月18日	青森県民福祉プラザ	青森県パーキンソン病友の会	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	むつ保健所難病事業	講師	むつ保健所	2009年9月3日	むつ来さまい館	下北地域の難病罹患者・家族	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	教育講話	講師	横浜町立横浜小学校PTA	2009年7月1日	横浜町立横浜小学校	横浜町立横浜小学校 教員、生徒、PTA	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	教育講話	講師	むつ市立城ヶ沢小学校PTA	2009年11月29日	むつ市立城ヶ沢小学校	むつ市立城ヶ沢小学校 教員、生徒、PTA	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	青森県立青森高等学校職業講話	講師	青森県立青森高等学校	2009年11月19日	青森県立青森高等学校	青森県立青森高等学校生徒	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	青森県立青森東高等学校職業講話	講師	青森県立青森東高等学校	2009年12月4日	青森県立青森東高等学校	青森県立青森東高等学校生徒	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	外部委員・学会活動	青森県介護支援専門員協会理事会	理事	青森県介護支援専門員協会	2010年2月3日	青森県医師会館	青森県介護支援専門員協会理事	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	外部委員・学会活動	日本理学療法士協会東北ブロック協議会理事会	理事	日本理学療法士協会東北ブロック協議会	2009年4月18日・2009年12月11日	国立療養所仙台病院・仙台市民会館	日本理学療法士協会東北ブロック協議会理事・監事	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	外部委員・学会活動	青森県理学療法士会理事会	副会長	青森県理学療法士会	7回開催		理事・役員	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	外部委員・学会活動	青森県保健医療福祉包括ケアシステム運営協議会	委員	青森県健康福祉部健康福祉政策課	2009年7月16日	アラスカ会館	同委員	
健康科学部・理学療法学科	山下 弘二	人材育成	平成22年度救急看護認定看護師教育課程・「救急看護技術-重症患者の離床開始基準、咳嗽力評価、咳嗽介	講師	青森県立保健大学地域連携国際医療センター・日本看護協会	2010年8月17日、8月26日(4コマ)	青森県立保健大学	看護師	
健康科学部・理学療法学科	山下 弘二	生涯学習	平成22年度青森県立保健大学オープンキャンパス模擬講義	テーマ「呼吸筋の機能と呼吸筋トレーニング」講師	青森県立保健大学	平成22年8月8日(日)	青森県立保健大学	高校生など	
健康科学部・理学療法学科	山下 弘二	生涯学習	平成22年度実用化検証事業「リフレッシュ乗馬体験プログラム」・乗馬療法-健康	アドバイザー	青森県商工労働部新産業創造課・医療・健康福祉産業創出グループ	平成22年7月21日(水)	十和田市 特定非営利活動法人 驥北会	乗馬インストラクターなど	
健康科学部・理学療法学科	山下 弘二	生涯学習	積雪寒冷地における中高年者の健康体力づくり「ニコニコ体操」	講師	青森市社会福祉協議会	平成22年10月26日	青森県立保健大学	民生委員	
健康科学部・理学療法学科	山下 弘二	生涯学習	平成21年度あすなろマスターカレッジ「障害予防のための雪かき体操」の実技指導	講師	青森県総合社会教育センター	平成21年12月19日	青森県総合社会教育センター	一般市民、受講者	
健康科学部・理学療法学科	李 相潤	生涯学習	「バランス良い身体組成とは・自分の身体組成について考える」、青森県立保健大学、平成16年青森県立保健大学公開講座	講師	青森県立保健大学主催	2004年6月26日	青森県立保健大学講堂	青森県の一般住民	
健康科学部・理学療法学科	三浦 雅史	生涯学習	平成16年度スポーツ科学アドバイザー事業、スポーツ医学「テーピング」(サッカー競技)	講師	財団法人青い森みらい創造財団主催	2004年6月12日	青い森アリーナ、青森市	サッカー青森県高校選抜チーム(約50名)	
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	第2回ドライバ評価手法検討部門委員会	講師	社団法人自動車技術会 ドライバ評価手法検討部門委員会	2008年6月	東京都		
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	平成20年度むつ保健所難病患者医療相談	講師	むつ保健所	平成20年8月22日(金)	むつ来さまい館		
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	平成21年度むつ保健所難病患者等医療相談	講師	むつ保健所	平成21年10月23日(金)	下北文化会館		

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開催日時	開催場所	対 象	参集範囲等
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	くまもと技術革新・融合研究会(RIST)「医工連携共同研究会」	講師	くまもと技術革新・融合研究会事務局((財)くまもとテクノ産業財団)	平成21年11月24日(火)	熊本県熊本市 くまもと県民交流館	熊本大学大学院学生、一般企業人、医師、歯科医師など	
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	平成22年度むつ保健所難病患者等医療相談	講師	むつ保健所	平成22年10月8日(金)	むつ来さまい館		
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	名古屋市南部神経内科セミナー	講師	中部労災病院・エーザイ株式会社	平成22年7月24日(土)	中部労災病院	医師、医療関係者など	
健康科学部・理学療法学科	桜木 康広	生涯学習	青森県立青森戸山高等学校出前講義	講師	青森県立青森戸山高等学校	平成17年1月25日(火) 12:50~15:30	青森県立青森戸山高等学校(青森市)	青森県立青森戸山高1・2年生の当該授業希望者約30名を2回講義(計60名)	
健康科学部・理学療法学科	佐藤 秀一	人材育成	社会福祉主事資格認定講習会	講師	青森県立保健大学	平成20年11月5日	青森県立保健大学	県及び各市福祉事務所職員、民間福祉事務所職員	
健康科学部・理学療法学科	佐藤 秀一	人材育成	産学連携	研究総括	保健大学	平成20~21年度	県工業総合研究センター、県農林総合研究センター、県内木材加工企業		
健康科学部・理学療法学科	鈴木 孝夫	人材育成	平成16年度 理学療法臨床実習指導者研修	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター(運営:健康科学部理学療法学科、後援:青森県理学療法士会)	2004年9月4、5日	青森県立保健大学	青森県、秋田県の理学療法臨床実習指導者	
健康科学部・理学療法学科	渡部 一郎	情報発信	産官学連携推進会議で「新しいリハビリテーション機器と評価法」	講演発表	産官学	2005年11月29日	当学	県内産業界	
健康科学部・社会福祉学科	増山 道康	生涯学習	飛び出せオープンカレッジ	ボランティアサポーター・青森県立保健大学地域貢献委員会におけるオープンカレッジ支援担当	飛び出せオープンカレッジ実行委員会・(ドアドアらんど・発達保障研究会)	年4回	青森県立保健大学	18歳以上の知的障害者	青森県内在住者(過去の実績は青森市内とその周辺地域からの参加が多い)
健康科学部・社会福祉学科	増山 道康	人材育成	青森県教育委員会教員研修「福祉担当教員実技研修」	企画協力・講師	青森県教育委員会(青森県教育庁)	2010年6月	青森県総合教育センター	青森県立高等学校「福祉」科目担当教諭・青森県教育委員会指導主事「福祉」科目担当者	青森県立高等学校教諭・青森県教育委員会指導主事
健康科学部・社会福祉学科	増山 道康	人材育成	高校生のための福祉介護講習会	企画協力・教材開発・講師	青森県教育委員会(青森県教育庁)	2010年7月・2010年11月	青森県立保健大学(7月開催)・青森県総合教育センター(11月開催)	青森県立高等学校の卒業後介護・福祉分野での就職・進学を予定している生徒	青森県内公立高等学校生
健康科学部・社会福祉学科	増山 道康	その他	高大連携授業	社会福祉基礎論(社会福祉学科1年生授業)を提供	青森県立保健大学	前期 semester 中・2007年4~7月(社会福祉学科通年授業の一部)・2008年4~7月(栄養学科前期開講科目)・2009年4~7月(社会福祉学科前期開講科目)・2010年4~7月(社会福祉学科前期開	青森県立保健大学	青森県立青森東校等学校生徒	2年生希望者
健康科学部・社会福祉学科	増山 道康	その他	高専大学連携授業	講師	八戸工業高等専門学校	2010年9月	八戸工業高等専門学校	八戸工業高等専門学校「医工」科目履修生	八戸工業高等専門学校4年生以上
健康科学部・社会福祉学科	増山 道康	その他	名古屋市ホームレス等越冬支援	笹島診療所インテーク(生活相談と越冬施設入所手続き同行)	笹島労働会館他	2010年12月	名古屋市内	失業者・不安定労働者・野宿者	限定無し
健康科学部・社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	平成21年度社会福祉主事認定講習会	講師(社会福祉概論)	青森県		青森県立保健大学	社会福祉施設従事者及び社会福祉行政従事職員対象	
健康科学部・社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	社会福祉士実習指導者養成講習会	実習スーパービジョン演習	日本社会福祉士会	2009年12月12日(土)~13日(日)	東北福祉大学ステーションキャンパス	社会福祉士	
健康科学部・社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	社会福祉士共通基盤研修	「社会福祉士がとらえる生活構造」講師	青森県社会福祉士会		県民福祉プラザ	社会福祉士	
健康科学部・社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	社会福祉士実習指導者養成講習会	「実習プログラミング論」講師	青森県社会福祉士会		社会福祉士		
健康科学部・社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	平成21年度児童厚生2級指導員研修会	「個別援助技術」講師	青森県児童館連絡協議会	2009年10月8日	アピオあおもり	県内外の児童厚生員等	

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	第9回ケアマネジメントフォーラムIN 青森	基調講演 「対人援助 専門職（ケ アマネ ジャー）の 価値と倫 理」講師	青森県立保健大学	2009年11月6日	青森県立保健大学	青森県内のケアマネジャー 等	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	七戸町こころの健康づくり講演会	「住民の暮 らしとこ ころの健康 のつながり について」 講師	七戸町健康福祉課	2010年3月3日	七戸農村環境改善セ ンター 柏葉館	民生主任児童委員、保健協 力員、町内会長等	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	精神保健福祉ボランティア受講講座	講師	精神保健福祉ボランティアそよ風	2009年10月17日	県民福祉プラザ	精神保健福祉ボランティア 講座受講生	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	青森県介護支援専門員研修 I	講師	NPO法人青森県介護支援専門員協会	平成19年7月10日	青森市文化会館	青森県内の介護支援専門員	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	平成19年度児童厚生2級指導員研修 会	講師	青森県児童館連絡協議会	平成19年9月18日	県民福祉プラザ	青森県内外の児童厚生員、 放課後児童クラブ関係者等	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	平成19年度中部上北2町介護支援専 門員研修会	講師	七戸町・東北町	平成19年2月19日	七戸町天馬林保健セ ンター	七戸町・東北町の居宅介護 支援専門員及び在宅介護支 援センター職員	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本社会福祉学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	大正大学社会福祉学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本デイケア学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本保健福祉学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本精神障害者リハビリテーション 学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本社会事業大学社会福祉学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本社会福祉士会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	S S T 普及協会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	横浜市精神障害者地域生活支援連合 会	調査部会協 力者	横浜市精神障害者地域生活支援連合会				
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	生涯学習	青森県蓬田村特定高齢者のための介 護予防教室	講師	蓬田村住民生活課	平成22年2月10日	蓬田村ふるさと総合 センター	特定高齢者	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	生涯学習	精神保健福祉ボランティア講座	講師	精神保健福祉ボランティアそよ風	平成21年10月17日	青森県民福祉プラザ		
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	生涯学習	青森県東青地区婦人団体幹部研修会	講師	青森県地域婦人団体連合会	平成21年9月27日	蓬田村ふるさと総合 センター	婦人団体関係者	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	生涯学習	青森県立保健大学公開講座	講師	青森県立保健大学	平成21年7月25日	青森県下北文化会館	一般住民	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	人材育成	課題別研修 ソーシャルワーク研修 2009	講師	日本精神保健福祉士協会	平成21年11月14日	味覚糖 UHA 館	精神保健福祉士	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	人材育成	平成21年度社会福祉士共通基盤研修 会	講師	青森県社会福祉士会	平成21年5月24日	青森県民福祉プラザ	社会福祉士	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	人材育成	社会福祉士主事認定講習会	講師	青森県	青森県立保健大学	社会福祉施設従事者 及び社会福祉行政従 事職員対象		
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	その他	サンネット福祉サービス運営協力委 員会	委員	地域サービスセンターSAN Net（就労継続支援B型）・ワーカース コレクティブハウスひいらぎ（共同生活援助）	平成21年度～			
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	人材育成	社会福祉士主事資格認定講習会	講師(身体 障害者福祉 論、知的障 害者福祉 論)	青森県	平成21年6月4日(知的障害者 福祉論)、9月10日(身体障害 者福祉論)・平成22年5月24日 (身体障害者福祉論、知的障 害者福祉論)	青森県立保健大学	福祉事務所、社会福祉施設 職員等	
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	人材育成	平成22年度市町村児童家庭相談専門 性向上支援講習会	講師(障害 者福祉論)	青森県	平成22年11月10日	青森国際ホテル	児童家庭相談に携わる市町 村職員等	
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	外部委員・学会活動	青森県手をつなぐ育成会 本人部会 (レインボー青森)	支援者	青森県手をつなぐ育成会	年に数回(不定期開催)	青森市内	青森県内在住の知的障害者	

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・社会福祉学科	西村 愛	その他	平成22年度第一回 介護・福祉を目指す高校生のための講演会	講師(障害者・高齢者疑似体験について考えよう)	青森県教育委員会	平成22年6月19日	青森県立保健大学	県内公立高校の学生	
健康科学部・社会福祉学科	西村 愛	その他	平成22年度 大学出張講義	講師(「身近なところから福祉について考えよう!」)	青森県立青森戸山高等学校	平成22年10月5日	青森県立青森戸山高等学校	青森戸山高校1・2年生	
健康科学部・社会福祉学科	千葉 たか子	生涯学習	青森県立青森南高等学校・出前講座	講師	青森県立青森南高等学校	平成21年11月05日	青森県立青森南高等学校	高校生	
健康科学部・社会福祉学科	千葉 たか子	生涯学習	パネルディスカッション「国際理解教育の理念と高校現場への還元」	パネラー	全国国際教育研究協議会・青森県高等学校国際教育研究協議会・青森県高等学校文化連盟国際理解部・東北地区高等学校国際教育社会福祉法人青森県社会福祉協議会	平成21年8月22日	八戸厚生年金会館	高等学校教師、高校生、一般	
健康科学部・社会福祉学科	千葉 たか子	外部委員・学会活動	社会福祉法人青森県社会福祉協議会地域福祉基金運営委員	社会福祉法人青森県社会福祉協議会地域福祉基金運営委員	社会福祉法人青森県社会福祉協議会	年に3-4回の委員会出席	社会福祉法人青森県社会福祉協議会	社会福祉法人青森県社会福祉協議会地域福祉基金関係者	社会福祉法人青森県社会福祉協議会地域福祉基金関係者
健康科学部・社会福祉学科	千葉 たか子	その他	NGO活動「あおもりとベンガルをつなぐ会」	代表	「あおもりとベンガルをつなぐ会」	毎月1回の学習会と年3回の現地訪問	国内は青森市の「アウガ」あるいは県民福祉プラザ、現地はインド西ベンガル州コルカタ周辺の農村	市民一般	市民一般
健康科学部・社会福祉学科	千葉 たか子	その他	NGO活動「地球市民ネットワーク・あおもり」	代表	「地球市民ネットワーク・あおもり」	毎月1回の学習会開催	青森市の「アウガ」あるいは県民福祉プラザ	市民一般	市民一般
健康科学部・社会福祉学科	大山 博史	人材育成	「うつ病と自殺対策」研修会	講師	青森県中泊町	平成22年2月4日	中里町保健センター	役場職員	
健康科学部・社会福祉学科	大山 博史	産官学連携	地域介入による自殺予防活動におけるプログラム開発と効果評価研究	研究代表	青森県立保健大学、県内市町村	平成17年～			
健康科学部・社会福祉学科	大山 博史	外部委員・学会活動	青森地域保健医療推進協議会	委員	東青地域県民局地域健康福祉部				
健康科学部・社会福祉学科	大山 博史	外部委員・学会活動	階上町障害者自立支援協議会	委員	青森県階上町				
健康科学部・社会福祉学科	入江 良平	人材育成	社会福祉主事認定講習会	講師	公立大学法人青森県立保健大学地域連携・国際センター	9月22日、24日	青森県立保健大学	県及び各市福祉事務所職員、民間福祉施設職員	
健康科学部・社会福祉学科	入江 良平	外部委員・学会活動	介護サービス情報公表事業等推進委員会	委員	青森県社会福祉協議会				
健康科学部・社会福祉学科	入江 良平	外部委員・学会活動	日本トランスパーソナル心理学/精神医学会	理事					
健康科学部・社会福祉学科	加賀谷 真紀	外部委員・学会活動	青森県介護予防市町村支援委員会一般高齢者・地域づくり部会	委員	青森県健康福祉部高齢福祉保険課				
健康科学部・社会福祉学科	山内 修	生涯学習	飛び出せ！オープンカレッジ IN あおもり	委員長	オープンカレッジ運営委員会	2004年5月23日、9月19日	青森市 県立保健大学	知的発達障害のある人たちと彼等の学習活動を支えるボランティア	
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	外部委員・学会活動	青森紛争調整委員会	委員	厚生労働省青森労働局				
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	外部委員・学会活動	青森県精神医療審査会	委員	青森県				
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	外部委員・学会活動	青森法学会	理事	青森法学会				
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	外部委員・学会活動	青森法政論叢編集委員会	編集委員	青森法学会				
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	人材育成	社会福祉主事認定講習会	講師(「法学(憲法)」)	公立大学法人青森県立保健大学地域連携・国際センター	平成21年9月9日・9月10日	青森県立保健大学	県及び各市福祉事務所職員、民間福祉施設職員	
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	生涯学習	青森戸山高校出前講義	講師	青森県立青森戸山高等学校	平成21年10月6日	青森県立青森戸山高等学校	高校2年生	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	青森市民生委員児童委員協議会全体講習会	講師	青森市社会福祉協議会	平成16年2月	青森市、ホテル青森	青森市民生委員児童委員450名	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	平成19年度高齢者虐待防止ネットワーク推進事業、研修	講師	新潟県魚沼地域振興局	平成19年5月30日	魚沼市市民会館	福祉サービス事業者、グループホーム事業者、一般	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	平成19年度青森県認知症介護実践研修	講師	青森県老人福祉協会	平成19年6月5日	青森市、アピオ青森	青森県介護老人福祉施設・事業所などに従事する介護	

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・ 社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	介護サービス情報の公表制度研修会	講師	青森県社会福祉協議会	平成19年8月27日	青森市文化会館	介護保険事業所、福祉サ ービス提供事業所の関係職員	
健康科学部・ 社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	平成19年度高齢者虐待防止研修会	講師	青森県老人福祉協会	平成19年9月10日	青森市、アピオ青森	県内の老人福祉施設・事業 所の関係職員	
健康科学部・ 社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	平成19年度福祉サービス評価事業推 進セミナー	講師	青森県福祉サービス第三者評価推進委員会事務局	平成19年9月24日	青森市、県民福祉ブ ラザ	福祉サービス事業所、グ ループホーム事業所	
健康科学部・ 社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	日本社会福祉学会	査読委員	日本社会福祉学会	年間2回程度	東京都	学会から選出された学識者	
健康科学部・ 社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	日本社会福祉学会東北部会	幹事	日本社会福祉学会	年間6回程度	仙台市	学会から選出された学識者	
健康科学部・ 社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	福祉サービス第三者評価推進委員会	委員長	福祉サービス第三者評価推進委員会事務局	年間4回程度	青森市	関係団体の長及び学識者	
健康科学部・ 社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	青森県高齢者サービス総合調整推進 会議	委員	青森県健康福祉部高齢福祉保険課	年間5回程度	青森市	職能団体の代表者、行政組 織の代表者、学識者	
健康科学部・ 社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	青森県社会福祉士会	理事	青森県社会福祉士会	年間6回程度	青森市	学識者、社会福祉士会理事	
健康科学部・ 社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	青森県すこやか福祉事業団	理事	青森県すこやか福祉事業団	年間5回程度	青森市	学識者、事業団理事	
健康科学部・ 社会福祉学科	齋藤 史彦	その他	NPO法人光の岬福祉研究会の運 営、調査等の助言	正会員	NPO法人光の岬福祉研究会				
健康科学部・ 社会福祉学科	佐藤 恵子	生涯学習	「男女共同参画条例をつくろう」学 習会	講師	青森市の男女共同参画を進める会	2004年7月12日	青森市男女共同参画 プラザ	主催団体会員および一般市 民	
健康科学部・ 社会福祉学科	杉山 克己	生涯学習	みちのくヘルパースクール	講師	社会福祉法人 青森社会福祉振興団	平成21年6月23日・平成21年 11月4日・平成22年2月13日	みちのく金谷総合デ イサービスセンター	下北地域在住の2級ホーム ヘルパー受講生	
健康科学部・ 社会福祉学科	杉山 克己	生涯学習	あおりウィメンズアカデミー	講師	青森県男女共同参画センター	平成21年7月23日	アピオあおり	政策・方針決定の場に参画 できる資質を備えた女性人 材になることを目指した県	
健康科学部・ 社会福祉学科	杉山 克己	生涯学習	都市職員厚生会連絡協議会東北地区 協議会総会に係る研修会	講師	都市職員厚生会連絡協議会東北地区協議会	平成21年8月27日	アップルバレス青森	都市職員厚生会連絡協議会 東北地区協議会総会参加者	
健康科学部・ 社会福祉学科	杉山 克己	外部委員・学会活動	2009年度全国社会福祉教育セミナー	第1分科会 「大学への 導入をどう 進めるか」 コーディネ ーター	社団法人日本社会福祉教育学校連盟	平成21年11月8日	鹿児島国際大学	同セミナーに参加していた 全国の社会福祉教育関係者 (主に大学教員)	
健康科学部・ 社会福祉学科	杉山 克己	人材育成	平成21年度苦情解決責任者・受付担 当者研修	高齢者分科 会進行役	青森県運営適正化委員会	平成21年11月20日	県民福祉プラザ	青森県内の高齢者分野の社 会福祉事業所にて苦情解決 責任者・受付担当者をして いる方々	
健康科学部・ 社会福祉学科	杉山 克己	人材育成	平成21年度第三者委員・福祉オン プズマン研修会	講師	青森県運営適正化委員会	八戸：平成22年2月15日・青 森：平成22年2月17日	八戸：八戸市総合福 祉会館・青森：県民 福祉プラザ	青森県内の社会福祉事業所 で第三者委員もしくは福祉 オンプズマンを行っている	
健康科学部・ 社会福祉学科	杉山 克己	外部委員・学会活動	(社)日本社会福祉士養成校協会東 北ブロック平成21年度教職員研修会	シンポジ スト	(社)日本社会福祉士養成校協会東北ブロック	平成21年12月5日	秋田看護福祉大学	東北地域の社会福祉士養成 校の教職員	
健康科学部・ 社会福祉学科	杉山 克己	外部委員・学会活動	青森県医療ソーシャルワーカー協会	理事・研修 担当	青森県医療ソーシャルワーカー協会	平成21年11月1日より(現在 に至る)	不定	青森県内の病院・老人保健 施設・地域包括支援セン ター等保健医療領域におけ るソーシャルワーカー等	
健康科学部・ 社会福祉学科	杉山 克己	その他	特定非営利活動法人 セーフティ ネットあおり	理事および 派遣福祉オ ンプズマン	特定非営利法人 セーフティネットあおり	理事会：年3回程度・福祉オ ンプズマン：月1回	理事会：不定・福祉 オンプズマン：青森 市内のA高齢者福祉 事業所	福祉オンプズマン：同福祉 事業所の利用者	
健康科学部・ 社会福祉学科	安田 勉	生涯学習	メンタルヘルス研修会	講師	東奥日報社	2005年10月1日	東奥日報社	社員	
健康科学部・ 社会福祉学科 栄養学科	向井 友花	生涯学習	青森県立八戸南高等学校「八戸南大 学(大学模擬講座)」出前講義	講師	青森県立八戸南高等学校	平成21年6月27日	青森県立八戸南高等 学校	青森県立八戸南高校の当該 授業希望者	
健康科学部・ 社会福祉学科 栄養学科	向井 友花	生涯学習	食肉流通関連制度遵守セミナー	講師	青森県食肉事業協同組合連合会	平成20年11月27日	県民福祉プラザ	地域住民	
健康科学部・ 社会福祉学科 栄養学科	向井 友花	地域交流	オープンカレッジinあおり	講師	青森オープンカレッジ運営委員会	平成20年5月25日・平成20年 10月26日	青森県立保健大学	地域住民	
健康科学部・ 社会福祉学科 栄養学科	乗鞍 敏夫	産官学連携	平成20年度 知的財産権セミナー事業 (「おからこんにやく」成功への道 のり)	運営	東北経済産業局	平成21年3月3日	青森県立保健大学	教職員	
健康科学部・ 社会福祉学科 栄養学科	乗鞍 敏夫	産官学連携	第2回 北東北地域イノベーション フォーラム	出展業務の 運営	JSTサテライト岩手	平成21年1月27日	青森国際ホテル	自治体、大学、研究機関、 企業	
健康科学部・ 社会福祉学科 栄養学科	乗鞍 敏夫	産官学連携	平成20年度 青森県立保健大学 知的 財産セミナー	運営	青森県立保健大学	平成20年10月9日	青森県立保健大学	教職員、学生、一般	

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・ 栄養学科	藤田 修三	産官学連携	食育講演	講師	つがる市	平成19年7月4日	つがる市生涯学習センター	つがる市食生活改善普及員	
健康科学部・ 栄養学科	藤田 修三	産官学連携	スポレクあおもり2007協賛イベント (クオリティー)	公認審判員	青森県、協賛：青森県クオリティー協会	平成19年9月23日	青い森公園(青森市)		
健康科学部・ 栄養学科	藤田 修三	産官学連携	高大連携：青森東高校出張講義	講師	青森県立青森東高等学校	平成19年11月15日	青森県立青森東高等学校	高校生	
健康科学部・ 栄養学科	藤田 修三	産官学連携	給食管理室の衛生	講師	青森市	平成20年2月28日	元氣プラザ(青森市)	青森市内施設栄養士	
健康科学部・ 栄養学科	廣森 直子	その他	飛び出せ！ オープンカレッジinあ おもり	運営委員	あおもりオープンカレッジ運営委員会	第26回 2009年6月14日 (日)・第27回 2009年11月 1日(日)・第28回 2010年2 月14日(日)・(2009年度は 3回実施)	青森県立保健大学	知的障害者および一般住民	
健康科学部・ 栄養学科	廣森 直子	その他	第29期 青森県社会教育委員	任期：2008 年10月19日 ～2010年10 月18日					
健康科学部・ 栄養学科	廣森 直子	その他	青森県立保健大学 公開講座 講師	講師・テー マ「生涯学 習について 考える～い ろいろな人 の学びから ～」	青森県立保健大学	2009. 7. 11	青森県立保健大学	一般住民、学生	
健康科学部・ 栄養学科	廣森 直子	その他	家庭裁判所家事実務研究会 講師	講師・テー マ「ジェン ダーについ て」	青森家庭裁判所	2009. 10. 26	青森家庭裁判所	青森家庭裁判所 調停員	
健康科学部・ 栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	食育と未病フォーラム【海藻と健 康。】【「食」の科学と「食育」(生 活習慣病予防のために)。】【スー パーヘルシー食品「ガマズミ飲料」 の開発と生活習慣病の予防効果。】 【納豆の持つ動脈硬化予防効果につ いて。】【アピオス (アメリカ・ホド	講師	日本未病システム学会			一般市民	
健康科学部・ 栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	油化学セミナー in 函館【地域食資 源から抗酸化機能の探索とその応	講師	油化学会	2006年9月22日	函館		
健康科学部・ 栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	第7回青森糖質研究会 青森における フードサイエンス ～地域活性化につ なが糖質研究～【地域食資源に含ま れる糖質の新しい生理機能ーアピオ ス、リンゴを中心にー】	講師	青森糖質研究会	2008/2/8	弘前		
健康科学部・ 栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	平成20年度公開講座【ピンピンコロ リ、元気で長生きする食と栄養。】 地域キャンパス講座【ピンピンコロ リ、元気で長生き。】 いただきま す！あおもり食育県民大会西北大会 基調講演【元気で長生きのために “食選力”を身につけよう。】 平成 21年度行政栄養士研修会【地域の食 資源と研究紹介 ー栄養性と機能性	講師				一般市民	
健康科学部・ 栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	模擬講義・出前講座【人は一生にど の位の食物を食べるのだろうか。】 【栄養学・序の口。】【食と栄 養・・・健康への架け橋。】【食と栄 養 (人は一生にどの位の食糧を食べ るのか)。】【食と栄養 (人は一生に どの位の食糧を食べるのか)・・・健 康への架け橋。】【食品機能論 ー食 べ物と健康ー。】【食品学 ー栄養と 機能性ー。】【フードサイエンス ー 食べ物を科学する・・・栄養、味、 機能と健康ー。】【地域食資源の生理 機能と研究開発について。】【食物と	講師			県内外高校	高校生等	
健康科学部・ 栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	医療・健康福祉関連ビジネスサロ ン【青森県の健康食品づくり】【県産 食資源を活用した健康食品づくり。】 【ガマズミ四方山話～マタギの秘薬 から健康食素材へ～】	講師・コー ディネー ター	青森県	2005年9月6日～		企業、研究機関	

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開催日時	開催場所	対 象	参集範囲等
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	産学官連携推進会議in青森県立保健大学【食資源の抗酸化・機能性に関する研究～山の実から海藻まで～】青森県発新事業創出プロジェクト青森発の「農林水産物」の高付加価値化事業創出プロジェクト【青森県の食資源と生理機能に関する研究紹介】 地域産業活性化に向けた異業種交流講演会【「地域資源を生かした産官学連携による地域産業の振興」～ガマズミやアビオスから三八の特産品作りを目指して～】 【青森の地域食資源の機能性研究、利用、現場での活動】 静岡県食品技術研	講師	青森県・他			企業、研究機関、自治体、大学	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	ヘルシーフード創造研究会・講演会【「知」の結集プロジェクト概要】 【食資源の抗酸化・生理機能に関する研究『ソルアラメ』】 【ソルアラメの生理機能、研究会の活動報告】 【県産食資源を活用した健康	主催・講師・コーディネーター	ヘルシーフード創造研究会	2005年9月6日～		企業、研究機関、自治体	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	ヘルスアップビジネスセミナー【“あおもりならではのメタボ対策関連ビジネス”事業展開のヒント】あおもり産学換金連携フォーラム【あおもり産学官連携モデルの構	コーディネーター・パネラー	青森県		青森県内	企業、研究機関、大学、自治体	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	イノベーション・ジャパン2009出展・新技術説明会【ガマズミ果実残渣から新規粉末素材の開発】	出展・発表	JST, NEDO	2009年9月15～18日	東京	企業、大学、研究機関、自治体、一般市民	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	健康博覧会2008出展【ガマズミ、アビオス研究成果】 第7回産学官連携推進会議・展示【ガマズミ果実の生理機能研究と新規製品開発】 健康博覧会2009出展【ガマズミ活用研究会・研究成果】 健康博覧会2010出展【ガマズミ活用研究会・研究成果・新開発製品】 食品開発展2010出展【「ガマズミ果汁と新規粉末素材の開発と機能性」, 「アビオス(マメ科イモ)の血圧降下作用」, 「ソルアラメ(褐藻類)の血糖上昇抑制作用】 ものづくり産業技術フェアin八戸・あおもり産学官学連携推進フォーラム【地域食資源を用いた保健食品等の研究開発の紹	出展		2008年～		企業、大学、研究機関、自治体	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	ガマズミ活用研究会【ガマズミを活用した製品開発・研究・普及・情報	主宰・代表	保健大	2007年11月～	保健大・他	県内企業(ガマズミを利用した製品開発・事業化)	ガマズミ活用研究会のホームページ
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	ヘルシーフード創造研究会	代表	保健大	2005年9月～、随時	県内企業(研究成果を活用した製品開発支援)		
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	ビジネスサロン・ちょこっとコラム		青森県新産業創造課	随時	医療・健康福祉関連ビジネスサロンHP		
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	農地から/特産物の機能性に着目。			2007年2月16日	河北新報・シリーズ健康食品のカルテ<7> 第2部 膨らむ市場ファイル2		
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	ガマズミ活用研究会の活動と新製品	青森47NEWS	東奥日報・記事	デーリー東北記事	新製品発表	活彩あおもり	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	ガマズミの第一人者・身体の抗酸化力が向上		デーリー東北	平成21年3月2日	デーリー東北3面・月曜インタビュー		
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	【アビオス(マメ科イモ)の血圧降下作用】 デイリー・プラネット ニュース&解説・デイプラMONO事		日テレNEWS24	2010年10月15日			
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	【アビオス】 【野性味あふれるジョミって何だ】 【野老ってなあに?え、これって食べられるの?】	解説	RAB		かっぺいのいったりきたり		
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	ソルアラメに血糖抑制成分・県立保健大など特許出願			2009年3月26日	東奥日報4面		
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	ガマズミ		NHK	平成19年10月12日	NHKおはようっぽん・まちかど情報室		

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	外部委員・学会活動	日本未病システム学会	評議員	平成17年～				
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	外部委員・学会活動	日本栄養・食糧学会、他6学会	会員					
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	生涯学習	青森県立保健大学平成20年度公開講座	講師	平成20年6月28日	下北文化会館（青森県むつ市）	一般市民		
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	生涯学習	あすなろマスターカレッジ	講師	青森県教育委員会	平成21年12月5日	青森県総合社会教育センター	あすなろマスターカレッジ受講生（一般市民）	
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	地域交流	農ハウ2008栄養学科ブース出展	栄養学科紹介と食育活動	東奥日報社ほか	平成20年8月31日	青い海公園（青森県青森市）	一般市民	
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	情報発信	ラジオ番組「青森長寿セミナー“血液さらさらな食事をどうぞ”」	講師	RABラジオ	平成21年5月16日6:30～7:00			
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	外部委員・学会活動	青森県調理師試験委員	委員	青森県	平成21年度			
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	その他	青森県立弘前高等学校「大学学部研究」	講師	青森県立弘前高等学校	平成20年9月24日	青森県立弘前高等学校	高校2年生	
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	その他	青森県立青森南高等学校「学部説明会」	講師	青森県立青森南高等学校	平成20年11月19日	青森県立青森南高等学校	高校2年生	
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	その他	弘前学院聖愛中学高等学校「校内進路ガイダンス」	講師	弘前学院聖愛中学高等学校	平成20年11月22日	弘前学院聖愛中学高等学校	高校2年生、PTA	
健康科学部・栄養学科	ノールズ アラン	生涯学習	Aomori Higashi High School International visit	講師		2004年7月15日	青森県立東高校 青森県立八戸商業高等学校		
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	－先端科学を地域食資源に－	講師	弘前大学地域共同研究センター	2007/7/31日	弘前市	学生、教師、企業関係者	産学官関係者100人
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	地域資源に新たな可能性を求めて	東北町食生活改善推進委員会 研修会講師	東北町食生活改善推進委員会	2007/4/20	上北町健康増進センター	東北町食生活改善推進委員会	東北町食生活改善推進委員120名
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	大学院教育のFDで今求められているものは？	研修会講師	弘前大学大学院医学部研究科保健科		弘前大学FD研修委員会	弘前市	大学院教師及び大学院生 教師、院生、事務職員60名
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	朝食について一朝ご飯はなぜ必要か？	保健活動教育講演講師	青森市立小柳小学校	2007/11/22	青森市	小学1年生～6年生、その教師及び父兄	400人
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	食と健康フォーラム－市民公開講座－	実行委員、講師	日本未病学会青森支部（支部長金沢武道）	2007/10/27	青森県立保健大学	一般市民	
健康科学部・栄養学科	松江 一	国際交流	韓国食品製造業の中小企業経営者セミナー	講師	韓国慶北大学農学部食品科学工学研究所	2008/6/25	韓国／大邱市	食品製造に関わる中小企業の経営者	産学官関係者100名
健康科学部・栄養学科	森永 八江	地域交流	特定健診における職域を対象とした保健指導モデルの開発	管理栄養士	平成21年度科学研究費補助金事業	平成21年 9月25日・平成21年10月30日・平成21年11月17日	某企業	某企業職員	
健康科学部・栄養学科	森永 八江	地域交流	第9回青森県小児糖尿病サマーキャンプ	管理栄養士	第9回青森県小児糖尿病サマーキャンプ実行委員会	平成21年7月24～26日	星と森のロマンティックアソウマ	青森県の小児糖尿病患者	
健康科学部・栄養学科	森永 八江	地域交流	第26回飛び出せ！オープンカレッジin あおもり	講師	青森オープンカレッジ運営委員会	平成21年6月14日	青森県立保健大学	知的障がい者	
健康科学部・栄養学科	森永 八江	地域交流	学校保健委員会事業	講師	小柳小学校	平成21年9月11日	小柳小学校	小柳小学校の児童、保護者、教員	
健康科学部・栄養学科	森永 八江	地域交流	第28回飛び出せ！オープンカレッジinあおもり	講師	青森オープンカレッジ運営委員会	平成22年2月14日	青森県立保健大学	知的障がい者	
健康科学部・栄養学科	森永 八江	情報発信	ニュースワイド	もやしの栄養とレンピの紹介	ATV	平成22年3月10日			
健康科学部・栄養学科	森永 八江	情報発信	ニュースワイド	春野菜の栄養とレンピの紹介	ATV	平成22年3月30日			
健康科学部・栄養学科	森永 八江	外部委員・学会活動	第3回あおもりまるごと茶企画委員会	あおもりまるごと茶企画委員	青森県青東地域県民局	平成21年8月18日	青森県共同ビル		
健康科学部・栄養学科	森永 八江	外部委員・学会活動	第43回日本栄養・食糧学会東北支部大会	第43回日本栄養・食糧学会東北支部大会事務局	日本栄養・食糧学会東北支部	平成21年11月7日	青森県立保健大学		
健康科学部・栄養学科	森永 八江	産官学連携	アグリビジネス創出フェア2009	出展者	農林水産省	平成21年11月25～27日	幕張メッセ	研究機関、民間企業	
健康科学部・栄養学科	森永 八江	産官学連携	第二回東京海洋大学 水産海洋プラットフォームフォーラム	出展者	東京海洋大学	平成22年2月15日	東京国際フォーラム	研究機関、民間企業	

平成23年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・ 栄養学科	メリッサ 小笠 原	国際交流	Aomori Prefecture High School Visits	English Teacher		2007	Aomori Nishi High School, Hirosaki High School, Hachinohe Nishi High School		
健康科学部・ 栄養学科	メリッサ 小笠 原	国際交流	一歩ずつんだ看護現任研修	「コミュニ ケーション 能力を高め る その一 歩を踏み出 そう」 Opening Presenter	青森県立保健大学	2008 12月13日	十和田市立中央病院		
健康科学部・ 栄養学科	スコット・クリ ストファー・ ヴェステイ	国際交流	青森県立弘前中央高等学校 International Visit	講師	青森県立弘前中央高等学校	平成17年11月11日	青森県立弘前中央高 等学校		
地域連携・国 際センター	川内規会	生涯学習	平成19年度青森県手話通訳問題研究 会講座	講師	青森県手話通訳問題研究会	平成19年4月8日	青森県聴覚障害情報 センター	青森県手話通訳士	
地域連携・国 際センター	川内規会	生涯学習	五所川原市女性再チャレンジ事業コ ミュニケーション講座	講師	五所川原市女性再チャレンジ実行委員会	平成20年1月31日	五所川原地域職業訓 練センター	一般市民・県民	
地域連携・国 際センター	川内規会	生涯学習	五所川原市女性再チャレンジ事業コ ミュニケーション講座	講師	五所川原市女性再チャレンジ実行委員会	平成20年2月1日	金木公民館	一般市民・県民	
地域連携・国 際センター	川内規会	生涯学習	2007年度第4回市民講座	講師	心がかようコミュニケーションを考える会	平成19年2月17日	青森県立保健大学	一般市民・県民	
地域連携・国 際センター	川内規会	人材育成	青森産業保健推進センター 産業看 護者研修会	講師	労働者健康福祉機構 青森産業保健推進センター	平成19年7月27日、8月10日	青森	産業看護師	
地域連携・国 際センター	川内規会	人材育成	平成19年度中部上北2町介護支援専門 員研修会	講師	七戸町健康福祉課	平成19年12月20日	東北町保健センター	介護支援専門員・在宅介護 支援センター職員	
地域連携・国 際センター	川内規会	人材育成	救急看護認定看護師フォローアップ セミナー	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター	平成20年3月6日	青森県立保健大学	救急看護認定看護師教育課 程修了者	
地域連携・国 際センター	川内規会	国際交流	2007年度あおもり地球市民講座	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター国際科・JICA共催	平成19年11月10日	青森県立保健大学	一般市民・県民	
地域連携・国 際センター	川内規会	国際交流	留学生対象日本語支援クラス	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター国際科	平成18年4月10日から平成20 年3月10日まで	青森県立保健大学	留学生	
地域連携・国 際センター	川内規会	国際交流	Safty Promotion視察	通訳	GSP/Prof. Leif Svanstrom	平成19年9月27日	青森県立保健大学	学生・一般	
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	文部科学省後援・実用英語技能検定 試験	二次試験 (英語) 面 接委員	日本英語検定協会	第1回平成19年7月13日 第 2回平成19年11月16日	青森山田高等学校	一般市民	
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	青森産業保健推進センター産業保健 相談員	特別相談員	労働者健康福祉機構 青森産業保健推進センター	平成19年4月1日から平成20年 3月31日		産業保健関係者	
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	日本コミュニケーション学会(CAJ)	理事・監査					
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	日本コミュニケーション学会東北支 部(CAJ)	副支部長、 大会実行委 員					
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	国際コミュニケーション科学学会 (IACS)	会員					
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	異文化コミュニケーション学会 (SIETAR)	会員					
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	Pacific and Asian Communication Association(PACA)	会員					
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	日本セーフティプロモーション学会	会員					
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	心がかようコミュニケーションを考 える会	運営委員					
地域連携・国 際センター	川内規会	外部委員・学会活動	日本国際文化交流クラブ(IJCE)	理事					